

令和2年度使用
小学校教科用図書調査研究報告書

山県教科用図書採択地区協議会

目 次

| | |
|------|----|
| 国 語 | 1 |
| 書 写 | 7 |
| 社 会 | 12 |
| 地 図 | 15 |
| 算 数 | 17 |
| 理 科 | 22 |
| 生 活 | 26 |
| 音 楽 | 48 |
| 図画工作 | 52 |
| 家 庭 | 55 |
| 保 健 | 57 |
| 英 語 | 62 |
| 道 徳 | 70 |

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

| | | | |
|-----|----|--------------------|------------|
| 校種 | 教科 | 教科用図書目録に搭載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 小学校 | 国語 | 4 | 6 |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 観点 発行者 | 基礎・基本の定着 | 主体的に学習に取り組む工夫 | 内容の構成・配列・分量 | 内容の表現・表記 | 言語活動の充実 |
|-----------|--|--|---|--|---|
| 2 東書 | <p>○各単元の教材文の前の導入ページに「言葉の力」の目標を具体的に示している。</p> <p>○言葉の特徴や使い方に関する事項「言葉の広場」では、たくさんの言葉を示している。たとえば「人物の行動」(61語)、「人物の気持ち」(54語)、「人物のせいかく」(52語)の3項目に分けて示している。(第4学年)</p> <p>○漢字辞典についての説明(漢字の読み方、成り立ち、意味など)を述べ、二</p> | <p>○学習の見通し「①議題をさめる。②話し合いの計画を立てる。③グループで話し合う。(意図を明確にしながらか計画的に話し合う。)」を示している。(第6学年)</p> <p>○学習の進め方として「友だちとつたえあおう」では、「・豆太のせいかくを想ぞうしよう。・豆太について想ぞうしたことを友だちとつたえ合おう。・豆太について友だちとつたえ合い、どんなことを感じましたか。」を示している。(第3学年 モチモチの木)</p> | <p>○第1～4学年は、上下巻の2冊構成、第5・6学年は1冊である。</p> <p>○第2学年以上の各巻に「国語の学習の進め方」「○年で学習する言葉の力」を設けてあり、年間と通じて「何を、どのように学ぶか」が見通せる。</p> <p>○各領域の単元「つかむ」「取り組む」「ふり返る」の課題解決的な3ステップで組織してある。</p> <p>○年間総単元数 第1学年：6単元</p> | <p>○文章と図表との関連については、「書き手の意図を考えよう 新聞記事を読み比べよう」(第5学年)において、「新聞の紙面『記事の構成』・『写真『アップ』『ロング』・『A社の記事』『B社の記事』」が示されている。</p> <p>○学習の進め方では、「つかむ」「取り組む」「振り返る」という学習過程を示している。</p> <p>○つきたい力・学習することを「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域に分け、各単元で身につける言葉の</p> | <p>○第3学年「グループでの話し合い」第4学年「グループの提案をもとにクラス全体で話し合い」第5学年「グループでの話し合い」第6学年「グループでの話し合い」が示されている。</p> <p>○図書館での約束、本の仲間分け、支所の先生、百科事典や図鑑などの調べ方、NDCの仕組みと活用の仕方、百科事典の調べ方、引用の仕方、請求記号、地域の図書館や資料館、科学館などの活用の仕方が示されている。</p> |

| | | | | | |
|----------|---|--|--|--|--|
| | 人の人物の吹き出しで、漢字辞典で読み方を調べることができるという会話を示している。(第3学年) | ○「みんなで新聞を作ろう」(第4学年)では、資料として「出来上がり新聞の例・記事の下書きの例」「新聞のわりつけの例」「グループ活動のイメージイラスト」「『言葉の力』[付録]新聞の割付」が示してある。 | 第2～6学年：10単元 ○伝統と文化に関する内容の記述は、第1・2学年：9単元 第3・4学年：8単元 第5・6学年：13単元である。 | 力を一覧で示している。合わせて1年間で頑張りたいことやできるようになりたいことを掲載している。 ○巻末に○年(前学年)で学習した言葉の力「話す・聞く」「書く」「読む」の3項目で示している。 | |
| 11 学図 | ○各単元の冒頭に目標を示し、的のイラストとともに学習目標を示している。 ○「言葉のへや」を各学年巻末資料として掲載している。行動を表す言葉として、話す(17語)、聞く(6語)、書く(5語)、見る(5語)、思う(3語)などの項目に分けて示している。また、「読むこと」教材では、理解語彙を脚注欄に示している。 ○「漢字辞典の使い方」として、漢字辞典のつく | ○学習の見通し、「①討論の進め方を確かめよう ②論題と役割を決めよう ③立論を考えよう ④立論を発表しよう ⑤討論会をしよう ⑥ふり返ろう」を示している。(第5学年) ○つきたい力と学び方をつかませるために、育てたい「知識及び技能」の指導事項を上段に、教材一覧を下段に示している。 ○「読むこと」では、見開き構成で学習内容を見渡せるようにしており、「めあてを確認する」「学習に | ○第1学年から第6学年まで上下巻の2冊構成である。 ○説明文教材の後に「書くこと」の教材を設定している。 ○第6学年には「読むこと」と「書くこと」「書くこと」と「話すこと・聞くこと」の領域を関連させた複合単元が設定されている。 ○年間総単元数 第1・2学年：10～14単元 第3・4学年：11～12単元 第5・6学年：10～11単元 | ○「国語の学習の進め方を確かめよう」と提示し、「つかむ」「見方や考え方を学ぶ」「まとめる・ふり返る」「広げる」という学習過程を示している。 ○「つきたい力・学習すること」として、「□学年でつきたい力(折込ページ)として、「知識及び技能」を3項目に分けて指導事項を示し、下に単元名を示している。「話す・聞く」「書く」「読む」の領域指導事項と単元名を示している。 | ○第3学年「やくわりを決めて話し合おう」では、「クラス全体での話し合いの仕方が示されている。 ○第4学年「問題解決のために話し合おう」では、「グループで作成した安全マップをもとに、クラス全体で話し合う」第5学年「討論会」第6学年「パネルディスカッション」を示している。 ○学校図書館等の利活用の仕方として、図書室の利用、約束、本の見つけ方、百科事典の調べ方、インタ |

| | | | | | |
|----------|---|---|--|--|--|
| | <p>りを示し、「約」の部首、画数、読み方、成り立ち、意味などを調べるように提示している。</p> | <p>取り組む」「学習を振り返る」という学習過程を示している。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、モデルとなる文章例を多く提示し学習の完成形を視覚的にイメージできるようにしている。</p> <p>○自分の言葉で学習をまとめ自己評価をするように視点を示している。</p> | <p>○伝統的な言語文化に関する単元数・単元名・取り上げられている作品 等</p> <p>☆(ダウンロード資料) 10ページ</p> | <p>○「学びに向かう力、人間性等」の目標を示している。</p> | <p>ーネットなどについて、各学年で使用する本の種類を変えて使用できるように工夫されている。</p> |
| 17 教出 | <p>○巻頭の「○年生で学ぶこと」のページに各単元の目標を示している。</p> <p>○言葉の特徴や使い方に関する事項「言葉の木」では、</p> <p>行動を表す言葉として、「くらす」(7語)、「動く」(8語)「かかわる」(7語)、「つたえ合う」(8語)の4項目に分けて示している。(第3学年)</p> | <p>○学習の進め方として①テーマを決めて、調べる。②話し合いの準備をする。③「ミニディベート」を行う。④感想を交流する。」(第5学年)を示している。</p> <p>○学習の進め方として、「おすすめ図書カードを作ろう」では、「主な登場人物を確かめる・豆太の気持ちの変化や場面ごとに豆太について話し合う・豆太の変化について話し合う・おもしろいところを紹介し合う。」を示</p> | <p>○単元や資料等の配列としては、上下巻の2冊構成である。</p> <p>○1つの領域に集中して学習する単元と、各領域の学習を組み合わせ、総合的に展開する単元を配列している。</p> <p>○年間総単元数 第1学年：7単元 第2学年：15単元 第3学年：13単元 第4学年：14単元 第5・6学年：10単元</p> | <p>○「世界遺産 白神山地からの提言―意見文を書こう」(第5学年)では、「2つの説明文と7つの資料を読んで、自分の意見を根拠となる資料に基づいて書く」ことが示されている。</p> <p>具体的には、(①写真②地図③入山届出書の例④新聞記事⑤棒グラフ)を考えさせる記述がある。(1)できるだけたくさんの資料を比べて自分の考えの根拠をはっきりさせよう。(2)複数の資料を比べながら読</p> | <p>○第3学年「グループでの話し合い」第4学年「クラス全体での話し合い」第5学年「ミニディベート」第6学年「パネルディスカッション」が示されている。</p> <p>○学校図書館機能の利活用(第1～4学年に記載)としては、図書館の利用、図書館マップによる本の分類、本の探し方、目次や索引の使い方、前書き・後書き、奥付「読書カード」の書き方・本の分類(日本十</p> |

| | | | | | |
|--|--|---|---|---|-----------------------------------|
| | <p>○情報の扱い方に関する事項「漢字辞典の使い方」では、国語辞典で調べられない漢字辞典では調べられること、漢字辞典では音訓の読み方や成り立ち、その漢字を用いた様々な言葉が調べられることを示している。(第3学年)</p> <p>○情報の扱い方に関する事項として「漢字辞典の使い方」(第1～6学年に掲載)では、2人の人物と鳥の吹き出しで、国語辞典では調べられないことが漢字辞典で調べられることや漢字を用いた様々な言葉が調べられることを示している。</p> | <p>している。(第3学年「モチモチの木」)</p> <p>○「新聞を作ろう」(4年生)では、目的「写真や図表を効果的に使って、わかりやすい新聞を作る」を示し、資料として「新聞とは何か」「割付用紙」「話し合い活動のイメージイラスト」「出来上がり新聞の例」「ここが大切」が示してある。</p> | <p>○伝統と文化に関する内容の記述としては、第1・2学年：9単元 第3・4学年：9単元 第5・6学年：14単元ある。</p> | <p>み、自分の考えをまとめたがり、伝えたりするために資料を活用することができたか。</p> <p>○巻頭の示し方では、○年生で学ぶこと「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域に分け、「単元名」「めあて」「ここが大事」を示し、学習順に道で繋ぎ、地図として示している。巻頭ではないが、「話す・聞く」「書く」の単元の最初のページには、「見通しをもとう」から「振り返ろう」まで単元の学習過程を示している。</p> <p>○「話す・聞く」「書く」の単元の最初のページには、「見通しをもとう」から「振り返ろう」までの単元の学習過程を示している。</p> <p>○「言語」「漢字の広場」「文化」「読書」ごとに、単元の</p> | <p>進分類法と分類記号、本のラベルの見方)を示している。</p> |
|--|--|---|---|---|-----------------------------------|

| | | | | | |
|----------|---|--|---|---|--|
| | | | | つながりを示している。 | |
| 38 光村 | <p>○各単元の冒頭に具体的な目標を示している。</p> <p>○「言葉のたから箱」に、「考えや気持ちを伝える言葉」として「人物を表す言葉」(10語)、「事物を表す言葉」(10語)、「考え方を表す言葉」(6語)、「気持ちを表す言葉」(25語)の4項目に分けて示している。</p> <p>○「学習に用いる言葉」として、各学年の国語で使われる言葉を示している。</p> <p>○「漢字辞典の使い方」では、漢字辞典を使うと漢字の部首や画数、読み方成り立ち、意味などを知ることができるということを記述し、「約」の部首、画数、読み方、成り立ち、意味を漢字辞典を</p> | <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、「対話的な学び」を重視し、活動の折々に吹き出しを用いて「対話」の姿を示している。</p> <p>○ページの上段に活動指示、下段に資料やメモの例など活動に役立つ情報を整理している。</p> <p>○学習の進め方を示し、「①学校生活の中から議題を決める。」「②自分の立場を明確にする。」「③話し合いの仕方を確かめ進行計画を立てる。」「計画に沿って、グループで話し合う」「話し合ったことをクラスで共有し感想を伝え合う。」という順に話し合い活動をさせるようにしている。</p> <p>○「読むこと」の単元では、作品・文章の導入と読みの着</p> | <p>○第1学年から4学年までは上下巻の2冊構成、第5・6学年は1冊である。</p> <p>○一つの領域に集中して学習する単元と、各領域の学習を組み合わせ、総合的に展開する単元を配列している。</p> <p>○教科書全体が「単元」「小単元」「コラム」「特設単元」で構成されている。</p> <p>○年間総単元数 第1学年：7単元 第2学年：9単元 第3・4学年：8単元 第5・6学年：7単元</p> | <p>○第5学年「資料を用いた文章の効果を考え、それを生かして書こう」では、資料を用いた文章の効果を考え、それを生かして意見文を書く学習を設定している。地図・表、年表・図、図、写真、棒グラフ、折れ線グラフ等の7資料を提示している。それぞれの資料が文章のどの部分と対応し何が読み取れるか、どのような効果があるかを考えさせている。筆者の立場や読み手の立場から考えさせるように読み手の視点を与えている。</p> <p>○学習の進め方として、第2学年以上で「国語の学びを見渡そう」と提示し、「初めに」、「読む」「書く」「話す・聞く」、「振り返る」、「学習や生活にいかす」という学習過程を示している。</p> | <p>○第3学年「班での話し合い」第4学年「クラス全体での話し合い」第5・6学年「グループでの話し合い後クラスで共有」がしめされている。</p> <p>○学校図書館等の利活用に仕方については、第1学年で「としょかんへいこう」「としょかんとなかよし」、第2学年で「図書館たんけん」、第3学年「図書館たんていだん」「科学読み物での調べ方」、第4学年で「図書館の達人になろう」「百科事典での調べ方」、第5学年で「図書館を使いこなそう」、第6学年「地域の施設を活用しよう」が示されていて、図書館利用への意欲をもたせる単元名になっている。</p> |

| | | | | |
|---------------------------|---|--|---|--|
| <p>使って確かめさせる流れになっている。</p> | <p>眼点を示し、学習の見通しを示している。手引きの上段に単元の初めから終わりまで課題を一覧できるようにして、下段に課題に取り組むうえでの観点や思考の整理の仕方、学びの姿を示している。また、新しい評価の観点に沿って自己評価できるように「ふりかえろう」を設定している。</p> | | <p>○「つきたい力・学習すること」では、第2学年以上で「□学年で学習すること」（折込ページ）として、話す・聞く」「書く」「読む」の3領域ごとに、教材名・身につきたい力（たいせつ）・学習用語を示している。</p> <p>○前学年の学習の振り返りでは、「□年生の学びを確かめよう」として、学習することの下に、「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域ごとに学習過程に沿って示している。</p> | |
|---------------------------|---|--|---|--|

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

| | | | |
|-----|----|--------------------|------------|
| 校種 | 教科 | 教科用図書目録に搭載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 小学校 | 書写 | 5 | 5 |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 観点 発行者 | 基礎・基本の定着 | 主体的に学習に取り組む工夫 | 内容の構成・配列・分量 | 内容の表現・表記 | 言語活動の充実 |
|-----------|---|--|--|---|--|
| 2 東書 | <p>○単元の目標の示し方 ・第6学年「字配り・配列」の単元では、「ア～ウを比べて、用紙に合った大きさを文字を書くにはどうしたらよいか考えましょう」「次の文を、どのような配列で書くと読みやすくなるか考えましょう」と二つ示している。</p> <p>○姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方 ・第1学年では、字を書く姿勢・手や足の置き方の写真とイラスト、線のなぞり・とめ・はらい等のイラスト、鉛筆・フェルトペンの持ち方の写真とイラスト等 計23P</p> <p>・第3学年では、毛筆で机</p> | <p>○問題解決的な学習 ・学習過程を「見つけよう。→たしかめよう。→生かそう。→話し合おう。→広げよう。」と示している。どのように学ぶかを明確にした学習過程で、「書写のかぎ」をキーワードに課題解決的な学習展開になっている。それぞれの学習過程において視点を示して、生かしたり、話し合ったり、広げたりする構成になっている。</p> | <p>○単元等の配列・分量 ・第1学年：硬筆15，記入欄27P ・第2学年：硬筆13，記入欄21P ・第3学年：毛筆10，硬筆3，硬筆記入欄11P ・第4学年：毛筆9，硬筆3，硬筆記入欄12P ・第5学年：毛筆9，硬筆4，硬筆記入欄8P ・第6学年：毛筆9，硬筆3，硬筆記入欄8P</p> <p>○伝統と文化に関する内容の記述 ◇書写の歴史に関する資料等の内容例とページ数 どうやってつくるのえんぴつ，どうやってつくるの筆・和紙・すずり・すみ，手書き文字と活字，書きぞめをしよう，手書きの文字のいろいろな書き方他</p> | <p>○配色，レイアウト等表現・表記 ・第2学年「筆順」の単元では，筆順のきまりにあたる部分の色を変えて示している。また，筆順を赤字で示し，一部を○で示し書き込むようにしている。筆順のきまりを赤矢印で示している。書き込み欄を教材文字の下に配置している。書き込み欄を教材文の左右両方に配置し，選んで記入できるようにしている。書き込みマスが4等分されている。</p> | <p>○「生活にひろげよう」「学びに生かそう」の単元を設定している。</p> <p>○各学年の教材数と教材例は，次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年(4)「につきをかこう」 ・第2学年(4)「かんさつしたことをかこう」 ・第3学年(4)「実験したことを記録しよう」 ・第4学年(4)「調べたことを伝える新聞を作ろう」 ・第5学年(4)「委員会活動を伝えるリーフレットを作ろう」 ・第6学年(4)発表のためのポスターを作ろう」 |

| | | | | | |
|----------|--|---|--|--|---|
| | の上・床の上で書くときの姿勢の写真，筆圧，始筆・送筆・終筆等の写真とイラスト，筆の使い方，用具の置き方と扱い方等の写真とイラスト 計23P | | 全学年で35P ◇伝統的な言語文化に関する内容とページ数 「花さかじいさん」のうた，いろはうた，俳句，短歌，古文，漢詩，漢文 全学年で9P | | |
| 11 学図 | ○単元の目標の示し方 ・第6学年「字配り・配列」の単位では、「用紙に対する文字の大きさと配列を考えて書こう」と1つ示している。 ○姿勢，点画の書き方，用具の扱いの示し方 ・第1学年では，机の上・バインダーで字を書く姿勢，手や足の置き方の写真とイラスト，線のなぞりとめ・はらい等のイラスト，鉛筆・フェルトペン等の持ち方の写真 計17P ・第3学年では，毛筆で机の上・立って書く・床の上それぞれの姿勢の写真とイラスト，筆圧，始筆・送筆・終筆等の写真，筆の持ち方・おろし方，用具の置き方と扱い方等の写真とイラスト 計16P | ○課題解決的な学習 ・学習過程を「1 確かめて書こう」「2 考えて書こう」「3 生かして書こう」と示している。さらに，1は「学習すること何かな?」「まず，書いてみよう」2は「どこをどのように直したらいいのかな」「練習しよう」「まとめ書きをしよう」3は「試し書きとまとめ書きをくらべよう」「学習したことを生かして，硬筆で書こう」「ふり返ろう」「学習したことを，学校やふだんの生活の中でも生かしてみよう」に細分化され，何が身に付いたかが実感できる構成になっている。 | ○単元等の配列・分量 ・第1学年：硬筆14，記入欄26P ・第2学年：硬筆10，記入欄21P ・第3学年：毛筆7，硬筆0，硬筆記入欄13P ・第4学年：毛筆6，硬筆0，硬筆記入欄22P ・第5学年：毛筆6，硬筆0，硬筆記入欄20P ・第6学年：毛筆5，硬筆0，硬筆記入欄19P ○伝統と文化に関する内容の記述 ◇書写の歴史に関する資料等の内容例とページ数 なんの形からできたかん字かな?，ふではどうやって作られているの?，すずりはどうやって作られているの?，かたかなはどうやって生まれたの?，書きぞめをしよう他 全学年で18P ◇伝統的な言語文化に関する内容とページ数 | ○配色，レイアウト等表現・表記 ・第2学年「筆順」の単位では，筆順のカギに当たる部分の色を変え，筆順を赤字で示している。筆順の決まり（上から，左から）を赤矢印で示している。下部分に新出漢字の筆順を色で分けて示している。書き方のカギを異なる書体と文字で2回示している。書き込み欄を教材文字の下に配置している。なぞり書きがある。書き込みのマスが4等分されている。 | ○「書写の資料館」「発展」（第6学年）の単元を設定している。 ○各学年の教材数と教材例は，次の通り。 ・第1学年(7)「かんさつカードを書こう」 ・第2学年(6)「たて書きとよこ書き」 ・第3学年(6)「はがき・原こう用紙・手紙の書き方」 ・第4学年(7)「都道府県名を書こう」 ・第5学年(9)「感謝の気持ちを伝えよう」 ・第6学年(9)「読みやすく書こう」 |

| | | | | | |
|----------|---|---|---|--|---|
| | | | 俳句, 漢文, ことわざ, 短歌, 古文, いろは歌, 行書で書いて みよう 全学年で18P | | |
| 17 教出 | <p>○単元の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6学年「字配り・配列」の単元では、「用紙に対する文字の大きさと配列, 点画のつながりに気をつけて書こう」「用紙に対する文字の大きさと配列, 点画のつながりに気をつけて書こう」(小筆)と二つ示している。 <p>○姿勢, 点画の書き方, 用具の扱いの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年では, 字を書く姿勢, 字を消す時の手や足の置き方の写真とイラスト, 線のなぞり方・とめ・はね等のイラスト, 鉛筆・フェルトペンの持ち方の写真とイラスト 計18P ・第3学年では, 毛筆で机の上で書くとき・立って書くとき・床の上で書くときの姿勢の写真とイラスト, 筆圧・始筆・送筆・終筆等の写真とイラスト, 筆の持ち方・おろし方, 用具の置 | <p>○課題解決的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見つける, くらべる→書く, たしかめる→振り返る, 伝え合う→広げる」の7つの学習過程に細分化されている。「ためし書きと教科書の文字を比べて, 自分のめあてを見つけよう。(考えよう)」→「自分のめあてをたしかめて, 練習しよう。(ここが大切)」→「学習したことを, 他の文字でもたしかめよう(生かそう)」の流れで, 教材を比較・検討し, 気づいたことを生かして書く構成になっている。 | <p>○単元等の配列・分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年: 硬筆19, 記入欄9P ・2学年: 硬筆9, 記入欄2P ・3学年: 毛筆9, 硬筆6, 硬筆記入欄11P ・4学年: 毛筆10, 硬筆3, 硬筆記入欄9P ・5学年: 毛筆9, 硬筆4, 硬筆記入欄7P ・6学年: 毛筆7, 硬筆2, 硬筆記入欄5P <p>○伝統と文化に関する内容の記述</p> <p>◇書写の歴史に関する資料等の内容例とページ数</p> <p>なんの形からできたかん字かな?, 筆について知ろう, さまざまなかるた, 活字について知ろう, 文字の旅他 全学年で37P</p> <p>◇伝統的な言語文化に関する内容とページ数</p> <p>昔話, 俳句, 短歌, 古文, 行書 全学年で11P</p> | <p>○配色, レイアウト等表現・表記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年「筆順」の単元では, 書き順「よこ画から・長いたて画から」を色の違う太矢印で示している。書き順のきまりにあたる部分を赤で示している。一部の筆順を黒数字で示している。下部分に新出漢字の筆順を黒数字で示している。書き順「よこ画から」「長いたて画から」を2回示している。なぞり書きがある。 | <p>○「レッツ・トライ」「書いて伝え合おう」の単元を設定している。</p> <p>○各学年の教材数と教材例は, 次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年(4)「ありがとうガードをかこう」 ・第2学年(3)「しょうたいじょう, 本のしょうかいカードを書こう」 ・第3学年(6)「メモをとってまとめよう」 ・第4学年(6)「学級新聞を作ろう」 ・第5学年(4)「年賀状, 絵はがきを書こう」 ・第6学年(6)「思い出に残る言葉を書こう」 |

| | | | | | |
|----------|--|--|--|---|--|
| | き方、扱い方等の写真とイラスト 計 29P | | | | |
| 38 光村 | <p>○単元の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6学年「字配り・配列」の単元では、「用紙に合った文字の大きさと配列を考えよう」「分かりやすいのはアとイのどちらだろう」と二つ示している。 <p>○姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年では、字を書く姿勢、手や足の置き方の写真とイラスト、線のなぞり・とめ・はらい等の写真とイラスト、鉛筆・フェルトペン等の持ち方、手の動かし方の写真とイラスト 計 20P ・第3学年では、毛筆・鉛筆で机の上で書くとき、腕の使い方、立って書くとき・床の上で書くときの姿勢のイラスト、筆圧・始筆・送筆・終筆等の写真とイラスト、筆の持ち方やおろし方、用具の置き方と扱い方、用具の後始末等の写真やイ | <p>○課題解決的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の書き方の原理・原則を「考える」→毛筆で書いて「確かめる」→硬筆に「生かす」の学習過程を提示している。「考えよう」「確かめよう」では課題解決的な学習を行っていく中で、自分で考えたり確かめたりするだけでなく友達と話し合う学習展開を設定し、対話的な学びを通して学習を深めるような構成になっている。 | <p>○単元等の配列・分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年：硬筆 20, 記入欄 21P ・第2学年：硬筆 15, 記入欄 16P ・第3学年：毛筆 10, 硬筆 3, 硬筆記入欄 13P ・第4学年：毛筆 10, 硬筆 2, 硬筆記入欄 11P ・第5学年：毛筆 9, 硬筆 2, 硬筆記入欄 9P ・第6学年：毛筆 11, 硬筆 3, 硬筆記入欄 8P <p>○伝統と文化に関する内容の記述</p> <p>◇書写の歴史に関する資料等の内容例とページ数</p> <p>かん字ずかん、えんぴつのひみつ、筆ができるまで、身近な文字をさがそう、文字の歴史他 全学年で 29P</p> <p>◇伝統的な言語文化に関する内容とページ数</p> <p>いろは歌、俳句、短歌、古文、行書 全学年で 7P</p> | <p>○配色、レイアウト等表現・表記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年「筆順」の単元では、書き順のきまりを緑色の矢印で示している。上段：筆順（数字）を決められた色で示している。下段：筆順を赤数字で示している。書き順の決まりを異なる書体と文字で2回示している。書き込み欄を教材右側に配置している。書き込みのマスが4等分されている。 | <p>○「学習に生かそう」「やってみよう」（第2～5学年）</p> <p>「書写ブック」（第6学年）</p> <p>「発展」（第2・6学年）の単元を設定している。</p> <p>○各学年の教材数と教材例は、次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年(4)「よこがきのかきかた」 ・第2学年(5)「しょうたいじょうの書き方」 ・第3学年(4)「手紙の書き方」 ・第4学年(3)「リーフレットの書き方」 ・第5学年(4)「インタビューメモの書き方」 ・第6学年(9)「短歌を書こう」 |

| | | | | | |
|-----------|--|---|--|--|---|
| | ラスト 計 26P | | | | |
| 116 日文 | <p>○単元の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6学年「字配り・配列」の単元では、「読みやすく書く方法を考えて書こう」「用紙に合った文字の大きさを考えて書こう」「文字の大きさと配列をを考えて書こう」と三つ示している。 <p>○姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年では、字を書く姿勢、手や足の置き方の写真とイラスト、線のなぞり・とめ・はらい等のイラスト、鉛筆・フェルトペン等の持ち方の写真とイラスト 計 16P ・第3学年では、毛筆・鉛筆で机の上・立って・床の上で書くときのそれぞれの姿勢のイラスト、筆圧・始筆・送筆・終筆等の写真とイラスト、筆の持ち方、用具の置き方と扱い方、用具の後始末等の写真やイラスト 計 23P | <p>○課題解決的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程を「課題をはっきりさせ、見通しをもつ→学習に取り組む→振り返り、次の学習にいかす」と示している。「一人で学習」「グループで学習」と主体的・対話的な学びについて明記している。書写学習の進め方として「試し書きをする→考える→たしかめる→まとめ書きをする→いかす→ふり返る」と具体的に示している。キャラクターの発言が児童の「気付き」を促し、自己評価を行うことができる構成になっている。 | <p>○単元等の配列・分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年：硬筆 14, 記入欄 16P ・第2学年：硬筆 20, 記入欄 12P ・第3学年：毛筆 11, 硬筆 5, 硬筆記入欄 5P ・第4学年：毛筆 11, 硬筆 6, 硬筆記入欄 3P ・第5学年：毛筆 11, 硬筆 7, 硬筆記入欄 2P ・第6学年：毛筆 10, 硬筆 7, 硬筆記入欄 4P <p>○伝統と文化に関する内容の記述</p> <p>◇書写の歴史に関する資料等の内容例とページ数</p> <p>年がじょうをかこう、書きぞめをしよう、用具の産地をたずねて、手書き文字と活字、平仮名と片仮名ができるまで他 全学年で 27P</p> <p>◇伝統的な言語文化に関する内容とページ数</p> <p>俳句・ことわざ、伝統的な色、いろは歌、古文、行書、古文、五・七・五 全学年で 9P</p> | <p>○配色、レイアウト等表現・表記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年「筆順」の単元では、筆順を青数字で示し、一部を空欄で示して書き込ませる工夫をしている。新出漢字の書き順を教材文字の横に示している。書き込み欄を教材文字の下に配置している。初めに書く画に赤色を塗るようになっている。 | <p>○「生活と書写」「国語の広場」「チャレンジ」（第5・6学年）の単元を設定している。</p> <p>○各学年の教材数と教材例は、次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年(5)「えにつきをかこう」 ・第2学年(5)「れんらくちょうにかこう」 ・第3学年(3)「手紙の書き方」 ・第4学年(5)「都道府県の書き方」 ・第5学年(5)「原稿用紙の使い方」 ・第6学年(7)「手紙の書き方」 |

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

| 校種 | 教科 | 教科用図書目録に搭載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
|-----|----|--------------------|------------|
| 小学校 | 社会 | 3 | 3 |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 観点 発行者 | 基礎・基本の定着 | 主体的に学習に取り組む工夫 | 内容の構成・配列・分量 | 内容の表現・表記 | 言語活動の充実 |
|-----------|---|--|---|--|---|
| 2 東書 | <p>○タイトルの左横に「つかむ」、「調べる」、「まとめる」の学習過程とともに、「どのような～でしようか。」、「～は、なぜでしょうか。」等の問いかけの形態で提示している。(3, 4年)</p> <p>○「知っている都道府県を地図帳でたしかめよう」で、9つの都道府県の祭りや観光地について写真で例示し、8つの道県の特産物についてイラストで例示している。 (4年)</p> <p>○画像で掲載されている世界文化遺産は22。本文中だけでなく、「日本の世界文化遺産」や巻末の年表の中で世界文化遺産を紹介している。 (6年)</p> | <p>○大単元の導入において、見開きや観音開きのページ構成により、写真などで地球の様子を提示するとともに、キャラクターの話し言葉で、示されている。(5年)</p> <p>○問題解決的な学習の進め方について、単元ごとに「つかむ」の後に「学習問題」を示し、見開きページごとに問いを提示しながら「調べる学習」を進め、学習問題について調べてわかったことを整理し、「まとめる」というページを設けている。単元によっては、単元末に、学習したことを次の学習や生活に「いかす」、学習したことをもとに、他の学習に「ひろげる」というページを設</p> | <p>【地震(18) 発展：風水害(2) 火山災害(2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難行動計画やハザードマップ、自主防災隊を取り上げ、市や住民の取組を調べている。 ・地震から人々を守る取組をカードにまとめている。 ・地震が起きて、学校が避難所になった場合、自分はどうするか考えさせている。(4年) <p>○上巻(126) 国土(58) 農業・水産業(58) 下巻(164) 工業(54) 情報(42) 環境(42) (5年)</p> <p>○単元の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治・国際編 116> わたしたちの生活と政治(63) 世界の中の日本(53) | <p>○「学び方コーナー」を「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・つたえる」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。(3, 4年)</p> <p>○キャラクターを用いて、社会的な見方・考え方を広げる4つの視点・方法(「広がり」、「時間」、「関係するところ」、「くらべる、分ける、まとめる、つなげる」)を示している。 (3, 4年)</p> <p>○資料の種類と数(わたしたちの生活と政治) 写真(119)、イラスト(28) 地図(5)、折れ線グラフ(3)、年表(3) 円グラフ(3)、棒グラフ(2) 帯グラフ</p> | <p>○絵地図、白地図、しょうかい地図、メモ、せんでんシール、ノート、見学カード、しつもんカード、かべ新聞、ていあん文、関係図、仕事さがしメモ、表、標語、年表、たんざく、ポスター(3年)</p> <p>○白地図、産業マップ、図、カード、年表、ポスター、表彰状、4コマCM(4年)</p> <p>○白地図、ノート、表、地図、キャッチコピー、カードにまとめる。フローチャートにまとめて話し合う。(5年)</p> <p>○単元末の「まとめる」の場面や単元後の「いかす」場面において、「説明しよう」「話し合おう」「発表しよう」など</p> |

| | | | | | |
|-----------|---|---|---|---|---|
| | | けている。(6年) | ・歴史編160 日本の歴史(160) 補充的・発展的教材の分量上巻(24) 下巻(16) (6年) | (1) 新聞記事(4) (6年) | と提示し、学習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象について説明や話し合いの活動を設けている。(6年) |
| 17 教出 | ○見開きの左側に「この時間の問い」として「どのような～だろう。」等と、右下側に「次につなげよう」のコーナーを設け、「～はどうなっているだろう。」等と問いかけの形態で提示している。(3, 4年) ○「みりょくがいっぱい! 知りたいな, 47都道府県」で、特産物, 祭り, 観光地について17の道府県を写真で例示している。(4年) ○画像で掲載されている世界文化遺産は15。本文中だけでなく、「日本列島 歴史の旅に出かけよう」のイラストの中で世界文化遺産を紹介している。(6年) | ○大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真などで地球の様子を提示するとともに、キャラクターの話し言葉で示されている。(5年) ○問題解決的な学習の進め方について、单元ごとに「みんなでつくった学習問題」を示し、見開きページごとに「問い」と「次につなげよう」という項目を示して調べる学習を進め、キーワードに注目して学習を振り返る「まとめる」というページを設けている。单元によっては、单元末に、次の学習や暮らしに「つなげる」、学習を「ひろげる」というページを設けている。(6年) | 【地震(16) ※選択: 水害(12) 火山災害(2) 雪害(2)】 ・地震に備えた地域住民の取組を調べている。 ・夜の避難訓練など、地震や津波に備えた更なる取組を調べている。 ・地震や津波に備えた取組をまとめ、これからの生活に生かすための標語を作っている。(4年) ○通年一冊(253) 国土(54) 農業・水産業(62) 工業(52) 情報(32)・環境(42)・ふりかえり, 巻末資料, さくいん(11) (5年) ○単元の構成276 ・ともに生きる暮らしと政治(63) 日本の歴史(168) 世界の中の日本(45) 補充的・発展的教材の分量上巻(13) 下巻(6) (6年) | ○「まなびのてびき」を「集める」「読み取る」「表す」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している(3, 4年) ○「活動」により、その時間の学習の流れを示している。(3, 4年) ○資料の種類と数(ともに生きる暮らしと政治) 写真(118), イラスト(19) 地図(11), 折れ線グラフ(4), 円グラフ(5), 棒グラフ(6), 表(1), 年表(1) (6年) | ○絵地図, 表, 白地図, ポスター, 買い物調べカード, 買い物地図, グラフ, かんけい図, メモ, ノート, 作物カレンダー, ちらし, 標語, 安全マップ, 道具調べカード, 年表, 絵カード(3年) ○地図, 表, 図, ノート, カード, 標語, 関係図, すごろく, ガイドマップ(4年) ○キーワードに注目してまとめる。(5年) ○ノート, カード, 表にまとめる。(5年) ○单元末「まとめる」の場面や单元後「つなげる」場面において、「説明しよう」「話し合おう」と提示し、学習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象について説明や話し合いの活動を設けている。(6年) |
| 116 日文 | ○タイトルの左横に「どのような～だろう。」、「～わけは何だろう。」等の問いかけの形態で本 | ○大単元の導入において、見開きのページ構成により写真で地球の様子を提示すると共にキャラク | 【水害(16) ※選択: 地震(4) 津波(6) 火山災害(2) 雪害(2)】 ○東京都の自然災害を調べ | ○「学び方・調べ方コーナー」を「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の観点に分け、場 | ○発見カード, 白地図, ガイドマップ, 表, 産地マップ, キャッチコピー, きけんカード, 見 |

| | | | | | |
|--|--|---|---|--|---|
| | <p>時の問いを提示している。(3, 4年)</p> <p>○「日本の都道府県」で、各都道府県の名称と位置を示している。また、自分たちの住んでいる都道府県を問い、まわりの都道府県をたずねている。家族といっしょに訪れた都道府県をたずねている。(4年)</p> <p>○画像で掲載されている世界文化遺産は16。本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。(6年)</p> | <p>ターの話し言葉で示されている。(5年)</p> <p>○問題解決的な学習の進め方について、单元ごとに「学習問題」を示し、見開きページごとに「問い」を提示しながら調べる学習を進め、これまで学習してきたことをもとに、学習問題について話し合う活動を設定している。单元によっては、单元末に、もっとくわしく調べてみたいことを取り上げる「わたしたちの学びを生かそう」というページを設けている。(6年)</p> | <p>ている。</p> <p>○森林と水害の関係を調べている。</p> <p>○メール配信サービスやハザードマップを取り上げ、災害に備えた情報伝達のための取組を調べている。</p> <p>○水害対策訓練を取り上げ、災害に備える取組を調べている。</p> <p>○災害に備える取組をまとめ、自分たちにできることを考えている。(4年)</p> <p>○通年一冊(284) 国土(60) 農業・水産業(66) 工業(56)・情報(48) 環境(44) (5年)</p> <p>○単元の構成 270 わが国の政治のはたらき(49) 日本のあゆみ(180) 世界の中の日本とわたしたち(41) 補充的・発展的教材の分量上巻(15) 下巻(6) (6年)</p> | <p>面に応じた学習方法を示している。(3, 4年)</p> <p>○「見方・考え方コーナー」を設け、社会的な見方・考え方を広げる3つの視点・方法を示している。(3, 4年)</p> <p>○資料の種類と数(わが国の政治のはたらき) 写真(87), イラスト(17)</p> <p>○地図(6) 折れ線グラフ(1), 円グラフ(4), 棒グラフ(5), 表(1), 年表(1)</p> <p>○新聞記事(2)</p> | <p>学カード, 校しゃの地図, ノート, 安全マップ, 年表, カード, 表(3年)</p> <p>○PR紙, ノート, カード, 標語, すごろく, カルタ, 人物カード, 図, 年表(4年)</p> <p>○ノートのまとめ方や話し合いのしかた(5年)</p> <p>○個人新聞のまとめ方(5年)</p> <p>○図, 写真, グラフを使って, ノート, ふりかえりシート, 新聞にまとめる。(5年)</p> <p>○单元末や单元後の「わたしたちの学びを生かそう」の場面において, 学習したことをまとめたノートの例や児童が話し合っている様子をイラストで示し, 学習した内容を活用し, 歴史上の主な事象や社会的な事象について話し合いの活動を設けている。(6年)</p> |
|--|--|---|---|--|---|

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

| | | | |
|-----|----|--------------------|------------|
| 校種 | 教科 | 教科用図書目録に搭載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 小学校 | 地図 | 2 | 2 |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 観点 発行者 | 基礎・基本の定着 | 主体的に学習に取り組む工夫 | 内容の構成・配列・分量 | 内容の表現・表記 | 言語活動の充実 |
|-----------|---|--|---|--|--|
| 2 東書 | <p>○読図に関しては、「地図帳の使い方」で説明し、具体的な活用の仕方を例示している。</p> <p>○「日本の歴史―世界とのかかわり」で、年表、地図、イラストを用いて、各時代における国名や日本と他国のかかわりについて示し、年表とともに主な出来事について各地方図中の頁数も掲載している。</p> | <p>○「くらべてみよう日本と世界」で、世界各地の有名な山、川、建造物等をイラストで紹介している。</p> <p>○キャラクターの吹き出しで作業的な学習を例示したり、方位や国の大きさを調べる方法を写真入りで掲載したりしている。</p> <p>○資料地図のページでは、テーマの資料図を大きく表現し、学習のねらいを明確に示している。</p> | <p>○日本列島全体を見渡す地図に始まり、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、主題図、統計資料、索引と系統的に配列している。</p> <p>○陸の高さや海の深さが、地図に応じて細かく色分けされており（最大17段階）、土地利用も商業地、住宅地などの8種類で示している。</p> <p>○日本地図、世界地図の中に、国語や音楽、道徳などの学習に役立つ人物イラストや記念館などを掲</p> | <p>○『地図帳の使い方』で、地図記号、この地図帳での記号、方位の見方、縮尺の見方、土地利用の見方、土地の高さの見方、索引の使い方、広く見る時、くわしく見る時、地方別に見る時の見方について、イラストを使って説明している。</p> <p>○「Dマーク」を掲載し、Webページ上で資料等の活用方法等を紹介している。</p> <p>○地名はすべてに、その他の文章にも3年生配当以</p> | <p>○「資料地図、統計表」で、ページ上段の言葉やキャラクターの吹き出しで、調べる観点等を示している。</p> <p>○『日本の自然災害』において、ハザードマップを示し、自分の地域のハザードマップで確認する点について記載している。</p> <p>○日本の自然、産業、貿易、歴史、歴史と文化について主題図で示している。</p> |

| | | | | | |
|----------|---|--|---|--|---|
| | | | 載している。 | 上の漢字にふりがなをつけている。 | |
| 46 帝国 | <p>○読図に関しては、『地図って何だろう』『地図のやくそく』『地図帳の使い方』でくわしく説明し、具体的な活用の仕方を例示している。</p> <p>○巻頭の『世界発見!』で民族衣装・あいさつの言葉、巻末の『世界の国々』で世界の国々の旗を、世界の各地方図で、地域の国旗や特色を示すイラストや写真等を掲載している。</p> <p>○「広く見わたす地図」を掲載し、地理的環境を示している。</p> | <p>○巻頭の『世界発見!』のイラストマップに、世界各地の名所や食事等をイラストで示すとともに「世界の国からこんにちは!」でイラストを用いて世界のあいさつを紹介している。</p> <p>○160万分の1図「広く見わたす地図」では、イラストを多数掲載している。</p> <p>○全般にわたって「地図マスターへの道」で作業的な学習を例示したり、防災マップ作りの手順を示して体験的な学習を例示したり、距離や方位を調べる方法や土地の面積や形を調べる方法を写真入りで掲載したりしている。</p> | <p>○日本の地方ごとに広く見わたす地図に始まり、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、主題図、統計資料、索引と系統的に配列している。</p> <p>○陸の高さや海の深さが、地図に応じて細かく色分けされており（最大13段階）、土地利用も商業地、住宅地などを8種類で示している。</p> <p>○日本列島や地方図では、隣接地域の地図が何ページにあるかを記号で表示し、隣の地図とのつながりを示している。</p> | <p>○『地図のやくそく（1）（2）』で、地図記号、この地図での記号、方位の見方、縮尺の見方、土地利用の見方、高さの見方、索引の使い方、目的に合わせた見方等について、イラストを使ったり、ワークシート形式で記入したりして説明している。</p> <p>○二次元コードを掲載し、Web ページ上で資料の活用方法を紹介している。</p> <p>○地名の漢字は、各自治体が定めた正式な字を掲載し、すべての地名の漢字にふりがなをつけている。</p> | <p>○全般にわたって、「地図マスターへの道」で、学び方や調べ方の簡単な作業を指示し、資料活用の仕方を示している。</p> <p>○『日本の自然災害と防災』において、「防災マップづくり」で地図を使ったまとめ方のヒントや手順を示し、地図の作品の例を掲載している。</p> <p>○日本の自然の様子、日本の自然災害と防災、日本の産業の様子、日本と世界の結びつき、日本の歴史と世界文化遺産について主題図で示している。</p> |

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

| | | | |
|-----|----|--------------------|------------|
| 校種 | 教科 | 教科用図書目録に搭載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 小学校 | 算数 | 6 | 5 |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 発行者 観点 | 2 東書 | 4 大日本 | 11 学図 | 17 教出 | 61 啓林館 | 116 日文 |
|---|---|--|---|--|---|--|
| <p>基礎・基本の 定着</p> <p>第1学年</p> <p>「10の合 成・分解」にお ける学習の流 れと習熟を図 る活動</p> | <p>【学習の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケースに入った10個のブロックのうち、見える個数と蓋で見えない個数を、挿絵を見て考え、「10は□と□」で書き出す。(8組…4と6は例示) ○「さくらんぼ」状に一方の数が示され、対応する10の補数を考えて書く。(8組…4と6は例示) ○さくらんぼの一方の数も自分で決め、対応する補数を書く。(3組) <p>【習熟を図る活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教師が示したフラッシュカードの数字を見て10の補数を答える。 ○5列5行に並んだ数字を見て、10になる2つの数の並びを縦・横・斜めで見つけて囲む。 <p>【九九の読み…例 四九36】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四九の上にルビを表記している。 ○36の上中央揃えて、字幅を縮小せずにルビを表記している。 ○四九と36の字間は1字分ある。 | <p>【学習の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケースに入った10個のブロックのうち、見える個数と蓋の下に透けて見える個数を、挿絵を見て考え、「10は□と□」で書き出す。(8組…4と6は例示) ○10になる組み合わせを順に並べたブロックの挿絵を見て、「□と□」やT字に仕切られた表の下段に10になる数の組み合わせを書き込む。(8組…1と9は例示) <p>【習熟を図る活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○5列5行に並んだ数字を見て、10になる2つの数の並びを縦・横・斜めで見つけて囲む。 ○「おうちでさんすう」で、パパ抜きゲームを紹介している。 <p>【九九の読み…例 四九36】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四九の上にルビを表記している。 ○36の上中央揃えて、字幅を縮小せずにルビを表記している。 ○四九と36の字間は2字分ある。 | <p>【学習の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○10になる組み合わせを順に並べたブロックの挿絵を見て、「□と□」やT字に仕切られた表の下段に10になる数の組み合わせを書き込む。(8組…1と9は例示) <p>【習熟を図る活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グループで、パパ抜きの要領で10をつくるドット図カードゲームを行う。 ○4列4行に並んだ数字を見て、10になる2つの数の並びを縦・横・斜めで見つけて囲む。 <p>【九九の読み…例 四九36】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四九の上にルビを表記している。 ○36の上中央揃えて、字幅を縮小してルビを表記している。(6の段以降では縮小せず表記している。) ○四九と36の字間は2字分ある。 | <p>【学習の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケースに入った10個のブロックのうち、蓋の下に透けて見える個数と、挿絵を見て考え、「2と□で10」の□に書く(4組…4と□は一斉) ○順序良く並べられたブロックの挿絵を見て、「10は○と○」で書き込む。(9組) ○折込に組み合わせと並び方のきまりが、ドット図とブロック図とともにまとめて示されている。 <p>【習熟を図る活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○神経衰弱の要領で10になる2つの数を見つける。 ○かるたの要領で10の補数を見つける。 ○5列5行に並んだ数字を見て、10になる2つの数の並びを縦・横・斜めで見つけて囲む。 <p>【九九の読み…例 四九36】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四九の上にルビを表記している。 ○36の上下揃えて、字幅を縮小せずにルビを表記している。 ○四九と36の字間は1字分ある。 | <p>【学習の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○おはじき入れの場面で、10個のおはじきのうち、円の中の個数と円の外個数を数える。(2組) ○10になる組み合わせで色分けされ、順に並んだドット図を見て、10になる数の組み合わせを書き込む。(8組…1と9は例示) <p>【習熟を図る活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○数やドット図を見て10の補数を答える。(4組) ○机の上に広げた数カードから、10になる2つの数を見つけて取る。 <p>【九九の読み…例 四九36】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四九の上にルビを表記している。 ○36の上中央揃えて、字幅を縮小せずにルビを表記している。(他の段でも同様に縮小して表記している。) ○四九と36の字間は2字分ある。 | <p>【学習の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○10になる組み合わせを順に並べたブロックの挿絵を見て、「□と□」に10になる数の組み合わせを書き込む。(9組) ○ケースに入った10個のブロックのうち、見える個数と蓋で見えない個数を、挿絵を見て考え、「10は□と□」で書き出す。(8組…3と7は例示) <p>【習熟を図る活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教師が示したフラッシュカードの数字を見てブロックを操作し、10の補数を答える。 ○机の上に広げた数カードから、10になる2つの数を見つけて取る。 ○5列5行に並んだ数字を見て、10になる2つの数の並びを縦・横・斜めで見つけて囲む。 <p>【九九の読み…例 四九36】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四九の上にルビを表記している。 ○36の上中央揃えて、字幅を縮小してルビを表記している。(他の段でも同様に縮小して表記している。) ○四九と36の字間は3字分ある。 |
| <p>第2学年</p> <p>「九九」におけ る基礎的・基本 的な知識・技能 を定着させる ための工夫</p> | <p>【九九の練習の仕方の例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○4の段学習後の「九九のれんしゅう」のページに、九九のカードを使った一人練習2つと二人練習2つをまとめて示し、各段のページに、当ページ番号を示している。 ○全段学習後の「九九名人をめざそう」のページに、「答えの大きい方から」「途中から」「ばらばらに」読みやその記録カードを示している。 ○4の段学習後のページに、「九九ビンゴ」の仕方を示している。 | <p>【九九の練習の仕方の例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2～7の段までの学習ページに、九九のカードを使った一人練習1つと二人練習5つを、一つずつ示している。 ○8の段では、ビンゴやカードゲームでの練習を促している。9の段と1の段では特に示されていない。 ○4の段学習後のページに、「かけ算ビンゴ」と九九カードゲーム2種の仕方を示している。 ○全段学習後の「おうちで算数」に、「かけ算しりとり」の仕方を示している。 | <p>【九九の練習の仕方の例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全ての段の学習ページに、「九九のカードを作ってれんしゅうしましよう。」とカードの表面と裏面の例を示している。具体的な練習の仕方は示されていない。 ○4の段学習後のページに、九九カードゲーム2種の仕方を示している。 ○巻末にかけ算ゲーム2種の仕方を示している。 | <p>【九九の練習の仕方の例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○4の段学習後の「九九のれんしゅう」のページに、九九のカードを使った一人練習2つと二人練習1つ、三人練習1つをまとめて示し、2～5の段のページに、当ページ番号を示している。 ○6～9の段では、「九九のカードを使って、れんしゅうをしましよう。」と示している。 ○よくあるまちがいが具体的に示され、注意を促している。 ○4の段学習後のページに、九九カードゲーム2種と「九九ビンゴ」の仕方を示している。 | <p>【九九の練習の仕方の例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2～5の段までの学習ページに、九九のカードを使った一人練習2つと二人練習1つ、三人練習1つを、一つずつ示している。それらを「カードれんしゅう」のページにまとめて示し、5～9の段に当ページ番号を示している。 ○初めの5の段の学習ページで、巻末の切り取り式「九九の円ばん」を使った練習を促している。 | <p>【九九の練習の仕方の例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2の段の学習ページで、「九九のカードをつくってれんしゅうしよう。」とカードの表面と裏面の例を示している。全段学習後に、九九カードゲームでの練習を促している。 ○巻末の折込ページに切り取り式の九九マスターカードがあり、「上から」「下から」「ばらばら」読みを促している。 ○4の段学習後のページに、九九カードゲーム2種の仕方を示している。 ○巻末の折込ページに「九九ビンゴゲーム」の仕方を示している。 |

| 発行者 観点 | 2 東書 | 4 大日本 | 11 学図 | 17 教出 | 61 啓林 | 116 日文 |
|--|---|---|---|---|---|---|
| 主体的に学習 に取り組む 工夫 第5学年 「平面図形の 性質」におけ る導入及び問 題解決的な学 習を実施する ための工夫 単元末におけ る興味・関心 を高める工夫 | <p>【単元名】図形の角を調べよう</p> <p>○図やイラスト等で日常の場面や既習を取り上げ、対話により単元の学習課題をつくる「単元プロローグ」がある。(1P)</p> <p>円の半径を使ってかいたいろいろな二等辺三角形の角の大きさを調べる。</p> <p>【三角形(帰納的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○三角形の3つの角の大きさには、どのようなきまりがあるか、調べてみましょう。 ・いろいろな三角形をかいて、下の図のようにして3つの角の大きさの和をしらべましょう。</p> <p>【四角形(演繹的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○四角形の4つの角の大きさの和は、何度になりますか。 ・次のページの～さんの図を見て、～さんの考えを式に表し、説明しましょう。</p> <p>【まとめ】 ○四角形の4つの角の大きさの和は、四角形を三角形に分けて考えれば求めることができる。四角形の4つの角の大きさの和は、360°になる。</p> <p>【多角形への発展】 ○五角形・六角形→七角形・八角形</p> <p>【単元末の工夫】 ○対話により、単元全体の学習を振り返り、価値づけたり、次の学習を創出したりする「つないでいこう算数の目」がある。(1P)</p> | <p>【単元名】図形の角の大きさを調べよう</p> <p>○イラスト等の場面から、問題や疑問を見いだす「新しい学習がはじまるよ」がある。(1P)</p> <p>三角定規の3つの角の大きさの和を確認し、同じ三角定規2まいを使ってできる三角形の角の大きさを調べる。</p> <p>【三角形(帰納的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○三角形の3つの角の大きさの和を、いろいろな方法で調べましょう。 ・いろいろな三角形をかいて、角の大きさを分度器ではかいて調べましょう。</p> <p>【四角形(演繹的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○四角形の4つの角の大きさの和が何度になるか調べましょう。 ・～さん、～さん、～さんの考えの良いところや、似ているところについて話し合いましょう。</p> <p>【まとめ】 ○四角形をいくつかの三角形に分けて、すでにわかっている三角形の性質を使うと、四角形の4つの角の大きさの和が360°であることを説明できます。</p> <p>【多角形への発展】 ○五角形・六角形→七角形・八角形</p> <p>【単元末の工夫】 ○算数が社会で生かされていることを実感できる「ふくろう先生のなるほど算数教室」がある。(1～2P)</p> | <p>【単元名】三角形や四角形の角について調べよう</p> <p>○イラスト等から、日常や算数の授業の中で疑問が生まれる場面、「?を発見」がある。(1P)</p> <p>三角定規の3つの角の大きさの和を確認する。</p> <p>【三角形(帰納的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○右の直角三角形で、Aの角を60°、50°、40°と小さくして、頂点Bを頂点Cに近づけて、このときの角の大きさについて調べましょう。 ・三角形の3つの角の大きさの和がどうなるか、話し合いましょう。</p> <p>【四角形(演繹的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○四角形の4つの角の大きさの和について、調べましょう。 ・四角形の4つの角の大きさの和は何度になりますか。いろいろな方法で調べましょう。</p> <p>【まとめ】 ○どんな四角形でも、4つの角の大きさの和は360°です。</p> <p>【多角形への発展】 ○五角形→六角形→七～九角形</p> <p>【単元末の工夫】 ○単元により生活の中で算数を役立てることが意識できる「深めよう生活にいかす」がある。(1P)</p> | <p>【単元名】合同な三角形・四角形</p> <p>○身近な題材から問題を発見し、算数の問題としてモデル化する「どんな学習がはじまるのかな?」がある。(2P)</p> <p>三角形をまっすぐにならべられるか、2種類の三角形で考える。</p> <p>【三角形(帰納的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○三角形の3つの角の大きさには、どんなきまりがあるか調べましょう。 ・いろいろな三角形で3つの角の大きさの和が何度になるか調べましょう。</p> <p>【四角形(演繹的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○四角形の4つの角の大きさには、どんなきまりがあるか調べましょう。 ・～さんの考えを説明しましょう。</p> <p>【まとめ】 ○四角形の4つの角の大きさの和は360°です。</p> <p>【多角形への発展】 ○五角形→六～八角形→十角形</p> <p>【単元末の工夫】 ○単元で学習したことを日常生活に活用する「学んだことを使おう」がある。(1P)</p> | <p>【単元名】合同な図形</p> <p>○日常の事象や既習事項から問題を見いだす「単元とびら」がある。(1P)</p> <p>合同な三角形を横にならべて、テープのような形にできつめる。</p> <p>【三角形(帰納的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○三角形の3つの角の大きさについて調べてみましょう。 ・どんな三角形でも、3つの角の大きさの和は180°になりますか。自分で形や大きさを決めて三角形をかき、①の①や②のしかたで調べてみましょう。</p> <p>【四角形(演繹的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○四角形の4つの角の大きさの和を求めてみましょう。 ・四角形を三角形に分けて調べて、4つの角の大きさの和が360°になることを説明しましょう。</p> <p>【まとめ】 ○四角形の4つの角の大きさの和は360°です。</p> <p>【多角形への発展】 ○五角形→六角形・七角形→八角形</p> <p>【単元末の工夫】 ○日常の事象や算数の学習場面から見いだした問題を解決する「学びをいかそう」や仕事と算数との関わりを記した「ひろがる算数」がある。</p> | <p>【単元名】ぴったり重なる形と図形の角を調べよう</p> <p>○操作活動や既習内容の振り返りや関連付け等から新しい学習への素地づくりを行う「単元アプローチ」がある。(1P)</p> <p>合同な三角形なら、どんな形でもしきつめられるのか、3種類の三角形で考える。</p> <p>【三角形(帰納的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○三角形の3つの角の大きさには、どのようなきまりがありますか。 ・いろいろな形の三角形を紙にかいて、3つの角の大きさの和を調べましょう。</p> <p>【四角形(演繹的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○四角形の4つの角の大きさの和は、何度になりますか。 ・考えを発表し合い、四角形の4つの角の大きさの和について話し合いましょう。</p> <p>【まとめ】 ○四角形の4つの角の大きさの和は360°です。</p> <p>【多角形への発展】 ○五角形・六角形→七角形→八角形・九角形</p> <p>【単元末の工夫】 ○作業的・体験的な活動や学習したことを実際の場面に活用して、算数と生活の関連を示す「Hello Math」がある。</p> |

| 発行者 観点 | 2 東書 | 4 大日本 | 11 学図 | 17 教出 | 61 啓林 | 116 日文 |
|--|--|---|--|---|---|--|
| 内容の構成・ 配列・分量 | 【単元や資料等の配列】 ○習熟に時間を要する内容やスパイラルに学習することが有効な内容については、2つの単元に分けて段階的に取り扱っている。 | 【単元や資料等の配列】 ○目次に各単元に関連する既習や以降の学習を記載し、学びの系統がわかりやすくなっている。また、他教科との関連がある学習や、合科での扱いが可能な学習には他教科リンクマークをつけるなどしている。 | 【単元や資料等の配列】 ○目次で、関連のある既習単元のつながりを提示し、系統的な配列が見えるようになっている。また、既習事項が明白な単元小単元の導入では解答や解説が見えない構成になっている。 | 【単元や資料等の配列】 ○「はてな」「なるほど」「だったら」という言葉を用いて、問いの連続を意識した単元構成になっている。また、学年を越えて学び直しができるように「学びのマップ」「学びの手引き」を設けている。 | 【単元や資料等の配列】 ○目次で、単元内容とそれに関連する全学年までの既習事項が示され、系統をふまえて学習内容が概観できるようになっている。また、「これまでに学んだこと」「この本でまなぶこと」「学びのサポート」の3つの項目に分けられて示されている。 | 【単元や資料等の配列】 ○低学年は単元を分散的に構成し、同じ内容が長い期間続かないようにし、高学年は関連する内容をまとめた配列にしている。また、単元前には「次の学習のために」を設け、既習事項を確認してから新しい学習が始められるようにしている。 |
| 単元や資料等の配列 (単元の配列、 ページ数・単元 数、冊数・重さ) | 【ページ数・単元総数】 ○低学年平均215P 中学年平均310P 高学年平均295P 単元総数98 | 【ページ数・単元総数】 ○低学年平均210P 中学年平均275P 高学年平均279P 単元総数100 | 【ページ数・単元総数】 ○低学年平均241P 中学年平均311P 高学年平均312P 単元総数120 | 【ページ数・単元総数】 ○低学年平均229P 中学年平均322P 高学年平均291P 単元総数97 | 【ページ数・単元総数】 ○低学年平均233P 中学年平均304P 高学年平均299P 単元総数107 | 【ページ数・単元総数】 ○低学年平均235P 中学年平均308P 高学年平均297P 単元総数100 |
| 中学校との関連 に関する内容の 記述 (中学校との接 続に関わる記述 | 【冊数・6年教科書重量】 ○1～5年2冊 6年1冊 6年475g ○1年では、幼保小の接続を意識し、入門期に特化した、ノート機能を備えた大判(A4判)の分冊がある。 | 【冊数・6年教科書重量】 ○各学年1冊 6年440g ○全学年1冊の合本とし1年間の指導の見通しをたやすくしている。 | 【冊数・6年教科書重量】 ○1～6学年2冊 6年485g ○6年には「見方・考え方」を振り返り中学校の内容に触れる別冊がある。 | 【冊数・6年教科書重量】 ○2～4年2冊 1・5・6年1冊 6年450g | 【冊数・6年教科書重量】 ○2～4年2冊 1・5・6年1冊 6年485g | 【冊数・6年教科書重量】 ○1～5年2冊 6年1冊 6年475g |
| ページ数、6年 発展的な内容ペ ージ数) | 【中学校との関連に関わる記述】 ○6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述1.5P ○6年発展的な内容7.5P | 【中学校との関連に関わる記述】 ○6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述2.5P ○6年発展的な内容10.75P | 【中学校との関連に関わる記述】 ○6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述8P ○6年発展的な内容33.5P | 【中学校との関連に関わる記述】 ○6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述1P ○6年発展的な内容9.5P | 【中学校との関連に関わる記述】 ○6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述2P ○6年発展的な内容6.5P | 【中学校との関連に関わる記述】 ○6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述1P ○6年発展的な内容13.25P |

| 発行者 観点 | 2 東書 | 4 大日本 | 1 1 学図 | 1 7 教出 | 6 1 啓林 | 1 1 6 日文 |
|---|---|--|--|---|--|---|
| <p>内容の 表現・表記</p> <p>イラスト・写 真・吹き出し等 の活用 (キャラクター 等の活用, 視覚 資料・図表等の 扱い, デジタル コンテンツの扱 い)</p> | <p>【イラスト・吹き出し・キャラクター等の活用】 ○キャラクター(ますりん)や6人の児童の吹き出しを配置している。各時の終わりにページの下方に学習を価値付けたり, 次の学びを創り出したりする児童の姿が表されている。</p> <p>【視覚資料・図表等の扱い・読みやすさ】 ○文字の視認性にすぐれたUD教科書体を使用し, 節で改行して読みやすくしている。重要語句は大文字に加え波下線を付けている。ページ番号は単元ごとに色を変えている。</p> <p>【デジタルコンテンツ】 ○表紙裏にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。(コンテンツ数85) 対応する箇所にはDマークを示している。</p> | <p>【イラスト・吹き出し・キャラクター等の活用】 ○キャラクター(うさぎ)や6人の児童, 先生の吹き出しを配置している。</p> <p>【視覚資料・図表等の扱い・読みやすさ】 ○全面的にユニバーサルデザインフォントを使用し, 読みやすい位置で改行している。ページの右上に単元名を記載したインデックスがあり, 領域別に色を変えてある。</p> <p>【デジタルコンテンツ】 ○『楽しい算数』の使い方にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。(コンテンツ数88) 対応する箇所には, デジタルコンテンツマークを示している。</p> | <p>【イラスト・吹き出し・キャラクター等の活用】 ○キャラクター(ロボット2・モンスター9)や4人の児童の吹き出しを配置している。モンスターは, 見方・考え方を意識させようとしている。</p> <p>【視覚資料・図表等の扱い・読みやすさ】 ○大きさをA B判にし, 開きやすく読みやすくするとともに, 作業部分を広くしている。主要な本文書体には独自に開発した書体を使用している。絵図に立体感がある。</p> <p>【デジタルコンテンツ】 ○対応する箇所にある二次元コードからコンテンツにアクセスできる。(コンテンツ数33)</p> | <p>【イラスト・吹き出し・キャラクター等の活用】 ○キャラクター(どんぐり)や4人の児童の吹き出しを配置している。</p> <p>【視覚資料・図表等の扱い・読みやすさ】 ○文字の視認性に優れたUD教科書体を使用している。読みやすい改行をしている。</p> <p>【デジタルコンテンツ】 ○「学びの手引き」にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。(コンテンツ数57) 対応する箇所には, 「まなびリンク」マークを示している。作図の手順も連続写真(動画にリンク)示されている。(左利きにも対応)</p> | <p>【イラスト・吹き出し・キャラクター等の活用】 ○キャラクター(えんぴつくん)や4人の児童の吹き出しを配置している。</p> <p>【視覚資料・図表等の扱い・読みやすさ】 ○教科書体を基本とし, UDフォントを使用している。10のまとまりはタイトルでなく教え棒で示している。1年「わくわくすたあと」の部分は書き込んだり消したりしやすいように特別な用紙を使用している。</p> <p>【デジタルコンテンツ】 ○対応する箇所にある二次元コードからコンテンツにアクセスできる。(コンテンツ数370)</p> | <p>【イラスト・吹き出し・キャラクター等の活用】 ○キャラクター(りす)や6人の児童の吹き出しを配置している。</p> <p>【視覚資料・図表等の扱い・読みやすさ】 ○開発した教科書体を使用。すべての文章を読みやすい位置(文節)で改行している。</p> <p>【デジタルコンテンツ】 ○目次にあるURLからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には, Webマークを示している。(コンテンツ数41)</p> |

| 発行者 観点 | 2 東書 | 4 大日本 | 11 学図 | 17 教出 | 61 啓林 | 116 日文 |
|--|--|---|--|---|---|---|
| 言語活動の 充実 | <p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○特設ページ「学びのとびら」(2P)を設け、「友だちと学ぼう」等の学習活動ごとに観点を示し、また、単元の中の「今日の深い学び」においても観点を示し、学習内容と関連づけている。</p> | <p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○特設ページ「算数まなびナビ」(2P)を設け、「学び合おう」等の学習活動ごとに観点を示し、また、単元の中の「学び合おう」においても観点を示し、学習内容と関連づけている。</p> | <p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○特設ページ「3つの学び方で学習を進めよう」(2P)を設け、「主体的な学び」「対話的な学び」等の内容を示し、学習内容と関連づけて説明している。</p> | <p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○特設ページ「学習の進め方」(2.5P)を絵と言葉で具体的に示し、また、その活動の観点を単元の中でも示し、学習内容と関連づけている。</p> | <p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○特設ページ「学習の進め方・わくわく算数学習」(4P)で、学習の進め方を学習内容と関連付けて示している。また、上巻末の「資料集」で説明の仕方等を示し、説明している(2P)。</p> | <p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○上巻頭(1年のみ下巻頭)に特設ページ「算数の学習の進め方」(1P)で概要を示し、上巻末に切り取って使えるシート「学び方ガイド」(1枚)を付けている。また、単元の中の「自分でみんなで」においても観点を示し、学習内容と関連づけている。</p> |
| 数学的な表現 を用いて自分の 考えを説明 する活動の工夫 (学習の流れと説明した り話し合ったり する活動の 記載例、記載 挿入単元数) | <p>(記載挿入単元数)</p> <p>1年—0, 2年—1 3年—3, 4年—3 5年—3, 6年—3</p> | <p>(記載挿入単元数)</p> <p>1年—0, 2年—1 3年—1, 4年—1 5年—1, 6年—1</p> | <p>(記載挿入単元数)</p> <p>1年—0, 2年—0 3年—0, 4年—0 5年—0, 6年—0</p> | <p>(記載挿入単元数)</p> <p>1年—0, 2年—2 3年—2, 4年—2 5年—2, 6年—2</p> | <p>(記載挿入単元数)</p> <p>1年—0, 2年—0 3年—0, 4年—0 5年—0, 6年—0</p> | <p>(記載挿入単元数)</p> <p>1年—2, 2年—4 3年—4, 4年—4 5年—4, 6年—3</p> |
| 思考を深める ための記述の 工夫(ノート 指導の扱いと 記載例、ペー ジ数) | <p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「算数マイノートをつくろう」「算数マイノートを学習に生かそう」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントや学習の感想を説明している。</p> | <p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「算数まなびナビ～ノートのかき方～」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。</p> | <p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「考えるノート」「まとめるノート」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。</p> | <p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「友だちのノートを見てみよう」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。</p> | <p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「考えがよくわかる わくわく算数ノート」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。</p> | <p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「算数ノートをつくろう」「つなげよう! 学びとノート」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。</p> |
| | <p>(ページ数)</p> <p>1年—1P, 2年—4P 3年—8P, 4年—8P 5年—8P, 6年—8P</p> | <p>(ページ数)</p> <p>1年—1P, 2年—2P 3年—2P, 4年—2P 5年—2P, 6年—2P</p> | <p>(ページ数)</p> <p>1年—0P, 2年—3P 3年—3P, 4年—4P 5年—3P, 6年—3P</p> | <p>(ページ数)</p> <p>1年—0P, 2年—4P 3年—4P, 4年—4P 5年—4P, 6年—4P</p> | <p>(ページ数)</p> <p>1年—0P, 2年—2P 3年—2P, 4年—2P 5年—2P, 6年—2P</p> | <p>(ページ数)</p> <p>1年—2P, 2年—4P 3年—4P, 4年—4P 5年—4P, 6年—2P</p> |

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

| 校種 | 教科 | 教科用図書目録に搭載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
|-----|----|--------------------|------------|
| 小学校 | 理科 | 6 | 4 |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 発行者 | 観点 | 基礎・基本の定着 | 主体的に学習に取り組む工夫 | 内容の構成・配列・分量 | 内容の表現・表記 | 言語活動の充実 |
|----------|----|---|---|---|---|---|
| 2 東書 | | <ul style="list-style-type: none"> ◆単元の目標とまとめの示し方 <ul style="list-style-type: none"> ・対話形式で学習のめあてや視点を示している。 ・単元末に「たしかめよう」を設け、知識・技能の定着を図るようにしている。また、どこをふり返ればよいか分かるように、ページ番号が示されている。単元によって、最後に「学びをつなごう」を設けている。 ◆知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・「理科の広場」で、学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。また、「学びを生かして深めよう」で、日常生活での現象を取り上げ、説明させている。 ◆観察・実験の技能を習得させるための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・器具の使い方を巻末に掲載している。 ・フローチャートと番号で手順を示すとともに、写真や図を用いて説明している。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆興味・関心を高めるための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入では、児童の疑問を引き出した後、単元名を示している。 ・児童が話し合うイラストを載せている。 ・「春のしぜんにとび出そう」の単元では、野原で多様な植物やチョウなどと児童が映っている見開き写真を載せている。 ◆問題解決の力を育成するための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を以下のようになっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆単元や資料等の配列 <ul style="list-style-type: none"> ・判 A ・ページ数, 単元数 学年合計 788 ページ 54 単元 ・単元以外の内容 年間の学習ガイダンス 理科の学び方 環境とのかかわり 他単元や下学年の内容の系統的な整理 科学研究の進め方 資料 (器具の使い方等) 1年間の学習のまとめ ◆社会の変化に伴う課題への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・災害に関する小単元を設けている。 ・防災・減災に関する内容を扱っている。 ・地震が起きた時の対処についての記述がある。 ・第6学年「電気と私たちのくらし」で、プログラミングの活動やものづくりを紹介している。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆巻頭・巻末の資料の扱い <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻頭には、「理科の学び方」で、学習の進め方の資料を掲載している。 ・巻末では、1年間の学習の振り返りの他、学年に応じた資料 (昆虫の切り紙、胎児のモデルや臓器の組み立てキットなど) を掲載している。 ◆イラスト・写真・図表の示し方の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の冒頭では写真を使用しており、複数の写真を並べながら自然事象を提示している。 ・学習の参考資料をタブレットやスマートフォンで見られるようQRコードを掲載している。 ◆キャラクターやマーク等の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・マークを設定し、活動のねらいを明確にしている。 ・キャラクターを用いて「理科の見方・考え方」を働かせるための学習の進め方や活動のヒントを提示している。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆考察文の記述例と考察文の要素 例：4年もののあたたまり方と体積【金属のまとめ】 ●金ぞくは、熱せられると、体積が大きくなり、冷やされると体積が小さくなります。 温度による体積の変わり方が大きい順にならべると、空気、水、金ぞくの順になります。 ・関連付けられた結論の記述 ・比較に基づく特徴の記述 ・既習内容との比較を用いた記述 ◆話し合いや説明の活動を促す工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程において、吹き出しをつなぐ形で児童の対話を示している箇所がある。(巻末に話し合いの仕方について説明がある。) ・巻末に発表の仕方や話し合いの際の留意点を示している。 |
| 4 大日本 | | <ul style="list-style-type: none"> ◆単元の目標とまとめの示し方 <ul style="list-style-type: none"> ・活の中での事象を示し、「～気付いたことを話し合しましょう。」と呼びかけの形で問題を提示している。 ・単元末に学習内容を見直す「たしかめよう」や、日常生活との関 | <ul style="list-style-type: none"> ◆興味・関心を高めるための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入では、単元名を大きく示している。 ・「しぜんのかんさつ」の単元では、校庭で多様な植物やチョウ、魚などと見 | <ul style="list-style-type: none"> ◆単元や資料等の配列 <ul style="list-style-type: none"> ・判 AB ・ページ数, 単元数 学年合計 826 ページ 55 単元 ・単元以外の内容 理科の学び方 | <ul style="list-style-type: none"> ◆巻頭・巻末の資料の扱い <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻頭には、「理科の学び方」で、学習の進め方の資料を掲載している。 ・巻末では、1年間の学習のまとめの他、科学者の紹介など学年に応 | <ul style="list-style-type: none"> ◆考察文の記述例と考察文の要素 例：4年もののあたたまり方と体積【金属のまとめ】 ●金ぞくも、空気や水と同じよ |

| | | | | | |
|-------------------|---|---|---|--|---|
| | <p>係を考える「学んだことを生かそう」を設け、授業だけでなく日常生活においても学習内容を意識させるようにしている。</p> <p>◆知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「りかのたまたまばこ」で学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。「学んだことを生かそう」では、日常での現象を取り上げ、説明させている。 <p>◆観察・実験の技能を習得させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・番号をつけて手順を示し、写真や図を用いて説明している。器具の使い方を巻末に掲載している。 | <p>童が描かれた見開きイラストを載せている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が伝え合ったり、話し合ったりするイラストや生き物の写真を載せている。 <p>◆問題解決の力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を以下のようにしている。 <ol style="list-style-type: none"> ①問題を見つけよう ②予想しよう ③計画を立てよう ④調べよう ⑤記録しよう ⑥考えよう ⑦まとめよう | <p>科学研究の進め方 他学年の学習内容の整理資料（器具の使い方等） 1年間の学習のまとめ 次学年の学習内容の紹介</p> <p>◆社会の変化に伴う課題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災マーク、災害に備えようブック ・防災・減災に関する内容を扱っている。 ・地震が起きた時の対処についての記述がある。 ・第6学年「私たちの生活と電気」で、プログラミングの活動を紹介している。 | <p>じた資料を掲載している。</p> <p>◆イラスト・写真・図表の示し方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の冒頭では写真を使用して自然事象を提示している。子供のイラストが吹き出しで、自分の考えをもったり、対話をしながら学習したりしている様子を掲載している。 ・3年生では結果をシールではり、6年生では学習のまとめのすごろくなどを掲載している。 <p>◆キャラクターやマーク等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の順序を表すマークを設定し、学習の過程を明確にしている。 ・キャラクターが単元の冒頭で「理科の見方」につながる着眼点を示している。 | <p>うに、あたためられると体積が大きくなり、冷やされると体積が小さくなる。</p> <p>金ぞくの体積の変化は、空気や水に比べてとても小さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連付けられた結論の記述 ・比較に基づく特徴の記述 ・既習内容との比較を用いた記述 <p>◆話し合いや説明の活動を促す工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程において、机をはさんで話し合う形で児童の対話を示している箇所がある。 ・考察では、キャラクターのセリフに予想と関連させるように示している。 ・巻頭に「話し合いのしかた」として、話し合いの際の留意点を示している。 |
| <p>1 1 学図</p> | <p>◆単元の目標とまとめの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「～を調べていきましょう。」と呼びかけの形や「～でしょうか。」と問いかけの形で問題を提示している。また、単元での学習の流れを、写真を使って提示している。 ・単元末に「まとめてみよう」を設け、知識・技能の定着を図るようにしている。また、「できるようになったこと」を設けて単元でできるようになったことを振り返るようにしている。単元によって、最後に「活用 学びを生かそう」を設けている。 <p>◆知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しりょう」において、学習内容が仕事や生活に生かされている様子を掲載している。「調べてみよう」では、日常生活での事象を取り上げて説明させている。 <p>◆観察・実験の技能を習得させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・番号をつけて手順を示し、写真や図を用いて説明している。 ・手順と合わせて、使う器具について同ページや巻末に掲載している。 | <p>◆興味・関心を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入では、単元名を大きく示している。 ・導入で、生活科とのつながりを示していない。 ・「しぜんのかんさつ」の単元では、アブラナを虫眼鏡で観察している児童が映っている見開き写真と児童が観察している写真、多様な場所の植物と児童が映っている写真や人物イラストを載せている。 <p>◆問題解決の力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を以下のようにしている。 <ol style="list-style-type: none"> ①問題を見つける ②予想する ③計画する ④調べる ⑤整理する ⑥結果から考える ⑦まとめる ⑧生かす | <p>◆単元や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判 AB ・ページ数、単元数 学年合計 804 ページ 56 単元 ・単元以外の内容 年間の学習ガイダンス 各学年の問題解決の力を提示 <p>科学研究の進め方 科学者の伝記の紹介資料（器具の使い方等） 1年間の学習のまとめ</p> <p>◆社会の変化に伴う課題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災マーク ・防災・減災に関する内容を扱っている。 ・地震が起きた時の対処についての記述がある。 ・第6学年「電気と私たちの生活」で、プログラミングの活動や生活の中でのプログラミングを紹介している。 | <p>◆巻頭・巻末の資料の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻頭には、「科学の芽を育てよう」で、学習の進め方等の資料を掲載している。 ・巻末では、1年間の学習の振り返りの他、学年に応じた資料を掲載している。 <p>◆イラスト・写真・図表の示し方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の冒頭では写真を使用して自然事象を提示している。子供のイラストと考えることを促したり、考える視点を与えたりする吹き出しを掲載している。 ・単元のはじめに必ずインデックスがついている。 ・学習の参考資料をタブレットやスマートフォンで見られるようQRコードを掲載している。 <p>◆キャラクターやマーク等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れのマークを示し、学習過程を明確にしている。 ・キャラクターが設定され、単元の冒頭でその単元で働かせる「理科 | <p>◆考察文の記述例と考察文の要素</p> <p>例：4年ものあたたまり方と体積</p> <p>【金属のわかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●金ぞくも、温められて温度が高くなると体積がふえ、冷やされて温度が低くなると体積がへる。 金ぞくの体積の変り方は、空気や水とくらべると、とても小さい。 ・関連付けられた結論の記述 ・比較に基づく特徴の記述 ・既習内容との比較を用いた記述 ・事象を解釈した記述 <p>◆話し合いや説明の活動を促す工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程に関係づけられた項目において、児童の対話を示している箇所がある。 ・巻頭に「伝える・聞く」として、発表の際の留意点について |

| | | | | | |
|----------|---|---|---|---|--|
| | | | | の見方・考え方」を示している。 | て文型を利用して示している。 |
| 17 教出 | <ul style="list-style-type: none"> ◆単元の目標とまとめの示し方 <ul style="list-style-type: none"> ・イラストの吹き出しによる「～かな？」等の問いかけの形で問題を提示している。また、これまでの学習を系統的に想起させたり、生活の中での事象を想起させたりしている。 ・単元末に「確かめ」を設け、単元で学習した言葉を使って、文章で説明させるようにしている。また、どこをふり返ればよいか分かるように、ページ番号が示されている。 ◆知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・「しりょう」や「科学のまど」において、学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。「学びをひろげよう」では、日常生活での事象を取り上げて説明させている。 ◆観察・実験の技能を習得させるための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・番号をつけて手順を示し、写真や図を用いて説明している。 ・手順と合わせて、使う器具について同ページや巻末に掲載している。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆興味・関心を高めるための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ○単元の導入では、単元名を大きく示している。 ○導入で、生活科とのつながりを示している。 ・「生き物をさがそう」の単元では、校庭のタンポポを観察する児童が映っている1ページの写真やシロツメクサ、モンシロチョウなどの写真を載せている。 ・児童が話し合っているイラストを載せている。 ◆問題解決の力を育成するための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を以下のようにしている。 ・見つけよう ・はてな？問題 ・予想しよう ・計画しよう ・観察・実験 ・結果から考えよう ・結論 ・学びを広げよう | <ul style="list-style-type: none"> ◆単元や資料等の配列 <ul style="list-style-type: none"> ・判 A B ・ページ数、単元数 学年合計 904 ページ 55 単元 ・単元以外の内容 前学年の振り返り 学習の進め方 科学研究の進め方 科学研究の最前線、最先端技術の紹介 器具の使い方、調べ方 1年間の学習の振り返り 研究者の紹介 ミニ図かん ◆社会の変化に伴う課題への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・災害に関係する小単元を設けている。 ・防災・減災に関する内容を扱っている。 ・地震が起きた時の対処についての記述がある。 ・第6学年「電気の利用」で、プログラミングの活動や生活の中でのプログラミングを紹介している。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆巻頭・巻末の資料の扱い <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻頭には、科学の専門家の「メッセージ」の他「学習の進め方」で理科の有用性や学習の仕方を掲載している。 ・巻末では、一年間の学習の振り返りや科学者の紹介の他、生き物、天体、気象、環境のミニ図鑑等を掲載している。 ◆イラスト・写真・図表の示し方の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の冒頭では写真を使用して自然事象を提示している。子供のイラストが、疑問、気づき、願いをもつ様子が掲載されている。人体の実物大のイラストを掲載している。 ・単元の始めに学年間の単元のつながりを提示してある。 ・学習の参考資料をタブレットやスマートフォンで見られるよう QR コードを掲載している。 ◆キャラクターやマーク等の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターが各マークを示し、学習場面を明確にしている。 ・別のキャラクターが、問題解決の過程で必要となる支援を吹き出しで示している。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆考察文の記述例と考察文の要素 例：4年もののあたたまり方と体積 【金属のわかった！結ろん】 ●金ぞくは、空気や水と同じように、あたためたり冷やしたりすると、体積が変化するが、その変化は、空気や水とくらべてひじょうに小さい。 ・関連付けられた結論の記述 ・比較に基づく特徴の記述 ・既習内容との比較を用いた記述 ◆話し合いや説明の活動を促す工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程において、教師の問いかけに答える形で児童の対話を示している箇所がある。 ・巻頭に「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」として、説明する際の留意点を示し国語科と関連させている。 |
| 26 信教 | <ul style="list-style-type: none"> ◆単元の目標とまとめの示し方 <ul style="list-style-type: none"> ・単元末に「まとめよう」を設け、理科用語を使うとともに、図、グラフ、表などを用いて単元で学習した内容がまとめられている。 ・「～を調べてみましょう。」等の呼びかけの形や「～でしょうか。」等の問いかけの形で問題を提示している。また、イラストの会話の中に、「～のかな。」等の問いかけの形で問題を提示している。 ・単元末に「まとめよう」を設け、理科用語を使うとともに、図、グラフ、表などを用いて単元で学習した内容がまとめられている。 ◆知識や概念の定着を図り、理解を | <ul style="list-style-type: none"> ◆興味・関心を高めるための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方を、「理科の学習の進め方」で示している。 ・「身近なしぜんのかんさつ」では、学校周辺の春の自然の様子と児童が動植物を観察している見開き写真及びイラストを載せている。 ・多様な植物や動物のイラストや人物イラストを載せている。 ◆問題解決の力を育成するための工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ◆単元や資料等の配列 <ul style="list-style-type: none"> ・判 A B ・ページ数、単元数 学年合計 680 ページ 51 単元 ・単元以外の内容 理科の学習の進め方 科学研究の進め方 ◆社会の変化に伴う課題への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災に関する内容を扱っている。 ・「調査」として、調べ学習を設けている。 ・第6学年「電気の利用」で、プログラミングの活 | <ul style="list-style-type: none"> ◆巻頭・巻末の資料の扱い <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻頭には、「理科の学習の進め方」で学習の進め方の資料を掲載している。 ・第3学年の巻頭では観察の仕方、第4学年の巻頭では記録の書き方、第5学年の巻頭では生命の誕生や花のつくりと実の学習の準備についての資料を掲載している。 ◆イラスト・写真・図表の示し方の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の冒頭では写真を使用して自然事象を提示している。子供の | <ul style="list-style-type: none"> ◆考察文の記述例と考察文の要素 例：4年もののあたたまり方と体積 【金属のわかったこと】 ●金ぞくをあたためたり、冷やしたりすると、空気や水と同じように体積が変わる。 金ぞくの体積の変わり方は、空気や水とくらべてわずかである。 ・関連付けられた結論の記述 ・比較に基づく特徴の記述 ・既習内容との比較を用いた記 |

| | | | | | |
|-------------------|---|---|--|---|--|
| | <p>深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しりょう」において、科学者の発明や学習内容が実生活・実社会に関連付けられていることを意識させる資料を掲載している。 ◆観察・実験の技能を習得させるための工夫 ・番号をつけて手順を示し、写真や図を用いて説明している。 ・手順と合わせて、初めて使う器具について同ページに掲載している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を以下のようにしている。 ①自然とふれ合おう ②問題を見つけよう ③予想をもとう ④予想の確かめ方を考えよう ⑤確かめよう ⑥結果を記録しよう ⑦いえること・いえないことを考えよう ⑧まとめよう | <p>動や生活の中でのプログラミングを紹介している。</p> | <p>イラストが吹き出しで、自分の考えを持ちたり、疑問を抱いたり、対話したりしながら学習する様子を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆キャラクターやマーク等の活用 ・「?」、「問題」、「考えてみよう」、「実験」、「まとめよう」等の各マークを示し、問題を見つける場面や自分の考えをもつ場面、学習内容をまとめる場面等、学習の過程を明確にしている。 | <p>述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を解釈した記述 ◆話し合いや説明の活動を促す工夫 ・気持ちを交流したり、意見を交換したりする場面において、机をはさんで話し合う形で児童の対話を示している箇所がある。 |
| <p>61 啓林館</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◆単元の目標とまとめの示し方 ・「学習のめあて」という項目を設定し、「～を調べよう。」「～を考えよう。」等の呼びかけの形で学習のめあてを提示している。また、生活の中での事象を想起させ、単元のねらいにつなげている。 ○単元末の「ふり返ろうまとめノート」では、まとめの例が示され、「新しく学習した言葉」では、理科用語が示され、自己チェックができるマークを設けている。また、「たしかめよう」、「活用しよう」では、基本・活用・応用の問題が示されている。 ◆知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫 ・「理科の広場」や「つなげよう」において、学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。また、「活用しよう」で、日常生活での現象を取り上げ、説明させている。 ◆観察・実験の技能を習得させるための工夫 ・番号をつけて手順を示し、写真や図を用いて説明している。 ・手順と合わせて、使う器具について同ページや巻末に掲載している。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆興味・関心を高めるための工夫 ・単元の導入では、単元名を大きく示している。 ・導入で、生活科とのつながりを示している。 ・「生き物をさがそう」の単元では、児童が植物を観察している見開き写真や動物・植物に分けたイラストを載せている。 ・多様な植物や動物を児童が観察しているイラスト、児童が話し合っている写真等を載せている。 ◆問題解決の力を育成するための工夫 ・問題解決の過程を以下のようにしている。 ①見つける ②調べる <ul style="list-style-type: none"> ・問題をつかもう ・問題 ・予想と計画 ・観察・実験 ・結果 ・結果から考えよう ・まとめ ・もっと知りたい ③ふり返る | <ul style="list-style-type: none"> ◆単元や資料等の配列 ・判 A B ・ページ数、単元数 学年合計 796 ページ 53 単元 ・単元以外の内容 問題解決の流れと学習のポイント 他単元の学習内容の整理 科学研究の進め方 薬品や器具の使い方 1年間の学習のまとめ 資料（調べ方、算数との関連など） ◆社会の変化に伴う課題への対応 ・災害に関係する小単元を設けている。 ・防災・減災に関する内容を扱っている。 ・地震が起きた時の対処についての記述がある。 ・第6学年「発電と電気の利用」で、プログラミングの活動や生活の中でのプログラミングを紹介している。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆巻頭・巻末の資料の扱い ・各学年の巻頭には、「自然の不思議をとき明かそう！」で学習の進め方の資料を掲載している。 ・巻末では、「調べる」「算数のまど」「器具の使い方」や「理科の考え方をはたらかせよう」「植物たんけんカード（第3学年）」等の資料を掲載している。 ◆イラスト・写真・図表の示し方の工夫 ・各単元の冒頭では写真を使用して自然事象を提示している。自分の考えや対話的な活動を表す子供のイラストを掲載している。単元末の「つなげよう」では、大きな写真を掲載している。 ・学習の参考資料をタブレットやスマートフォンで見られるようQRコードを掲載している。 ◆キャラクターやマーク等の活用 ・各マークを示し、学習過程を明確にしている。 ・キャラクターが、学習の進め方や活動のヒント、理科の見方を示している。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆考察文の記述例と考察文の要素 例：4年もののあたたまり方と体積 【金属のまとめ】 ●金ぞくも空気や水と同じように、あたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。 金ぞくの体積の変化は、空気や水の体積の変改にくらべると、とても小さい。 ・関連付けられた結論の記述 ・比較に基づく特徴の記述 ・既習内容との比較を用いた記述 ◆話し合いや説明の活動を促す工夫 ・学習過程において、机をはさんで話し合う形で児童の対話を示している箇所がある。 ・巻末に「話し合いのしかた」として、話すときと聞くときの留意点を文型やイラストの向きを利用して示している。 |

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

| 校種 | 教科 | 教科用図書目録に搭載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
|-----|----|--------------------|------------|
| 小学校 | 生活 | 8 | 22 |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 観点 発行者 | 基礎・基本の定着 | 主体的に学習に取り組む工夫 | 内容の構成・配列・分量 | 内容の表現・表記 | 言語活動の充実 |
|-----------|--|--|--|--|--|
| 2 東書 | <p>○飼育単元の学習活動の流れ</p> <p>■〈上〉「いきものとなかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むしをさがそう ・むしとなかよくなるろう ・[いきものずかん] ・[やってみよう]みんなでどうぶつをかおう <p>■〈下〉「生きものなかよし大作せん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きもののお話を話そう ・生きものをさがそう ・生きものをそだてよう・[生きもの図かん] ・生きもののお話を話そう ・[アメリカザリガニをかうときのやくそく] <p>○住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物</p> <p>(上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショウリョウバッタ ・オンブバッタ ・コオロギ <p>(下)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンゴムシ | <p>○単元の導入ページの内容</p> <p>■「うごくうごくわたしのおもちや」</p> <p>1ページの写真とイラスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童3名がはねるおもちゃで遊んでいる写真 ・児童3名と教師が動くおもちゃで遊んでいるイラスト ・イラストの児童2名の吹き出し「うごいたよ。おもしろいね。」「つくってみたいな。」を記載している。 | <p>○単元名及び総ページ数</p> <p>〈上〉114ページ(9単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どきどきわくわく1ねんせい ・がっこうだいすき ・きれいにさいてね ・なつがやってきた ・いきものとなかよし ・たのしいあきいっぱい ・じぶんでできるよ ・ふゆをたのしもう ・もうすぐ2ねんせい <p>〈下〉106ページ(9単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春だ今日から2年生 ・ぐんぐんそだてわたしの野さい ・どきどきわくわくまちたんけん | <p>○キャラクター・マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元名の前に、単元の内容に関連するマークを掲載している。 ・6名の児童(挿絵)が繰り返し登場し、活動を展開している。 ・キャラクター「まなびい」「ずかんちゃん」が、児童の思考や活動、安全・衛生上で留意することを促している。 ・「てをあらおう・うがいしよう」マークで、安全・衛生上の注意を促している。 | <p>○多様な表現方法(ICTの活用等)で伝え合う活動の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どきどきわくわくまちたんけん」「もっとなかよじまちたんけん」「つながる広がるわたしたちの生活」 ・友達と探検の計画を立てている。 ・不思議に思った事や聞いてみたいことなどを地域の人(和菓子屋、農家などで働く人)にインタビューしたり教えてもらったりして調べている。 ・見つけたことや活動し |

| | | | | |
|---|--|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・カエル ・トンボ ・アゲハ <p>○地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家の人, 消防署で働く人, 和菓子屋で働く人, 図書館で働く人, グラウンドゴルフの活動をしている人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。 <p>○四季の変化を対比させたページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭 〈上〉42 - 43 夏, 68 - 69 秋, 94 - 95 冬 〈下〉2 - 3 春 ・公園 〈上〉44 - 45 夏, 70 - 71 秋, 96 - 97 冬 〈下〉6 - 7 春, 44 - 45 夏, 66 - 67 秋, 90 - 91 冬 ・「ほんとうのおおきさポケットずかん」 〈上〉2 - 3 春, 4 - 5 夏, 6 - 7 秋, 8 冬 <p>○学習活動の例</p> <p>■ 〈上〉「もうすぐ2ねんせい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あたらしい1ねんせいをしようたいしよう ・しようたいしたいことをはなしあおう ・いちねんかんをふりかえろう ・ありがとうわたしたちのきょうしつ ・2ねんせいもたのしみだね | <p>○栽培単元におけるワークシートのお例</p> <p>〈上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と文で記述 ・罫線なし ・題 あさがお ・あさがおの種の絵 ・「はやくめがでてほしいな。」 <p>〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と文で記述 ・横書き罫線5行 ・題 わきめつみをしました。 ・キュウリの苗と農家の人の絵 ・「さいしょはどれがわきめか分からなかったけど, 下田さんが教えてくれたので, 分かるようになりました。これで大きなみができるよと言ってくれました。」 | <ul style="list-style-type: none"> ・生きものなかよし大作せん ・うごくうごくわたしのおもち ・みんなでつかうまちのしせつ ・もつとなかよしまちたんけん ・つながる広がるわたしの生活 ・あしたへジャンプ <p>○スタートカリキュラムに関する内容</p> <p>「どきどきわくわく1ねんせい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13ページ ・「つながるひろがる」のページで合科的・関連的な学習活動を示している。 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の主な例をページ下段に示している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ちゅうい」「とげにちゅうい」マークで, 安全上の配慮が必要な対象を示している。 ・「ずかんちゃん」マークで, ポケットずかんの活用を促している。 ・「かつどうべんりてちよう」マークで, 巻末資料を参照するよう促している。 ・他教科と関連の深いところを, 関連が分かるマークで示している。 ・「Dマーク」で, 教科書と関連する情報がWebページにあることを示している。 | <p>たことについて電子黒板を使って友達に説明したり, 探検マップに示したりして説明している。また, 家に帰って家族に話している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー, 電話, ファックス, 手紙, メールで知りたくなったことをさらに調べている。 ・調べたことをポスターやパンフレット, 新聞にまとめ, 町に出かけて伝える活動をしている。 ・まちの人を招待して発表会を開き, 電子黒板を使って説明している。 |
|---|--|---|---|---|

| | | | | | |
|--|---|--|--|--|--|
| | <p>■ 〈下〉「あしたへジャンプ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きくなった自分のことをふりかえろう ・大きくなった自分のことをしらべよう ・自分のことをまとめよう ・ありがたいの気持ちをつたえよう ・3年生も楽しみだな <p>○相互評価・他者評価</p> <p>■ 「じぶんでできるよ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これからもつづけよう」で、家の仕事をしたことに対する家族からの評価を、吹き出しで掲載している。 <p>■ 「もうすぐ2ねんせい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しょうたいしたことをはなしあおう」で、園児からのお礼のカードを掲載している。 ・お互いの活動の評価を吹き出しで掲載している。 <p>■ 「どきどきわくわくまちたんけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まちたんけんしよう」で活動の様子について見守りの方からの評価を吹き出しで掲載している。 <p>■ 「あしたへジャンプ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大きくなった自分のことをしらべよう」で、友達からの「ありがとうカード」や「すごいねカード」を掲載している。 <p>○生活のきまりや安全</p> <p>■ 「やくそく」コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動場面で必要なきまりや安全面に関する情報を掲載 <p>小单元「みんなでつうがくろをあるこう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校の安全に関する人やものや | | | | |
|--|---|--|--|--|--|

| | | | | | |
|------------------|--|--|--|--|--|
| | <p>留意点, 災害発生時の行動に関する留意点や情報, 学校内の安全設備について掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「!ちゅうい」マーク <ul style="list-style-type: none"> 「とげにちゅうい」マーク ・安全面での配慮が必要な対象を提示 ■「どうぐをただしくあんぜんにつかおう」マーク <ul style="list-style-type: none"> ・安全面での配慮の必要性を提示 ■「てをあらおう うがいをしよう」マーク <ul style="list-style-type: none"> ・衛生面での配慮の必要性を提示 ■キャラクターによる吹き出し <ul style="list-style-type: none"> ・安全面・衛生面での配慮の必要性を提示 ■「のりものによって行ってみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・乗り物の乗り方について掲載 ■「かつどうべんりちょう」(上巻末及び下巻末) <ul style="list-style-type: none"> ・防犯・防災・健康・衛生・道具の安全な使い方, 後片付け, 交通安全, 乗り物の乗り方について掲載 | | | | |
| <p>4 大日本</p> | <p>○飼育単元の学習活動の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■〈上〉「あきとなかよし」「いきものとなかよし」 <ul style="list-style-type: none"> ・どんなむしがみつかうかな ・むしのおうちをつくったよ ・むしのふしぎをみつけたよ ・おしえてあげるね ■〈下〉「生きものはっけん」「生きてるってすごい!」 <ul style="list-style-type: none"> ・どんな生きものがいるかな ・見つけたよ!かってみたいな ・大切にしよう ・生きもののひみつはっけん | <p>○単元の導入ページの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「つくる楽しさ はっけん」 <p>見開き2ページの写真とイラスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童6名が飛ぶおもちゃで遊んでいる写真 ・イラストの児童1名 | <p>○単元名及び総ページ数</p> <p>〈上〉103ページ(5単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しょうがこうせいかつはじまるよ ・みんななかよし ・なつとなかよし ・あきとなかよし ・ふゆとなかよし <p>〈下〉105ページ(5単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春はっけん | <p>○キャラクター・マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターが, 児童に思考や活動を促したり, 安全上の注意を促したりしている。 ・各見開き内の風船マークで, 課題を示している。 ・「!」マークで, 安全 | <p>○多様な表現方法(ICTの活用等)で伝え合う活動の例</p> <p>「わたしの町はっけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の大好きな場所や人を書いた紹介カードを基に, 先生や友達と調べる計画を立てている。 ・地域の人(花屋, 写真 |

| | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| | <p>○住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物 (上) ・コオロギ ・テントウムシ ・カマキリ (下) ・ダンゴムシ ・カタツムリ ・やご ・ザリガニ</p> <p>○地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真 交番で働く人、妊婦とその家族、福祉施設を利用する人、農家の人、果物屋で働く人、駄菓子屋で働く人、花屋で働く人、食品工場で働く人、図書館で働く人、和菓子屋で働く人、消防署で働く人、美容院で働く人、公園を利用してる人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p> <p>○四季の変化を対比させたページ 校庭 〈上〉 30 - 31 夏, 44 - 45 秋, 74 - 77 冬 〈下〉 8 - 9 春</p> <p>○学習活動の例 ■ 〈上〉「ふゆとなかよし」 ・ふゆとあそぼう ・かぞくはなかよし ・もうすぐ2年生 ・はるをさがそう</p> <p>○ 〈下〉「自分ほっけん」 ・ほっけん自分のよいところ ・自分のことをもっと知りたいな ・おいでよ、自分ほっけんほっぴよ</p> | <p>が飛ぶおもちゃの写真を見ている。</p> <p>○栽培単位におけるワークシート の例 〈上〉 ・絵と文で記述 ・横書き罫線 2 行 ・題 あさがお(につき) ・あさがおの苗の絵 ・「はっぱがでたよ。うれしいな。」 〈下〉 ・絵と文で記述 ・横書き罫線 4 行 ・題 まっ赤なイチゴができたよ ・イチゴの実と花、葉の絵 ・「3月ごろ花がさいて、やっと4月になってまっ赤なイチゴになりました。わたしが大せつにそだてたイチゴなのでたべるのがたのしみです。」</p> | <p>・生きものはっけん ・わたしの町ほっけん ・つくる楽しさはっけん ・自分ほっけん</p> <p>○スタートカリキュラムに関する内容 「しょうがっこうせいこつはじまるよ」 ・6 ページ ・「わくわくすることいっばいだよ」のページで科的・関連的な学習活動を示している。 ・活動時間のめやすを示している。</p> | <p>上の注意を促している。</p> <p>・見開きページ右端に「せいかつことば」や「きらきらことば」のマークをつけ、語彙力の向上や言語能力の育成を図ったり、仲間づくりを深めたりするための言葉を示している。</p> <p>・リンクマークに資料ページ「がくしゅうどうぐばこ」のページを示している。</p> <p>・他教科と関連の深いところを、関連が分かるマークで示している。</p> <p>・「パソコン」のマークで、活動に際して参考となる情報が Web ページにあることを示している。</p> | <p>館、みそ工場、図書館で働く人) に取材して調べている。</p> <p>・見つけたことや出会った人などをタブレットや電子黒板で報告したり、カードにまとめて紹介コーナーに掲示したりしている。</p> <p>・グループごとに、電子黒板、クイズ、紙芝居、地図、ポスターを用いて発表している。</p> <p>・地域の人を招いて、地図や電子黒板を使って発表している。</p> <p>・ポスターや町内掲示板、ホームページなどで、調べたことを多くの人に伝えようとしている。</p> |
|--|---|---|---|---|---|

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | <p>う会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうをとどけよう ・みらいにむかってはばたこう！ <p>○相互評価・他者評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「ふゆとなかよし」 <ul style="list-style-type: none"> ・「かぞくはななかよし」で、家族の評価を吹き出しで掲載している。 ■「わたしの町はっけん」 <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなのはっけんをあつめよう」で、絵と吹き出しにより、相互に評価し合う場面を掲載している。 ■「自分のはっけん」 <ul style="list-style-type: none"> ・「はっけん自分のよいところ」で、友達の良いところやがんばったことを書いたカードを掲載している。 <p>○生活のきまりや安全についての記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小单元「がっこうにくるみちかえるみち」 <ul style="list-style-type: none"> ・登下校の安全に関わる人やもの、こども 110 番の家や表示、あそびのきまりを掲載 ■「あるくとき」コーナー 「やくそくをたしかめよう」コーナー <ul style="list-style-type: none"> ・安全な歩行について掲載 ■「やくそく」カード <ul style="list-style-type: none"> ・衛生面での配慮の必要性や安全に活動するための留意点について提示 ■「！」マーク <ul style="list-style-type: none"> ・安全面での配慮が必要な対象や活動を提示 ■キャラクターによる吹き出し <ul style="list-style-type: none"> ・安全面、衛生面での配慮の必要性を提示 | | | | |
|--|--|--|--|--|--|

| | | | | | |
|------------------|---|---|---|---|--|
| | <p>■「がくしゅうどうぐばこ」（上巻末及び下巻末）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身を守るために気を付けること，防犯，交通安全，防災，道具の安全な使い方，後片付け，乗り物の乗り方について掲載 | | | | |
| <p>11 学図</p> | <p>○飼育単元の学習活動の流れ</p> <p>■〈上〉「いきものだいすき」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかよくなるろう ・もっとなかよくなるろう ・[ちゃれんじずかん] ・もるもっとだいすき <p>■〈下〉「生きものと友だち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きものをさがそう ・生きものをかおう ・[ものしりノート] ・生きもののふしぎを見つけよう ・ふりかえろう <p>○住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物</p> <p>(上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もるもっと <p>(下)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンゴムシ ・おたまじゃくし ・やご ・アゲハ ・キリギリス ・アリ <p>○地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真</p> <p>和菓子屋で働く人，パン屋で働く人，消防署で働く人，花屋で働く人，図書館で働く人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p> <p>○四季の変化を対比させたページ</p> | <p>○単元の導入ページの内容</p> <p>■「作ってあそぼう うごくおもちゃ」</p> <p>見開き2ページの写真とイラスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童2名が動くおもちゃで競争している写真(大)(小) ・児童1名が飛ばすおもちゃで遊んでいる写真(小) ・児童4名がダンボールに入った材料を見ているイラスト ・女の子がまわるおもちゃを想像している吹き出しのイラスト <p>・「自分のおもちゃを作って，みんなであそぼう。どんなあそびができるかな。」を記載している。</p> | <p>○単元名及び総ページ数</p> <p>〈上〉113 ページ(11 単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がっこうだいすき ・がっこうたんけん ・わたしのあさがお ・あそびにいこうよ ・あつくなつたよ ・あきをたのしもう ・ふゆをたのしもう ・いきものだいすき ・むしだいすき ・ありがとうがいっぱい ・もうすぐ2年生 <p>〈下〉103 ページ(6 単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちたんけん ・あの人に会いたいな ・わたしたちの野さいばたけ ・生きものと友だち ・作ってあそぼううごくおもちゃ ・わたしたんけん <p>○スタートカリキュラムに関する内容</p> | <p>○キャラクター・マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元名の前に，単元の内容に関連するマークを掲載している。 ・4人の児童(挿絵)が繰り返し登場し，活動を展開している。 ・「どきどき」「いきいき」「ふむふむ」「にこにこ」を頁の左上に示し，学習の家庭のどの場面かを示している。 ・「学び方ずかん」マークで，生活科の学習に役立つ基本的な学習方法が分かる資料ページを見るように促している。 ・「手洗い・うがいマーク」で安全・衛生上の注意を促している。 ・「注意マーク」で，安 | <p>○多様な表現方法(ICTの活用等)で伝え合う活動の例</p> <p>「まちたんけん」「あの人に会いたいな」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町について知っていることを紹介し合い，友達や先生と町探検の計画を立てている。 ・見つけたことや出会った人などについてカードにまとめたり，電子黒板を使って説明したり，クイズ形式で発表したりしている。 ・地域の人(パン屋で働く人，田で働く人，消防士など)に教えてもらったりインタビューをしたりしながら調べている，質問したりしたことについて，発表会で地域の人に，電子 |

| | | | | | |
|--|---|--|---|---|--|
| | <p>生物 〈上〉40-41 春の草花→56-57 夏の虫→62-63 秋の木の葉→72-73 冬の鳥町の季節 〈下〉28-29 春→30-31 夏→32-33 秋→34-35 冬</p> <p>○学習活動の例 ■ 〈上〉「もうすぐ2年生」 ・1年かんをおもい出そう ・あたらしい1年生をむかえよう ・なにをかんじたかな ■ 〈下〉「あしたへつなぐ自分たんけん」 ・自分について考えよう ・まわりの人に聞いてみよう ・何をかんじたかな</p> <p>○相互評価・他者評価 ■ 「ありがとうがいっぱい」 ・「どんなことができたかな」で、家の仕事に対する母親の評価を手紙で掲載している。 ■ 「わたしたんけん」 ・「いまのわたしについて聞いてみよう」で友達への「すてきカード」を掲載している。 ・「これからのわたしについて考えよう」で、先生からの手紙を掲載している。</p> <p>○生活のきまりや安全についての記述 ■ 「やくそく」コーナー ・活動場面で必要なきまりや安全面や健康面に関する情報を掲載 ■ 「ちゅうい」マーク ・安全面での配慮が必要な対象や活動を提示</p> | <p>○栽培單元におけるワークシート の例 〈上〉 ・絵と文で記述 ・罫線なし ・あさがおの種の絵（実際の大きさの絵と拡大した絵） ・「めをだしてね。」「くろくてちいさいよ。」 ・教師コメントが「たねをよくみているね。」 〈下〉 ・絵と文で記述 ・横書き罫線7行 ・題 そだてるなえをきめたよ ・児童2人とミニトマトの苗 ・「あさがおは、たねからそだてたからはじめ、ミニトマトもたねからそだてるのかなと思いました。でも、なえやおじさんが「なえの方がそだてやすいよ。」とおしえてくれました。だから</p> | <p>「がっこうだいすき」 ・9ページ ・「やってみたいな。」のページで合科的・関連的な学習活動を示している。</p> | <p>全上の配慮が必要な対象や安全・衛生上の注意を促している。 ・二次元コードで、活動に際して参考となる情報がWebページ上にあることを示している。</p> | <p>黒板や新聞、地図にまとめて伝えている。 ・発表会の招待状やお礼の手紙を書くように促している。</p> |
|--|---|--|---|---|--|

| | | | | | |
|----------|--|---|---|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ■ てあらいのマーク ・ 衛生面での配慮の必要性を提示 ■ 小单元「まちのすてきをまとめよう」 「ものしりノート」 ・ 乗り物の乗り方について掲載 ■ 「あんぜんのぺえじ」 (上巻末及び下巻末) ・ 交通安全, 防犯, 防災, 避難の仕方, 道具の安全な使い方, 後片付けについて掲載 | <p>ら, なえからそだてることにしました。じょうずにできたら, たねからそだててみたいな。」</p> | | | |
| 17 教出 | <p>○飼育単元の学習活動の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 〈上〉「なかよくなるうね 小さなともだち」 ・ 生きものをさがそう ・ じぶんたちでそだてよう ・ なにかんじたかな ■ [生きものそだてかたずかん] ■ 〈下〉「めざせ生きものはかせ」 ・ 生きものをつかまえよう ・ 生きものをかってみよう ・ 生きものをつたえ合おう ・ 何をかんだかな ・ [生きものそだて方図かん] <p>○住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物</p> <p>〈上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ダンゴムシ ・ コオロギ ・ モルモット ・ チャボ <p>〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シオカラトンボ ・ クロオオアリ ・ ショウリョウバッタ ・ アゲハ | <p>○単元の導入ページの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「作ってためして」 <p>見開き 2 ページの写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童 6 名がそれぞれ異なったおもちゃを持っている。 ・ 写真の児童 2 名の「ほいく園の時空きばこで車を作ったことがあるよ。」「うごいたらおもしろいね。」と写真の教師 1 名の「うごくおもちゃなんて作ることができるのかな。」の吹き出しを記載している。 ・ 「学びのポケット」の | <p>○単元名及び総ページ数</p> <p>〈上〉 126 ページ (9 単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ きょうから 1 ねんせい ・ わくわくどきどきしょうがっこう ・ きれいにさいてねわたしのはな ・ きせつとなかよしはる・なつ ・ なかよくなるうね小さなともだち ・ きせつとなかよしあき ・ かぞくにこにこ大きくせん ・ きせつとなかよしふゆ ・ もうすぐ 2 年生 <p>〈下〉 116 ページ (7 単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わくわく 2 年生 ・ めざせ野さい作り名人 ・ まちが大すきたんけんたい | <p>○キャラクター・マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ児童 (写真) 2 名と先生 (写真) 2 名 (第 1 学年・第 2 学年) が繰り返し登場し, 活動を展開している。 ・ 「サイコロ」のマークで, 生活科で育成する 6 つの力 (気づく・自分でできる・考える・伝える・挑戦する・自信をもつ) を抽出して示している。 ・ 「はてな」のキャラクターが問いを示している。 ・ 「手あらい・うがい」マークで安全・衛生上 | <p>○多様な表現方法 (ICT の活用等) で伝え合う活動の例</p> <p>「まちが大すきたんけんたい」「えがおのひみつたんけんたい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お気に入りの場所や, 知っている人を友達と交流し, 地図を見ながら探検の計画を立てている。 ・ 綿菓子屋や靴屋, パン屋やおもちゃ屋に行ってみたり, 地域の人にインタビューをしたりして町のことを調べている。 ・ 1 回目の町探検で見つけたことをカードにま |

| | | | | | |
|--|---|---|--|--|--|
| | <p>○地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真 和菓子屋で働く人、靴屋で働く人、パン屋で働く人、消防署で働く人、図書館で働く人、消防団の活動をしている人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p> <p>○四季の変化を対比させたページ 校庭 〈上〉16-17 春→64-65 夏 野原 〈上〉48-49 春→P4-75 秋→106-107 冬 「のはらのカレンダー」 〈上〉P16-117 春～冬 町 〈下〉4-5 春→58-59 夏→82-83 秋→102-103 冬</p> <p>○学習活動の例 ■ 〈上〉「もうすぐ2ねんせい」 ・1年生をふりかえろう ・ようこそ小学校へ ■ 〈上〉「2年生にむかって」 ■ 〈下〉「わたしたんけん」 ・2年生でがんばったことをふりかえろう ・いまのわたしについて聞いてみよう ・いままでのわたしについてしらべよう ・わかったことをまとめよう ・はっぴょうしよう ・これからのわたしについて考えよう</p> <p>○相互評価・他者評価 ■各単元末「なにをかんだかな」</p> | <p>ページを記載している。</p> <p>○栽培単位におけるワークシート の例 〈上〉 ・絵と文で記述 ・罫線なし ・題 たねをまいたよ ・あさがおの種の絵 ・「たねはくろくてちいさくてかわいいな。」 〈下〉 ・絵と文で記述 ・横書き罫線5行 ・題 ミニトマトのなえをうえたよ ・ミニトマトの苗の絵 ・「はっばもくきもみどり色でさわるとざらざらしていました。はっばのはじっこはぎざぎざしていました。元気にそだってほしいです。」</p> | <p>・めぎせ生きものはかせ ・えがおのひみつたんけんたい ・作ってためして ・あしたへつなぐ自分たんけん</p> <p>○スタートカリキュラムに関する内容 「きょうから1ねんせい」 ・6ページ ・「わくわくするね。」のページで合科的・関連的な学習活動を示している。 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の主な例をページ下段に示している。</p> | <p>の注意を促している。</p> <p>・単元の導入ページに「学びのポケット」マークをつけ、巻末資料を参照するように促している。 ・見開きページ右端に「ヒント」や「やくそく」のマークをつけ、学習のヒントや約束事項を示している。 ・キャラクター「いぐら」が振り返りの場面で「まんぞくハシゴ」を使って学習活動の自己評価を促している。 ・「はってん」マークで、第3学年の学習へのつながりを示している。 ・「まなびリンク」のマークで、学習に役立つ情報がWebページ上にあることを示している。</p> | <p>とめた物を基に、活動の見通しを立てている。</p> <p>・もっと知りたいことについて友達と付箋紙を使って整理している。 ・友達に体験したことや調べたことを、電子黒板で示している。 ・発表会に地域の人を招き、紙芝居、新聞、クイズ、実演などで発表している。 ・作成したポスターや感謝状を持って町に出かけ、伝え合う活動をしている。</p> |
|--|---|---|--|--|--|

| | | | | | |
|----------|--|---|--|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの活動を評価したコメントを掲載している。 ■「かぞくにこにこ大きくせん」 ・「大きくせんをつたえよう」で、活動に対する家族からの評価を吹き出しで掲載している。 ■「あしたへつなぐ自分たんけん」 ・「まわりの人に聞いてみよう」で、自分の成長について、周りの人からの手紙や友達からのカードを掲載している。 <p>○生活のきまりや安全についての記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「やくそく」コーナー ・安全面での配慮が必要な対象や道具の安全な使い方や活動のときの留意点を掲載 ■「あんぜんなせいかつ」 ・登下校の安全にかかわる人やもの、学校での避難の仕方、学校内の安全設備について掲載 ■「てあらいうがい」マーク ・衛生面での配慮の必要性を提示 ■小单元「たんけんの計画を立てよう」 ・道路歩行時の留意点を提示 ■「学びのポケット」 (上巻末及び下巻末) ・道具の安全な使い方、後片付け、防犯、防災、天気の変化の留意点、乗り物の乗り方について掲載 | | | | |
| 26 信教 | <p>○飼育単元の学習活動の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■〈上〉「いきものといっしょ①」 ・かってみたいな ・きょうからいっしょ ・よろこんでくれるかな ■〈上〉「いきものといっしょ②」 | <p>○単元の導入ページの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「すすめすいすい号」見開き2ページのイラ | <p>○単元名及び総ページ数</p> <p>〈上〉128ページ(12単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしいないちねんせい ・はるとなかよし | <p>○キャラクター・マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の前に、単元の内容に関連するマーク | <p>○多様な表現方法(ICTの活用等)で伝え合う活動の例</p> <p>「わたしのすむ町」</p> |

| | | | | | |
|--|---|---|---|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・きょうもげんきかな ・やりたいこといっぱい ・さあおはいり ・さむくなってきたね <p>■ 〈下〉「いきものといっしょ③」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おかあさんになったんだね ・きょうもあいたいよ <p>■ 〈下〉「いきものといっしょ④」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもいっしょだね <p>○住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物</p> <p>〈上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やぎ ・うさぎ ・カナヘビ <p>〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やぎ <p>○地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真</p> <p>製菓店で働く人, 公民館で獅子舞の活動をしている人, 図書館で働く人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p> <p>○四季の変化を対比させたページ</p> <p>「いつものばしょ」</p> <p>〈上〉 26 31 (春) →58 63 (夏) →86 91 (秋) →102 107 (冬)</p> <p>「さんぼみち」</p> <p>〈上〉 27 30 (春) →59 62 (夏) →87 90 (秋) →103 106 (冬)</p> <p>○学習活動の例</p> <p>■ 〈上〉「もうすぐ二ねんせい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だいじなおもいで ・こんなことがあったよ | <p>スト(6種類のイラストが記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童2名がおもちの船で遊んでいる。 ・児童6名と教師1名がプールで水に浮く道具を使って遊んでいる。 ・話し合いをしているイラストの児童6名の内, 1名の吹き出し「みんなでのれるふねをつくりたいね。」を記載している。 <p>○栽培単位におけるワークシートの例</p> <p>〈上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と文で記述 ・縦書き罫線7行 ・題 あさがおにつき ・あさがおの種の絵 ・「たねをもらったよ。こんなにちいさくてくろいたねからどんなはながさくのかな。たねさんがだいじにしてねっていつている。」 <p>〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と文で記述 | <ul style="list-style-type: none"> ・わたしのあさがお ・いきものといっしょ① ・まぶしいなつ ・ひとつぶのたねから ・いきものといっしょ② ・あさがいっぱい ・わたしとかぞく ・ふゆもきらきら ・てづくりおもちや ・もうすぐ二ねんせい <p>〈下〉 104 ページ (13 単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二年目の春 ・わたしがすむ町 ・いきものといっしょ③ ・いっばいみのって ・かがやく夏 ・すすめすいすい号 ・いっばいみのったね ・みんなで行こう ・冬とお正月 ・はしれはしれ ・いきものといっしょ④ ・大きくなったねぼくわたし ・すごいねぼくわたし <p>○スタートカリキュラムに関する内容</p> <p>「うれしいないちねんせい」のうち, 7から10</p> | <p>を掲載し, 単元観のつながりを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2名の児童(挿絵)と2名の先生(挿絵)が, 繰り返し登場し活動を展開している。 ・2名の児童が活動の中で, 児童に思考や活動を促している。 ・「!」マークで, 衛生上の注意を促している。 ・「たんごの節句」「七夕」「お月見」「節分」「ひな祭り」等の節句や伝統行事にかかわる単元では, 地域の特色を盛り込んだ「切り絵」で行事や遊びを表している。 ・二次元コードで, 活動に際して参考となる情報が Web ページにあることを示している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・おみせやさんに行ってみてわかったことや疑問に思うことについて資料を基に交流している。 ・知りたいことについて, 電話で問い合わせている。 ・製菓店で取材したことについて電子黒板を使って説明している。 ・獅子舞を公民館で教えてもらったり, 地域に伝わる民話について聞いたり調べたりしている。 ・教えてもらった獅子舞を披露したり, 地域に伝わる民話を紙芝居にして友達に読み聞かせたりしている。 ・公民館の掲示板に招待状を掲示し, 地域の人を招いて発表会を実施し, 紙芝居や太鼓を披露している。 |
|--|---|---|---|--|--|

| | | | | | |
|--|---|---|---|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうーねんかん ■ 〈下〉「大きくなったぼくわたし」 ・わたしのたんじょう ・小さいころのわたし ・大きくなってきたわたし ・ありがとう ■ 〈下〉「すごいねぼくわたし」 ・楽しみだね三年生 <p>○相互評価・他者評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「わたしとかぞく」 ・「できるようになったよ」で母親からの評価を吹き出しで掲載している。 ■ 「わたしたちがすむ町」 ・「つたえあおう」で招待者からの評価を手紙で掲載している。 ■ 「いっぱいみのったね」 ・「しゅうかくいわい」で活動に対する評価を農家の方からの手紙で掲載している。 <p>○生活のきまりや安全についての記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 小单元「きをつけてかえるよ」 ・登下校の安全に関わる人やもの安全な歩行について掲載 ■ 小单元「あめふり」 (「なつのおんぜん」コーナー) ・登下校の留意点について提示 ■ 小单元「おおゆきのひに」 (「ふゆのおんぜん」コーナー) ■ 「！」マーク ・衛生面での配慮の必要性を提示 ■ 小单元「どうやったらいけるかな」 「しゅっぱつだ」 ・道路の歩き方や乗り物の乗り方を掲載 | <ul style="list-style-type: none"> ・縦書き罫線 11 行 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆の種を畑に植えている児童の絵 ・「おじさんにおしえてもらったようにだいたいのたねをまきました。 『元気に育ってね。』と、だいたいに声をかけながら、まきました。まい日、水やりをちゃんとやろうと思います。」 ・「たねをもらったよ。こんなにちいさくてくろいたねからどんなはながさくのかな。たねさんがだいじにしてねっていつている。」 <p>〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と文で記述 ・縦書き罫線 11 行 ・大豆の種を畑に植えている児童の絵 ・「おじさんにおしえてもらったようにだいたいのたねをまきました。 『元気にそだってね。』と、だいたいに声をかけな | <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 ページ ・「あそぼうよ」のページで合科的・関連的な学習活動を示している。 | | |
|--|---|---|---|--|--|

| | | | | | |
|----------|--|--|--|--|--|
| | | がら、まきました。まい日、水やりをちゃんとやろうと思います。」 | | | |
| 38 光村 | <p>○飼育単元の学習活動の流れ</p> <p>■〈上〉「いきものとなかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんないきものとなかよくなりたかな ・はじめまして、こんにちは ・もっとなかよしになりたいな ・いっぱいわかったよ ・ずっと大すき ・[めぎせ、いきものはかせ] <p>■〈下〉「小さな友だち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何がいるかな、どこにいるかな ・いたいた、見つけた ・かってみたいな、できるかな ・よく見ると、おもしろいよ ・ふしぎ、びっくり、大はっけん ・みんな生きている <p>○住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物</p> <p>〈上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モルモット ・ダンゴムシ ・ショウリョウバッタ <p>〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンゴムシ ・アゲハ ・アメリカザリガニ <p>○地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真</p> <p>パン屋で働く人、消防署で働く人、駅で働く人、和菓子屋で働く人と児童がかかわる様子を写真で掲載し</p> | <p>○単元の導入ページの内容</p> <p>■「あそんでためしてくふうして」</p> <p>見開き2ページの写真とイラスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数種類の材料が入った箱の写真 ・6つのキーワード「つむ」「ならべる」「回す」「ふく」「はじく」「ころがす」がイラスト入りで記載され、材料の箱(ガラタカラバコと記載)と線で結んでいる。 ・学習の流れ「ホップ」(見つける。)→「ステップ」(くふうしてあそぶ。)→「ジャンプ」(ふりかえる。もっとやってみる。)をイラストで記載している。 ・「ふる」「とばす」「たたく」「こする」のキー | <p>○単元名及び総ページ数</p> <p>〈上〉135ページ(9単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あたらしいいちねんせい ・なかよしいっぱいだいさくせん ・さかせたいわたしのはな ・なつだとびだそう ・いきものとなかよし ・あきといっしょに ・みんなのにこにこ大きくせん ・ふゆとともだち ・もうすぐみんな2ねんせい <p>〈下〉95ページ(7単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さあ、きょうから2年生 ・まちをたんけん大はっけん ・ぐんぐんそだておいしいやさい ・小さな友だち ・あそんでためしてくふうして ・もっともっとまちたんけん ・広がれわたし <p>○スタートカリキュラムに</p> | <p>○キャラクター・マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元を「ホップ(思いやりや願いをもつ、見通しをもつ)」、「ステップ(やってみる、考える、表す)」、「ジャンプ(振り返る、伝え合う)」の3段階のマークで示している。 ・「もっとやってみたい」マークで、単元終了後も活動を続けるてがかりを示している。 ・「きせつのおくりもの」マークで、季節ごとの動植物を示している。 ・「！」マークを付け、安全、衛生上の注意を促している。 ・「どうすれば」マークのついたコーナーを設け、自ら考える活動を促している。 | <p>○多様な表現方法(ICTの活用等)で伝え合う活動の例</p> <p>「まちをたんけん大はっけん」「もっともっとまちたんけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りの場所を地図に示したり、カードに書いて教え合ったりして、みんなで探検する計画を立てている。 ・地域の人(パン屋、消防署、駅で働く人、農家の人、公園で掃除する人)にインタビューをしたり、図書館を利用しながら教えてもらったりして調べたことをカードにまとめている。 ・町探検見つけたことや、出会った人などをカードにまとめ、地図に置きながら交流をしてい |

| | | | | | |
|--|--|--|---|---|--|
| | <p>ている。</p> <p>○四季の変化を対比させたページ</p> <p>■「なかよしの木1年」 〈上〉107-110(春~冬)</p> <p>■「きせつのおくりもの」(きせつ なかまたち) 〈上〉112-113(春)→114-115 (夏)116-119(秋)→120-121 (冬)→122-123(早春)</p> <p>■「きせつもおくりもの」(町) 〈下〉78-79(春)80-81(夏)→ 82-83(秋)→84-85(冬)</p> <p>○学習活動の例</p> <p>■〈上〉「もうすぐみんな2年生」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1ねんかん, どんなことがあったかな ・おもいでいっぱい, 1年生 ・あたらしい1年生をしようたいしよう ・ようこそ, わたしたちの学校へ ・大きくなったね, わたしたち ・たのしみだね, 2年生 <p>■〈下〉「広がれわたし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今のわたしは, どんなわたし ・あつまれ, みんなのいいところ ・今のわたしになるまでに ・わたしのことはっぴょう会 ・今までのわたし, これからのわたし <p>○相互評価・他者評価</p> <p>■「みんなのこにこ大きくせん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おしえて, みんなのこにこ大きくせん」で, 農家の方からの手紙を掲載している。 <p>■「広がれわたし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あつまれみんなのいいところ」で, 友達の良いところを書いたカー | <p>ワードを材料の箱の周りに記載している。</p> <p>○栽培單元におけるワークシート</p> <p>の例</p> <p>〈上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と文で記述 ・横書き罫線2行 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題 あさがお(のたね) ・あさがおの種の絵 ・「あさがおをそだてることに決めました。いっぱいさくといいな。」 <p>〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と文で記述 ・横書き罫線5行 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題 ミニトマトのなえをうえた ・ミニトマトの苗の絵 ・「土田さんが, なえのうえ方を教えてくださいました。ポットからなえをそっと出すのがむずかしかったです。毎日お世話がんばります。」 ・横書き罫線2行 <p>・題 あさがお(のたね)</p> | <p>関する内容</p> <p>「あたらしいいちねんせい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10ページ ・「きょうはなにをしようかな」のページで合科的・関連的な学習活動を示している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクター内の二次元コードで, 季節の資料(四季の動植物および47都道府県の伝統行事), 交通安全, 道具の使い方の資料)を見ることができることを示している。 | <p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人を発表会に招き, ポスターやクイズ, 新聞や電子黒板, パンフレットを使って説明をしている。 ・作成したポスターやお礼の手紙を取材した方々へ渡している。 |
|--|--|--|---|---|--|

| | | | | | |
|-------------------|---|--|---|--|---|
| | <p>ドを掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしのことはっぴょう会」で発表に対する母親の評価を吹き出しで掲載している。 <p>○生活のきまりや安全についての記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「！」マーク <ul style="list-style-type: none"> ・衛生面での配慮の必要性や安全面での配慮が必要な対象を提示 ■「どうすれば」コーナー <ul style="list-style-type: none"> ・登下校中や活動場面での留意点や、道具の安全な使い方や片付けについて提示 ■「ひろがるせいかつじてん」（上巻末及び下巻末） <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全、避難の仕方、防犯、道具の安全な使い方、健康、衛生について掲載 | <ul style="list-style-type: none"> ・あさがおの種の絵 ・「あさがおをそだてることに決めました。いっぱいさくといいな。」 〈下〉 ・絵と文で記述 ・横書き罫線5行 ・題 ミニトマトのなえをうえた ・ミニトマトの苗の絵 ・「土田さんが、なえのうえ方を教えてくださいました。ポットからなえをそっと出すのがむずかしかったです。毎日お世話をお願いします。」 | | | |
| <p>61 啓林館</p> | <p>○飼育単元の学習活動の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■〈上〉「生きもの大すき」 <ul style="list-style-type: none"> ・[わくわくボックス]生きものにあいこ ・生きものとふれあおう ・見つけたことをしょうかいしよう ・どうぶつとなかよくなるう ・大せつないのち ・[生きもののでだてかた] ■〈下〉「みんな生きている」 <ul style="list-style-type: none"> ・[わくわくボックス]どんな生きものが見つかるかな？ ・生きものをさがそう ・大切にそだてよう | <p>○単元の導入ページの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「せかいでひとつわたしのおもちゃ」 <p>見開き2ページの写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童7名がそれぞれの異なったおもちゃを持っている。 ・材料10種類の写真 ・イラストの児童2名の吹き出し「5年生の作ひ | <p>○単元名及び総ページ数</p> <p>〈上〉118 ページ (10 単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がっこうだいすきあいうえお ・いくぞ！がっこうたんけんたい ・げんきにそだてわたしのはな ・あそびばにでかけよう ・なつとなかよし ・生きもの大すき | <p>○キャラクター・マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページの左上に、単元導入の「わくわく」、主な活動の「いきいき」、表現活動の「ぐんぐん」の3段階のマークで単元の流れを示している。 ・「ぐるるっち」「のびっく」「ぴんぴん」のキ | <p>○多様な表現方法（ICTの活用等）で伝え合う活動の例</p> <p>「とび出せ！町のたんけんたい」「もっと知りたいたんけんたい」「町のすてきつたえたい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町について知っていることを出し合い、友だちと探検の計画を立てている。 |

| | | | | | |
|--|---|---|--|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・生きものをよく見よう ・はっ見たことを知らせよう ・[生きもののそだて方] <p>○住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物</p> <p>〈上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショウリョウバッタ ・オンブバッタ ・コオロギ ・ダンゴムシ ・ナナホシテントウ ・[生きもののそだて方] <p>〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アゲハチョウ ・やご ・クワガタムシ・カブトムシ ・おたまじゃくし ・ダンゴムシ ・カニ（海のカニ） <p>○地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真</p> <p>和菓子屋で働く人、花屋で働く人、交番で働く人、図書館で働く人、登下校の見守りをする人、農家の人、駅で働く人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p> <p>○四季の変化を対比させたページ</p> <p>校庭</p> <p>〈上〉12-13（春）48-49（夏）→76-77（秋）102-103（冬）</p> <p>公園</p> <p>〈上〉36-37（春）78-79（秋）</p> <p>「きせつだより」</p> <p>〈下〉10-11（春）→56-57（夏）→70-71（秋）→96-97（冬）</p> <p>○学習活動の例</p> | <p>んはすごいね。」「ぼくもおもちゃを作りたいな。」を掲載している。</p> <p>○二次元コード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はさみのつかいかた」「カッターナイフのつかいかた」をイラストで記載している。 <p>○栽培單元におけるワークシート</p> <p>の例</p> <p>〈上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虫眼鏡のイラストの中に絵と文で記述 ・罫線なし ・あさがおの種の絵 ・「すいかみたいなかたちだよ。はやくさいてね。」 <p>〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と文で記述 ・横書き罫線4行 ・題 ふかふかの土ができた ・土を耕している児童と名人の方の絵 ・「みんなではたけをたがやしました。野さい名人のさとうさんが『おい | <ul style="list-style-type: none"> ・あきとなかよし ・ひろがれえがお ・ふゆとなかよし ・もうすぐ2年生 <p>〈下〉128 ページ（8 單元）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいこといっぱい ・大きくそだてわたしの野さい ・とび出せ！町たんけんたい ・みんな生きている ・せかいでひとつわたしのおもちゃ ・もっと知りたいたんけんたい ・町のすてきつたえたい ・これまでのわたしこれからのわたし <p>○スタートカリキュラムに関する内容</p> <p>「がっこうだいすきあいうえお」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17 ページ ・「うきうきあそぼう」のページで合科的・関連的な学習活動を示している。 | <p>キャラクターが気付きのヒントや、安全上の留意点などを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「手をあらおう」マークで、安全・衛生上の注意を促している。 ・「！こんなときどうしよう」マークで、みんなで考える活動を促している。 ・「できるかなできたかな？」マークで、活動の振り返りを促している。 ・「ひろがるきもち」マークで、学んだことを生活に生かすことを促している。 ・「がくしゅうずかん」マークで、巻末の学習図鑑の参照を促している。 ・他教科との関連が深いところに、関連が分かるマークで示している。 ・二次元コードで、活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人（和菓子屋や花屋で働く人、警察官、登下校の安全を見守る人、伝統工芸品を作る人）にインタビューをしたり、教えてもらったりしたことをインタビューカードに記入している。 ・発見したことについて、友達に電子黒板を使って写真を見せたり、ペーパーサートやクイズなどで伝えたり、カードを地図に置きながら交流している。また、発見したことを家の人にも話すことを促している。 ・もっと知りたいことについて友達と付箋紙を使って整理している。 ・知りたくなったことを調べるために、電話での訪問の依頼をしている。 ・友達と見つけてことを伝える方法を相談して |
|--|---|---|--|--|--|

| | | | | |
|--|---|--|---------------------------------------|--|
| <p>■ 〈上〉「もうすぐ2年生」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年かんをふりかえろう ・できるようになったことをあつめよう ・あたらしい1年生をしょうたいしよう ・しょうたいしたことをふりかえろう ・もうすぐはる <p>■ 〈下〉「これまでのわたしこれからのわたし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きくなった自分をふりかえろう ・自分についてしらべよう ・自分のせい長をまとめよう ・ありがとうをとどけよう ・もうすぐ3年生 <p>○相互評価・他者評価</p> <p>■ 「げんきにそだてわたしのはな」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みつけたひみつをつたえよう」で、先生からの賞状を掲載している。 <p>■ 「ひろがれえがお」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひろがったえがおをつたえよう」で、父親からの評価を手紙で掲載している。 <p>■ 「もうすぐ2年生」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しょうたいしたことをふりかえろう」で、活動の評価の手紙を掲載している。 <p>■ 「これまでのわたしこれからのわたし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分についてしらべよう」で、友達の活動を評価したカードを掲載している。 <p>○生活のきまりや安全についての記述</p> <p>■ 「つうがくのおんしんあんぜん」</p> | <p>しい野さいをつくるには、土づくりが大切だよ。』と教えてくれました。」</p> | | <p>に際して参考となる情報がwebページにあることを示している。</p> | <p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の多様な人（幼児や高齢者など）を招いて発表会を開き、地図、ポスター、電子黒板、体験、劇、ゲーム、クイズで説明している。 ・学習を通して分かったことやがんばったことを交流している。 |
|--|---|--|---------------------------------------|--|

| | | | | | |
|-------------------|--|--|---|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・登下校中の安全，防災，防犯に関する情報を掲載 ■「がっこうのあんしんあんぜん」 <ul style="list-style-type: none"> ・防災，防犯，避難の仕方について掲載 ■小单元「がっこうのまわりをあるいてみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・登下校の安全に関わる人やもの，こども 110 番の家の表示を掲載 ■小单元「みんなであそぼう」 <ul style="list-style-type: none"> ・安全にあそぶためのきまりを提示 ■「気をつけよう！」「こんなときどうしよう！」コーナー <ul style="list-style-type: none"> ・安全面での配慮が必要な対象や活動を提示 ■「てをあらおう」マーク <ul style="list-style-type: none"> ・衛生面での配慮の必要性を提示 ■小单元「きせつだより」(「なつやすみのやくそく」コーナー) <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに気を付けることを提示 ■キャラクターによる吹き出し <ul style="list-style-type: none"> ・安全面での配慮の必要を提示 ■「がくしゅうずかん」(上巻末及び下巻末) <ul style="list-style-type: none"> ・乗り物の乗り方，道具の安全な使い方，後片付け，防災，健康，衛生について掲載 | | | | |
| <p>116 日文</p> | <p>○飼育単元の学習活動の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■〈上〉「生きものとなかよくなるろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・生きものにあいにいこう ・生きものとふれあおう ・生きものをつたえよう ■〈下〉「生きものはかせになるろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・生きものをさがすじゅんぴをしよう ・生きものをさがそう ・生きもののせわを考えよう | <p>○単元の導入ページの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「あそび名人になるろう」 <p>見開き 2 ページの写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童 3 名が材料の特徴を生かして，こまをまわ | <p>○単元名及び総ページ数</p> <p>〈上〉 124 ページ（9 単元）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちねんせいになったら ・がっこうをたんけんしよう ・きれいなはなをさかせたい ・きせつとあそぼうーはるか らなつー | <p>○キャラクター・マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の前に，単元の内容に関連するマークを掲載している。 ・5名の児童（挿絵）が繰り返し登場し，活動 | <p>○多様な表現方法（ICTの活用等）で伝え合う活動の例</p> <p>「町たんけん 1ーみんなであそぼうー」「町たんけん 2ーグループであそぼうー」</p> |

| | | | | | |
|--|--|---|---|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・[ポケット図かん]生きもの図かん ・じっくりかんさつしよう ・生きもののひみつをつたえよう ・どうぶつのせわをしてみよう <p>○住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物 〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カブトムシ ・やご（トンボ） ・ダンゴムシ ・ショウリョウバッタ ・メダカ ・アオムシ（モンシロチョウ） ・おたまじゃくし（アマガエル） ・カタツムリ ・モルモット <p>○地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真 地域センターの図書室で働く人、駅で働く人、交番で働く人、農園で働く人、和菓子屋で働く人、コンビニエンスストアで働く人、デイサービスセンターを利用する人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p> <p>○四季の変化を対比させたページ 学校、公園 〈上〉32-33（春）50-51（夏）→76-77（秋）104-105（冬） 「きせつのちがいをふりかえろう」 〈上〉110-111（春～冬） 「ポケットずかん」 54-55, 62-63（春・夏） 80-81（秋）→112-113（冬） 「ちえとわざのたからばこ」（きせつのへんかとくらし） 〈下〉126-127（春～冬）</p> | <p>している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童2名がうちわを使って遊んでいる。 <p>○栽培単位におけるワークシート の例 〈上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虫眼鏡のイラストの中に絵と文で記述 ・横書き罫線3行 ・あさがおの種の絵 ・「たねをかんさつしました。くろくていしみにかたかったです。」 〈下〉 ・絵と文で記述 ・横書き罫線5行 ・題 うえかえをしたよ ・キュウリの苗の絵 ・「キュウリのなえをうえかえました。ゆびでやさしくはさむとうまくできました。元気にそだってくれるといいな。夏になったらみがたくさ んできるかな。」 | <ul style="list-style-type: none"> ・生きものとなかよくなるよう ・きせつとあそぼうーあきー ・じぶんでできるよ ・きせつとあそぼうーふゆー ・もうすぐ2年生 〈下〉111ページ（8単元） ・2年生がはじまるよ ・町たんけん1ーみんなであそぼうー ・ぐんぐんそだてみんなの野さい ・夏休みを楽しくすごそう ・生きものはかせになろう ・町たんけん2ーグループであそぼうー ・あそび名人になろう ・こんなに大きくなったよー <p>○スタートカリキュラムに関する内容 「いちねんせいになったら」 ・14ページ ・「あそぼうまなぼう」のページで合科的・関連的な学習活動を示している。</p> | <p>する物語性のある展開になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぼいんとさん」「ひんとさん」「ちゅういさん」のキャラクターが、児童に思考や活動を促したり、安全上の注意を促したりしている。 ・見開き2ページの左下に、「本」、「電球」、「ハート」のマークで、学習のめあてを示している。 ・「手をあらおう」マークで、安全・衛生上の注意を促している。 ・「アレルギー」マークで、健康面への注意を促している。 ・「！マーク」で、健康や安全面について注意を促している。 ・「ぺえじもみてね」マークで、関連した資料を参照するように促している。 ・「ふりかえる、つなげ | <ul style="list-style-type: none"> ・知っている場所についてウェービングマップを基に交流している。 ・実物投影機を使用して、カードを全体に示しながら説明したり、電子黒板を使って、見学に行った時の気付きを交流したりしている。 ・1度目の町探検を基に書いた「見つけたカード」を基に交流し、グループで2度目の探検の計画を立てている。 ・地域の人（和菓子屋や農園、コンビニエンスストア、デイサービスセンター）に取材したことをインタビューカードに記録している。 ・友達で見つけたことを伝える方法や内容を相談している。 ・地域の人を招いて発表会を開き、新聞、ポスター、電子黒板、クイズ、体験コーナーで説明している。 |
|--|--|---|---|---|--|

| | | | | | |
|--|---|--|--|---|---|
| | <p>○学習活動の例</p> <p>■〈上〉「もうすぐ2年生」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年かんをふりかえろう ・じぶんのせいちょうをみんなにつたえよう ・あたらしい1年生をしょうたいしよう ・もうすぐ2年生だね <p>■〈下〉「こんなに大きくなったよ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしのいいところ ・自分のせい長のひみつをみつけよう ・自分のものがたりをまとめよう ・せい長はっぴょう会をひらこう ・3年生になるのが楽しみだね <p>○相互評価・他者評価</p> <p>■「ふりかえるつなげる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動への評価を絵と吹き出しで掲載している。 <p>■「ぐんぐんそだてみんなの野さい」「あそび名人になろう」「野さい」づくりをふりかえろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あそんだことをふりかえろう」で、活動を評価した「名人にんていしょう」を掲載している。 <p>■「こんなに大きくなったよ」一広がれわたしー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「せい長はっぴょう会をひらこう」で、農家の方からの評価の手紙を掲載している。 <p>○生活のきまりや安全についての記述</p> <p>■「小单元「みんなのつうがくろをあるいてみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校の安全に関わる人やもの、こども110番の表示を掲載 | | | <p>る」マークで、学習活動を振り返ったり次の活動へつなげたりするよう促している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Dマーク」で、パソコンやインターネットの使用を促している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お礼の気持ちを歌や手紙で伝え合う活動をしている。 |
|--|---|--|--|---|---|

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■「出かけるまえにかくにんしておこう」コーナー、「！」マーク <ul style="list-style-type: none"> ・安全面での配慮が必要な対象や活動を提示 ■「〇〇のちゅうい」のコーナー <ul style="list-style-type: none"> ・安全面，健康面での配慮が必要な活動を提示 ■「みのまわりのあんぜん」 <ul style="list-style-type: none"> ・学校内にある安全設備や避難訓練について，登下校の安全や防犯，防災に関する留意点を掲載 ■「手をあらおう」マーク <ul style="list-style-type: none"> ・衛生面での配慮の必要性を提示 ■「あれるぎいにきをつけよう」マーク <ul style="list-style-type: none"> ・健康面で配慮の必要性を提示 ■「気をつけることはなにかな」コーナー「しせつのつかい方のやくそく」コーナー <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全や安全面への配慮と必要性を提示 ■キャラクターによる吹き出し <ul style="list-style-type: none"> ・安全面や健康面での配慮の必要性を提示 ■「ちえとわざのたからばこ」（上巻末及び下巻末） <ul style="list-style-type: none"> ・道具の安全な使い方，後片付け，交通安全，防災，防犯，健康，衛生，乗り物の乗り方を掲載 | | | | |
|---|--|--|--|--|

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

| | | | |
|-----|----|--------------------|------------|
| 校種 | 教科 | 教科用図書目録に搭載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 小学校 | 音楽 | 2 | 4 |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 観点 発行者 | 基礎・基本の定着 | 主体的に学習に 取り組む工夫 | 内容の構成・配列 ・分量 | 内容の表現・表記 | 言語活動の充実 |
|-----------|--|---|---|---|--|
| 17 教出 | <p>① 題材や学習目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名は見開き左上に横書きで記載してある。 ・各教材の学習目標がそれぞれの教材のページの左上に横書きで表記されている。音楽要素を、色を変えて示されている。 ・学習活動の見通しを示す文を見開き左側に縦書きで示している。また、目次にも見通しを示す文を示している。 ・新出の音楽記号は、見開き右側に記載されている。 ・学び方ナビ（学び方を知ろう）のマークを付け、文章で学習の仕方や活動の視点を記載している。また、同時にイラストや吹き出しを使って考え方のヒントなどを示している。 <p>② 歌唱の基礎基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3学年第4学年に「歌声」のコーナーを設け、歌い方のポイントを写真や絵と文で示している。＜例第3学年P43 体の力、のどのおく：第4学年p.29おなかを使って歌おう＞ ・「学びナビ」で言語活動と関連させ、歌い方の工夫を話し合わせたり考えさせたり | <p>④ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程の示し方 学習目標の扱い「みんなで合わせて」第3学年「音のひびきや組み合わせを楽しもう」、「ひょうしとせんりつ」「音の動き方を生かしてせんりつをつくろう」など音楽を形づくっている要素とそのはたらきの視点を示した学習目標が示されている。 ・第3学年の音楽作りでは、まず楽器を選ばせることで意欲を持たせ、音の出し方を試行錯誤させながら音楽の感じを味わわせている。カードは6種類と多く、どの楽器でもクレッシェンドやデクレ | <p>⑥ わが国の音楽に関する内容</p> <p>鑑賞曲：16曲、 歌唱教材：23曲、 和楽器：第2学年から18種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「にっぽんのうた みんなのうた」コーナーを配置。鑑賞教材では、実際に歌ったり、太鼓の口唱歌を唱えたりする活動が示されている。 <p>⑦ 材や資料の配列</p> <p>歌唱：低学年から交互唱・輪唱・パートナーソングを配置。第3学年生から部分二部合唱、二部合唱が配置され、第5学年から三部合唱を導入し、系統的に学習が進められている。</p> <p>特徴的な楽器：ハーモ</p> | <p>⑧ 〔共通事項〕の指導を充実させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を「見開き右ページ上に「音楽のもと」として示し、中・高学年にはメモ欄がある。 ・巻末に「音楽のもと」があり音楽を形づくっている要素がまとめてある。表現は絵が多用されている。音楽記号などその学年までになるものとその学年で習うものが整理されている。 ・「打楽器資料」として打楽器の扱い方が各学年で順次紹介されている。 ・既習事項のページや関連の資料等のリ | <p>⑨ 表現及び鑑賞教材における言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現：第6学年歌唱教材の中で、学習過程を示し「曲全体のイメージやいいなと思ったところを話し合おう」「思いや意図が伝わっているか・もっとこうしたいと思うところを話し合おう」など表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面が設定されている。また、実際に歌って音楽表現を高めている場面の設定などがあり、学び合う音楽として個人で曲の魅力を見つけたり、グループでどんな表現にしていきたいか話し合ったりし |

| | | | | | |
|--|--|--|---|--|---|
| | <p>する内容を入れている。</p> <p>＜例第4学年 p. 29 スタッカートの歌い方，第4学年 p. 29，第5学年 p. 45 せんりつの特徴にあった声・歌い方＞</p> <p>③ 器楽の基礎基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダー学習の導入（第3学年） <p>目次にリコーダーのページをまとめて記載。指導順は【リコーダーのつくりや各部の名称を知る→鑑賞曲を聴く（5曲）→リコーダーの種類を知る（5種類）→楽器の構え方や持ち方を知る→「シ」の音をふく】となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの鑑賞曲「いつも何度でも」 ・リコーダーの扱い <p>「こんにちはリコーダー」と「めざせ楽器名人（2段階）」としてリコーダーの指導を特化し，3段階で指導している。第4学年で4段階めの指導が設定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習する音の順番 <p>第3学年「シ・ラ・ソ・ド・レ・ファ・ミ・レ」</p> <p>第4学年「ミ・ド・#ソ」</p> <p>低音のドが第4学年で新出の音になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・息の吹き込み方・タンギング・サミングの説明は，「大きなシャボン玉をふくときのような息でふく」タンギング「トゥ」「ル」第4学年高音「ティ」サミングの2方法を写真と言葉で説明している。 ・指使いの説明は，階名，五線譜，吹き口を下にした子供の目線でのリコーダーのイラストで示してある。 ・息の吹き込み方：大きなシャボン玉を作る時のような息でまっすぐ出してふくよう説明してある。 | <p>ッシェンドが出せるようになってい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本のリズムや旋律が示された数種類のカードを組み合わせて音楽を作ることから始め，自分で考えたリズムや旋律に発展させて取り組むことができるような指導過程を取っている。 <p>⑤音や音楽を生活や文化などに関連付ける工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年・第2学年・第3学年では，音のスケッチとして身近な生活の中にある音を使って遊ぶことを取り上げている。第4学年生からは巻頭に音楽の世界で活躍されている人（新妻聖子さん，野村萬齋さん，辻井伸行さん）を取り上げている。また「音楽の旅」第5学年・「音楽にできること」第6学年など世界の音楽や音楽と社会のつながりなどについて示されている。 | <p>ニカ第1学年，グロッケン・ビブラフ・マリンバ第2学年，シェーカー・フロアートーム第4学年，しの笛第5学年</p> <p>合奏曲：</p> <p>第1学年なし，第2学年4曲，第3学年3曲，第4学年2曲，第5学年4曲，第6学年4曲</p> <p>第1学年生は合唱曲なし。</p> <p>第6学年で「八木節」を取り入れている。</p> | <p>ンク先をかえるのマークで示し，振り返りや関連した学習ができるようになってい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3学年歌唱「せんりつのリズムを手で打つ」，第6学年鑑賞「旋律の流れに合わせて手などを動かしたり」などにより体を動かす活動を取り入れている。 | <p>て，学び合いながら音楽を表現していくという学習を仕組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞：第4学年音楽に合わせて体を動かしたり，歩いたり，指揮をしながら聞いて，気がついたことや感じたことを友達とお話しよう」と示すなど，言語活動を取り入れている。 ・聞き取ったことなどを記入する欄の記載がある。書いたことをもとに，友達と伝え合う活動の設定がある。 |
|--|--|--|---|--|---|

① 題材や学習目標の示し方

- ・題材名はその題材のトップページの左側に大きく目立つように示している。また、トップページの題材名の地の色と同じ色の文字でその題材のすべてのページの左側に記載されている。
- ・各教材の学習目標がそれぞれの教材のページの左上に横書きで表記されている。
- ・学習活動の見通しを示す文を見開き左側の題材名の下に縦書きで示している。また、教材の目標の下にもその教材を学習するにあたっての活動の見通しが記載されている。目次の前に見開きページを作り、その学年で学習する内容がイラストと短い文で一覧できるように、まとめている。
- ・新出の音楽記号は、「新しくおぼえること」という欄を設けて記載されている。
- ・キャラクターに噴出しの中で児童の気付きを引き出す呼びかけがなさせている。前に学習したことをもう一度確かめるためのページのマークで学習の基本を繰り返して学ぶ機会を設けている。

② 歌唱の基礎基本の定着を図るための工夫

- ・「うたごえ」や「歌声1・2」としたコーナーを設け歌い方を絵と文で示している。
- ・<第1学年口の中をあける、第2学年姿勢、第3学年頭声発声第4学年1のどのあけ方、2 スタッカート・第5学年1低い音の時2変声期、第6学年1発声、②変声期>
- ・言語活動と関連させ、歌詞・曲の特徴などをどう表現するかを考えさせる内容を取り入れている。<第6学年ふるさと・思い出のメロディー>

③ 器楽の基礎基本の定着を図るための工夫

- ・リコーダー学習の導入（第3学年）
- 指導順は【リコーダーのつくりや各部の名

④ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫

- ・学習過程の示し方
- 学習目標の扱い「いろいろな音のひびきを感じ取ろう」第3学年「音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう」、「いろいろなリズムを感じ取ろう」第4学年「繰り返しや変化を使って、リズムアンサンブルをつくりましょう」など音楽を形づくっている要素とそれはたらきの視点をより具体的に示した学習目標が示されている。
- ・第3学年の音楽づくりでは、基本のリズムや旋律が例として示され、それを使って自分で考えたリズムや旋律を作って組み合わせる指導過程を取っている。まず、カードを選ばせ、リズムや旋律の特徴に合わせた楽器を選ばせる活動が示されている。

⑥ わが国の音楽に関する内容

- 鑑賞曲：22曲、
- 歌唱教材：16曲、
- 和楽器：第3学年から23種
- ・「歌いつなごう 日本の歌」コーナーを設置。鑑賞教材では、実際に口唱歌の体験や民謡の歌い方をまねする体験活動が示されている。

⑦ 題材や資料の配列

- 歌唱：第1学年で交互唱、第2学年で輪唱、第3学年オステイナート唱、第4学年でパートナー唱、二部合唱、第5学年で部分三部合唱、第6学年で三部合唱と系統的に学習が進められている。
- 特徴的な楽器：小太鼓・キーボード第2学年、長胴だいこ・ウィンドチャイム第3学年、こと・コンガ第4学年、カバサ・サスペンディッドシンバル第5学

⑧ [共通事項]の指導を充実させる工夫

- ・音楽を形づくっている要素を見開き右ページ下に示している。
- ・巻末の「ふりかえりのページ」にその学年で音楽を形づくっている要素が関連するページ番号とともにまとめられている。<全学年>
- ・巻末の資料のページに「いろいろな音符・休符・記号」が一覧で示され、前学年までに習ったものと本学年で習うものが色分けされ、本学年分はページが記され、新出ページと連動させてある。
- ・「新しく覚えること」として新出するたびに記されている。
- ・第3学年歌唱「せんりつあどりながら」、第6学年鑑賞「音楽に合わせて体を動かしたり指揮のまねをしたり」

⑨ 表現及び鑑賞教材における言語活動の工夫

- ・表現：第6学年歌唱教材の中で、「歌詞や曲の特徴について話し合ひましょう」「どのように歌いたいかを考えて発表しましょう」など表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面が設定されており、実際に歌って音楽表現を高められている場面の設定など、歌詞や曲の特徴について話し合う活動や、よりよい表現方法を考え、話し合う活動を仕組んでいる。また、音楽で思いを伝えることができるよう、自分の思いを書く欄を設定している。
- ・鑑賞：第3学年「かんじたこと気付いたことをまとめましょう。」としてそのことを書くための表がある。まとめながらア→イ→ア

| | | | | | |
|--|---|---|--|-----------------------------|--|
| | <p>称を知る→鑑賞曲を聴く（2曲）→リコーダーの種類を知る（4種類）→楽器の構え方や持ち方・手入れの仕方を知る→「シ」の音をふく】となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダー鑑賞曲に「ピタゴラスイッチ」 ・リコーダーの扱い <p>第3学年「リコーダーのひびきをかんとろう」の題材で導入し（3段階）、その後は、リコーダー指導と題材の学習目標を関連させて、リコーダーの指導を継続（4・5段階）させている。さらに第4学年で高音3度を「旋律の重なり」の題材で取り上げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習する音の順番 <p>第3学年「シ・ラ・ソ・ド・レ・ファ・ミ ・レ・ド」</p> <p>第4学年「ミ・ファ・ソ」</p> <p>第4学年新出の3音が、1ページにまとめて表記されている。</p> <p>リコーダーの紹介・演奏の基本事項が項目立てされ、イラスト・写真・文などで具体的に説明されている。（楽器の扱い方、息[音]の止め方、リコーダーの音あなの番号、あなのとじ方、指のはらがどこか等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・息の吹き込み方：大きなシャボン玉を作る時のような息でやさしくふくよう説明してある。 ・息の吹き込み方・タンギング・サミングの説明は、タンギング「tu トゥ」「t」と止めるスタッカート「ツウツ」高音「ティ」と発音するように・第4学年サミングの2方法を写真と言葉で説明してある。 | <p>⑤ 音や音楽を生活や文化などに関連付ける工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年・第2学年では、題材に身近な生活の中にある音に関心を持ち、音楽的要素を扱う内容を取り入れている。第3学年・第4学年では日本の鑑賞教材として伝統文化を取り上げている第5学年・第6学年生では巻頭に世界で活躍している表現者（浅田真央さんや市川猿之助さん）を取り上げ、音楽を表現の一部として示されている。また「特集」や鑑賞と歌唱などに関連させたり、題材として「日本や世界の音楽に親しもう」を設定したりして、世界の音楽や音楽と社会のつながりが示されている。低学年で音のおもしろさに気づかせ、第6学年生で音楽の働きや役割を考えさせるようにし、音や音楽と生活や社会との関わりと考える力が身につくよう系統的に発展させている。 | <p>年 合奏曲： 第1学年1曲、 第2学年2曲、 第3学年4曲、 第4学年3曲、 第5学年4曲、 第6学年5曲 第1学年生から合奏曲を取り入れている。</p> | <p>などにより体を動かす活動が示されている。</p> | <p>の曲のまとまりに気をつけてききましょう」として、視点を持って再度音楽を聴く場面の設定がされている。</p> |
|--|---|---|--|-----------------------------|--|

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

| | | | |
|-----|------|--------------------|------------|
| 校種 | 教科 | 教科用図書目録に搭載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 小学校 | 図画工作 | 2 | 3 |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 観点 発行者 | 基礎・基本の定着 | 主体的に学習に取り組む工夫 | 内容の構成・配列・分量 | 内容の表現・表記 | 言語活動の充実 |
|-----------|--|--|--|--|--|
| 9 開隆堂 | <p>(1) 題材の目標・振り返りの示し方</p> <p>○各題材の目標を、3種類のマーク「知識及び技能」「思考、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」と文で示し、特に重点的に育てたい力には、下線を引き、色を変え、「～しよう」と活動を促す文末で示している。</p> <p>○振り返りについては、重点的に育てたい力に対応して児童が自己評価する際のヒントとなる「かえる」のイラストのついた「ふりかえり」の文で示している。</p> <p>(2) [共通事項]を視点とした学びの示し方</p> <p>○学習のめあてに対応したキャラクター「くふうさん」と「ひらめきさん」が登場し、[共通事項]を視点として思考させるコメントを示して学びを促している。例えば、第5・6学</p> | <p>(4) 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○興味・関心を高めるために、導入の場面で、各題材名の下に、活動のきっかけとなる文を示している。第5・6学年(上)「色を重ねて広がる形」では、「刷った紙を1回めくると紙の色、2回目からはつたところに前の色が出てくる。思いがけない形と色の出合いをたのしもう。」と示されている。</p> <p>○作品製作の過程や発想方法のヒント、材料選択の可能性など、活動の契機となるような内容表示を工夫している。</p> <p>(5) 表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫</p> <p>○表現と鑑賞との関連を図った学習活動として、第3・4学年(上)「集めて、ならべてマイコレクション」には、自然のものを集めて空き箱に並べたコレクションのお互いのよいところを紹介しあう活動があり、その次ページ「小さな美</p> | <p>(7) 題材や資料等の配列</p> <p>○すべての学年の項目に置いて題材を5項目に分類して配列している。</p> <p>○育てたい資質能力を軸に内容が構成されている。各学年の2～4頁には、そのことを、「カリキュラム編成目次」として、項目の配列を図示して掲載している。</p> <p>○掲載している作品等にサイズを明記している。</p> <p>○題材数は、第1・2学年(上)24、第1・2学年(下)25、第3・4学年(上)20、第3・4学年(下)20、第5・6学年(上)18、第5・6学年(下)18となっている。</p> <p>○造形遊びの題材数は、第1・2学年(上)(下)とも4、第3・4学年(上)以降は全て2となっている。</p> <p>○絵の題材数は、第1・2学年(上)10、第1・2学年(下)11、第3・4学年(上)以降は全</p> | <p>(8) 作品等についての示し方の工夫</p> <p>○作品や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントをキャラクターの吹き出し等で示したり、題名や作者の考え・感想を示したりしている。</p> <p>○インクルーシブ教育の取組として、意味の単位で文章がとらえられるよう改行を工夫したり、文字での表記を分かりやすくしたり、写真や絵、図の重なりを少なくすることを意識して編集をしている。</p> <p>○色覚特性の有無に関わらず、全ての児童が等しく学べるように、コントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集をしている。</p> <p>○文字は、ユニバーサルデザインフォントを採用し、学年に応じて文字の大きさを調整している。キャラクターの吹き出しの文字が大きく太い。</p> <p>○各題材にはQRコードを掲載</p> | <p>(9) 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫</p> <p>○発想や構想・鑑賞、製作の場面において、児童が一人でつぶやいた言葉や友達と楽しく対話をしたりしている言葉、写真が紹介されている。</p> <p>・作品を使って複数の児童が楽しんでいる写真、鑑賞を合っている写真に、大きくスペースを割いている単元がある。</p> <p>○友達との関わり・対話を促す文(キャラクターの言葉等)が示されている。</p> |

| | | | | | |
|-------------------|---|--|---|---|--|
| | <p>年下の「ゆらゆら、どきどき」では、「くふうさん」が「どのしくみを使って動かそうかな」とつぶやいているコメントが、育てたい力に対応し学習を深める手助けとなる。</p> <p>(3)材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫</p> <p>○題材ごとに主に使用する用具や材料について、ページ左上にマークと用具名や材料名を示している。</p> <p>○すべての学年において巻末に、「造形の引き出し」を設け、学年に応じて必要な用具の扱い方や技法、材料についてイラスト等を使って説明している。学年に応じた表現の技法等を「～の作り方」と明記している。</p> <p>○「安全」「かたづけ」の囲みを設け、用具の安全や片づけ方が身に付くよう、文や写真イラスト等で示している。</p> | <p>じゅつ館」には、児童の学習活動と同じように、様々なものを集めてつくられた、平面や立体の作家の作品が紹介されている。</p> <p>(6)美術作品等や生活の中の造詣の取り扱い</p> <p>○身近な作品・我が国や諸外国の親しみある美術作品等や生活の中の造形を鑑賞の対象として、第5・6学年〈下〉(みんなのギャラリー)「伝統の技を学ぶ」では、我が国の10種類の伝統工芸を、児童が製作する様子と共に写真で紹介している。また、第3・4学年では、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などを鑑賞の対象に、第3・4学年〈上〉(かんしょう)「絵から聞こえる音」では、感じたことを形や色で表す活動につなげるために、二つの美術作品を紹介している。</p> | <p>て7となっている。</p> <p>○立体の題材数は、第1・2学年(上)3、第1・2学年(下)以降は全て2となっている。</p> <p>○工作の題材数は、第1・2学年(上)6、第1・2学年7、第3・4学年(上)(下)とも8、第5・6学年(上)(下)とも6となっている。</p> <p>○鑑賞の題材は全ての学年に置いて1つずつとなっているが、全て4頁で構成されている。</p> <p>○1頁題材が低学年では全題材中ほぼ半分、中高学年では2つずつ掲載されており、内容による軽重がつけられている。</p> | <p>し、インターネットを利用して、用具の扱い方やつくり方などの動画や教科書に掲載した以外の参考作品例を見ることができるようになっている。</p> <p>○教科書の最下部に、「ふりかえり」「あわせて学ぼう」の表示があり、学習後の振り返りの視点と、他教科との関連が、枠付きで明示されている。最上部には、使う材料・道具が図示されている。</p> <p>○「学習のめあて」の表示があり、中央部に目立つ枠を設け、つけたい資質・能力に係る3つの目標が「～しよう」という表記の形で、児童に働きかける言葉で記述してある。</p> <p>○教科書の最後に、「学びの資料」があり、道具の使い方・片付け方、作業の仕方等について説明をしている。</p> | |
| <p>116 日文</p> | <p>(1)題材の目標・振り返りの示し方</p> <p>○資質、能力の3つの柱に基づいて、種類のマーク「知識及び技能」、「思考、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」と文で示している。</p> <p>○振り返りについては、「知識及び技能」、「思考、判断力、表現力等」に関わる問いかけはなく、「学びに向かう力、人間性等」の涵養</p> | <p>(4)興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○興味・関心を高めるために、導入の場面で、各題材名の下に、活動のきっかけとなる文を示している。第5・6学年〈上〉「ほり進めて 刷り重ねて」では、「同じ紙に、少しずつほったはんを、色を変えて刷っていきこう。思いに合った形になるように、ほって、刷って、はんで表そう。」という文で活動のきっかけを示して</p> | <p>(7)題材や資料等の配列</p> <p>○すべての学年の項目に置いて題材を5項目に分類して配列している。</p> <p>○どの題材に置いても、育てたい三つの資質能力に軽重はつけられておらず、各題材に置いて三つの資質能力を伸ばすと考え、内容が構成されている。</p> <p>○掲載している作品等にサイズを明記している。</p> <p>○題材数は、第1・2学年</p> | <p>(8)作品等についての示し方の工夫</p> <p>○作品や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントをキャラクターの吹き出し等で示したり、題名や作者の考え・感想を示したりしている。</p> <p>○インクルーシブ教育の取組として、材料の種類をしばった題材、一つの題材の中に、屋内と屋外、自然材と身辺材等、複数の実践パターンを示すこ</p> | <p>(9)表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫</p> <p>○発想や構想・鑑賞、製作の場面において、児童が一人でつぶやいた言葉や友達と楽しく対話をしたりしている言葉、写真が紹介されている。</p> <p>・幼稚園(保育所)や中学校との接続・関</p> |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|
| | <p>へとつなげるために、活動を通して感じたり考えたりしてほしいことを例示している。</p> <p>(2)[共通事項]を視点とした学びの示し方</p> <p>○キャラクター「ちろたん」が、子供の感覚や行為と[共通事項]を結びつけるコメントを示し、学びを促している。例えば、第5・6学年下の「音のする絵」では、「ちろたん」が「音のイメージが形や色と結びつくんだね。形や色の重なりが、音の重なりになりそうだね。」とつぶやき、形や色のもつ特徴を見つけ見方を広げるヒントを示している。</p> <p>(3)材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫</p> <p>○題材ごとに、主に使用する用具について、ページ番号横にマークで示している。</p> <p>○全学年において巻末に「使ってみよう材料と道具」を設け、学年に応じて必要な用具の扱い方や技法、材料についてイラストや写真を使って説明している。</p> <p>○題材によって「気を付けよう」「かたづけ」の囲みを設け、用具の安全な使い方や片づけ方について文で示している。</p> | <p>いる。</p> <p>○発達段階に合った材料を使い、作り変えながら考えることを大切にしたい題材を配置の工夫をし、学んだことを生活や社会で生かしたりつないだりする事例を紹介している。</p> <p>(5)表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫</p> <p>○表現と鑑賞との関連を図った学習活動として、第5・6学年〈下〉「この筆あと、どんな空？」では、画家が空を描いた美術作品を見て、表し方の違いを見つけ、よさや美しさを味わう活動の後に、筆あとを生かして自分の空を描く活動を設定している。</p> <p>(6)美術作品等や生活の中の造詣の取り扱い</p> <p>○身近な作品・我が国や諸外国の親しみある美術作品等や生活の中の造形を鑑賞の対象として、第5・6学年〈上〉(図画工作のつながり ひろがり)『形や色に思いをこめて』多くの人に分かりやすく伝わるよう視覚的な図で示された記号を紹介している。また、第3・4学年では、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などを鑑賞の対象に、第3・4学年〈下〉では、(かんしょう)「ポーズのひみつ」では、気付いたことや感じたことを伝え合うために、4点の美術作品を紹介している。</p> | <p>(上)24, 第1・2学年(下)23, 第3・4学年(上)(下)とも23, 第5・6学年(上)21, 第5・6学年(下)20となっている。</p> <p>○造形遊びの題材数は、第1・2学年(上)5, 第1・2学年(下)4, 第3・4学年(上)4, 第3・4学年(下)5, 第5・6学年(上)2, 第5・6学年(下)3となっている。</p> <p>○絵の題材数は、第1・2学年(上)7, 第1・2学年(下)8, 第3・4学年(上)8, 第3・4学年(下)7, 第5・6学年(上)8, 第5・6学年(下)6となっている。</p> <p>○立体の題材数は、第1・2学年(上)(下)とも4, 第3・4学年(上)5, 第3・4学年(下)4, 第5・6学年(上)5, 第5・6学年(下)4となっている。</p> <p>○工作の題材数は、第1・2学年(上)6, 第1・2学年(下)5, 第3・4学年(上)(下)とも5, 第5・6学年(上)4, 第5・6学年(下)5となっている。</p> <p>○鑑賞の題材は第3・4学年(上)が1つで、それ以外の全ての学年に置いて2つずつとなっている。全て2頁ずつで構成されている。</p> <p>○どの学年も、すべての題材が見開きになっている。</p> | <p>とを意識して編集をしている。</p> <p>○色覚特性の有無に関わらず、全ての児童が等しく学べるように、コントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集をしている。</p> <p>○文字は、教科書体を採用し、学年に応じて文字の大きさを調整している。</p> <p>○デジタルマークを付けた題材では、ICTを活用して学習を効果的に進められるように、ウェブサイトコンテンツが用意されている。</p> <p>○教科書の最下部に、「きをつけよう」「かたづけ」の表示があり、安全に係る留意点と片付けのポイントが明示されている。また、学習に使う道具が同様に図示されている。</p> <p>○学習のめあてについて、最上部につけたい資質・能力に係る3つの目標が、「～する」という表記の形で記述してある。</p> <p>○教科書の最後に、「使ってみよう材料と用具」というページがあり、道具の使い方・片付け方、作業の仕方等について説明をしている。</p> | <p>わりを意識した写真を掲載している。</p> <p>○友達との関わり・対話を促す文(キャラクターの言葉等)が示されている。</p> |
|--|--|--|--|--|---|

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

| | | | |
|-----|-----|--------------------|-------------|
| 校 種 | 教 科 | 教科用図書目録に搭載された教科書総数 | 本報告書の総 ページ数 |
| 小学校 | 家庭 | 2 | 2 |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 観点 発行者 | 基礎・基本の定着 | 学習方法の工夫 | 内容の構成・配列・分量 | 内容の表現・表記 | 言語活動の充実 |
|-----------|---|---|---|--|--|
| 2 東書 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な用語はゴシック体で表記されている。 ・身に付けさせたい基礎的・基本的な知識・技能のポイントとして巻末に「いつも確かめよう」を18か所、実習のページに「できたかな」の囲みを14か所掲載している。 ・安全に技能を身に付けられるように、「安全マーク」を表示し、解説している。巻末の「安全に実習しよう」にもまとめてあり、繰り返し確認できるようになっている。 ・「D」マークがある箇所は、コンテンツを利用して動画で確かめることができる。 ・巻末に実寸大の拡大写真があり、実際に手を乗せて真似をしながら習得できるようになっている。左利きの場合も示してある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・大題材の最初に、学習指導要領で示された家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」として設定し、その視点を意識して3段階のステップごとに学習を進めるようにしている。 ・ステップ1・2では主体的・対話的な学びにつながる活動が掲載され、教科書に直接記入できるようになっている。ステップ3では、学習内容を生活に結び付ける活動例が示され、「深めよう」で、学習内容を総合的に活用して取り組むことができるようになっている。 ・巻頭の「成長の記録」では、題材ごとにわかったこと、できるようになったことを自己評価できるようにしている。 ・学習指導要領に新設の「生活の課題と実践」に対応したページを「生活を変えるチャンス！」として5ヶ所（単元末）に掲載し、課題解決に向けた学習の流れをフローチャートで示している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・A4サイズで写真や図が大きく示されている。 ・総ページ数145で、資料・内容が豊富である。 ・5年の単元が8、6年の単元が7、合計15の構成。 ・発達段階を考え、ミシンの学習を5年生の最後に配列している。 ・夏の過ごし方と冬の過ごし方は6学年でその季節に学習するようになっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ふりがなが大きくて見やすく、全体的に色合いが淡い。 ・吹き出しのフォントが大きく示されている。 ・巻末に10ページに渡って、野菜の切り方や手縫いの仕方などの拡大写真がある。 ・「日本の伝統」「プロに聞く!」「安全」などのマークの見出しが大きく示されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・主に「活動」のマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動を取り上げている。 ・ワークシートや計画カードのまとめ方の例が示されていて、書く活動が入っている。 |

| | | | | | |
|------------------|---|---|---|--|--|
| <p>9 開隆堂</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な用語はゴシック体で表記されている。 ・実習や製作のページに「できたかな」の自己評価の囲みを11か所、ステップごとに「ふり返ろう」を掲載している。 ・巻末に、調理実習・製作実習の資料を9か所示している。また、家庭科学習でよく使われる基礎用語の索引がある。 ・「安全マーク」を表示、解説して、安全面の重視と衛生面の注意を促している。 ・「QR」マークがある箇所は、コンテンツを利用して動画で確かめることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領で示された家庭科の見方・考え方を「生活の見方・考え方 4つの視点」として図化して示している。 ・学習の進め方を大題材ごとに「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」の3段階で設定し、見直しをもって主体的に取り組むことができるようにしている。 ・各題材の最後に設けられた「生活に生かそう」の欄で、学習内容を生活に結び付ける活動例を示すとともに、児童が自分の考えを記述する枠を設けている。 ・学習指導要領に新設の「生活の課題と実践」に対応したページを「レッツトライ 生活の課題と実践」として第5・第6学年の間の4ページに掲載し、課題解決に向けた学習の流れをフローチャートで示している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・従来の、縦がB5、横がA4のABサイズである。 ・総ページ数137。 ・5年の単元が11、6年の単元が9、合計20で、細かく構成されている。 ・第5学年の最初と最後に、A領域「家族・家庭生活」にかかわる題材を配置し、全体を通してA領域を意識した内容構成になっている。 ・夏の過ごし方と冬の過ごし方を学年で分けて学習するようになっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・文字のフォントが鮮明で濃い色合いである。 ・野菜の切り方は、裏表紙に掲載されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・主に「考えよう」、「話し合おう」、「発表しよう」のマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したり活動を取り上げている。 ・適時ページの一番下に、「ひとロメモ」があり、家庭科の用語が説明してある。 ・仕事の手順の中で、振り返りの具体例がある。 |
|------------------|---|---|---|--|--|

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

| 校種 | 教科 | 教科用図書目録に搭載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
|-----|----|--------------------|------------|
| 小学校 | 保健 | 5 | 5 |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 観点 発行者 | 基礎・基本の定着 | 主体的に学習に取り組む工夫 | 内容の構成・配列・分量 | 内容の表現・表記 | 言語活動の充実 |
|-----------|---|---|--|---|--|
| 2 東書 | <p>【学習課題の示し方】 ○項目ごとに「学習の課題」として質問形式の課題提示 ○動機づけの後に提示</p> <p>【学習の動機づけ】 第3・4学年 「気づく・見つける」 ○生活をふり返って、書く活動(7) 第5・6学年 「気づく・見つける」 ○生活をふり返って、書く活動(15)</p> <p>【食育・安全・体力向上に関する記述】 第3・4学年(計6) ○食育に関する情報(2) ○安全に関する情報(2) ○体力向上に関する情報(2) 第5・6学年(計13) ○食育に関する情報(1) ○安全に関する情報(9) ○体力向上に関する情報(3)</p> <p>【実習に関する記述】 ○不安や悩みへの対処の方法をイラストと言葉で掲載 ○「リラックス状態を体験しよう」を掲載 ○正しい手当の方法についてのイラストと解説を掲載</p> | <p>【導入】 ・単元の見通しを持たせるための記述や写真を掲載している。 ・学習の流れ(展開)をイメージできるような図が掲載されている。 ・「つなげよう」の中で、他教科との関連が示してある。</p> <p>【振り返り】 第3・4学年(計4) ○自己評価をする活動(2) ○書く活動(2) 第5・6学年(計6) ○自己評価をする活動(3) ○書く活動(3) ・次時につながる問いが掲載されている。</p> <p>【学習の進め方の示し方】 ・巻頭の「この教科書の使い方」で示している。 ・一単元分をそのまま縮小して巻頭ページに掲載し、課題解決の過程や教科書に出てくるマークについて説明している。</p> <p>【課題解決の過程】 ・「ステップ1：気づく・見つける」→「ステップ2：調べる・解決する」→「ステップ3：</p> | <p>【発展的な学習に関する内容の記述】 第3・4学年(計6) ○健康な生活(1) ○体の成長とわたし(5) 第5・6学年(計14) ○心の健康(2) ○けがの防止(7) ○病気の予防(5)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・書体に独自に開発したユニバーサルデザイン教科書体を採用している。 ・児童の感想や気付きを記入するスペースがある。 ・統計資料(7) ・初経、精通を経験した時期の統計資料(グラフ)が平成23年のものを使用している。 ・体の変化を説明するイラストが裸体のものを使用している。 ・薬物乱用に関するページ数(4) ・重要語句やポイントとなる文章は太字になっている。 ・未習漢字にはルビが振ってある。 | <p>第3・4学年(計35) 「けんこうな生活」 ○自分の考えを書く活動(16) ○話し合う活動(4) 「体の成長とわたし」 ○自分の考えを書く活動(15)</p> <p>第5・6学年(計48) 「心の健康」 ○自分の考えを書く活動(10) 「けがの防止」 ○自分の考えを書く活動(15) ○話し合う活動(1) 「病気の予防」 ○自分の考えを書く活動(20) ○話し合う活動(2) ・まとめて書くスペースがある。 ・文字フォントがユニバーサルデザイン教科書体である。 ・カラーユニバーサルデザインの観点から、色覚の多様性に配慮している。 ・書き込むことを意識した紙質である。 ・記入を意識したスペースがある。</p> |

| | | | | | |
|----------|---|--|--|--|--|
| | <p>○「発展」の内容としてイラストと解説を掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動機づけの後に、項目ごとに「学習の課題」として質問形式の課題提示がしてある。 | <p>深める・伝える」→「ステップ4：まとめる・生かす」という学習過程で構成されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップ1～3には問いかけ形式の見出しがあり、ステップ4には、穴埋め形式の問題と本時の学習課題について振り返りを書くように促す問いがある。 | | | |
| 4 大日本 | <p>【学習課題の示し方】 ○項目ごとに質問形式の課題提示</p> <p>【学習の動機づけ】 第3・4学年 「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」 ○生活をふり返って、書く活動(4)</p> <p>第5・6学年 「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」 ○生活をふり返って、書く活動(7)</p> <p>【食育・安全・体力向上に関する記述】 第3・4学年(計5) ○食育に関する情報(2) ○安全に関する情報(1) ○体力向上に関する情報(2)</p> <p>第5・6学年(計4) ○食育に関する情報(1) ○安全に関する情報(2) ○体力向上に関する情報(1)</p> <p>【実習に関する記述】 ○不安や悩みを軽くする方法をイラストと言葉で掲載 ○「やってみよう」で呼吸法を掲載 ○「しりょう」として体ほぐし運動を掲載 ○軽いけがの手当てのしかたについてのイラストと解説を掲載 ○「発展」の内容として熱中症、の予防について解説を掲載</p> | <p>【導入】 ・単元の見通しを持たせるための記述や写真を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きのイラストから、学習課題につなげる表記がある。 <p>【振り返り】 第3・4学年(計6) ○自己評価をする活動(2) ○書く活動(4)</p> <p>第5・6学年(計10) ○自己評価をする活動(3) ○書く活動(7)</p> <p>【学習の進め方の示し方】 ・巻頭の「この教科書の使い方」で示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の一部を抜粋して巻頭ページに掲載し、課題解決の過程や調べ学習の進め方、話し合い活動の進め方について説明している。 <p>【課題解決の過程】 ・「課題をつかもう」→「いろいろな活動を通して課題を解決しよう(やってみよう、話し合ってみよう、調べてみよう)」→「活用して深めよう」→「まとめよう」→「毎日の生活に生かそう」という学習過程で構成されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いろいろな活動を通して課題を解決しよう(やってみよう、話し合ってみよう、調べてみよう)」「活用して深めよう」には問いかけ形式の見出しがある。 | <p>【発展的な学習に関する内容の記述】 第3・4学年(計4) ○育ちゆく体とわたし(4) 第5・6学年(計11) ○けがの防止(5) ○病気の予防(6)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・イラストや写真の表情に笑顔がある。 ・サイズがA B判で児童の感想や気づきを記入するスペースがやや小さい。 ・統計資料(8) ・初経、精通を経験した時期の統計資料(グラフ)はなく、体の変化として載せているグラフの資料が平成17年のものを使用している。 ・体の変化を説明するイラストが着衣のものと裸体のものと両方を使用している。 ・薬物乱用に関するページ数(2) ・未習漢字にはルビが振ってある。 | <p>第3・4学年(計16) 「毎日の生活とけんこう」 ○自分の考えを書く活動(8) ○話し合う活動(4) 「育ちゆく体とわたし」 ○自分の考えを書く活動(3) ○話し合う活動(1)</p> <p>第5・6学年(計33) 「心の健康」 ○自分の考えを書く活動(5) ○話し合う活動(4) 「けがの防止」 ○自分の考えを書く活動(9) ○話し合う活動(5) 「病気の予防」 ○自分の考えを書く活動(7) ○話し合う活動(3) ・A B版で作成されている。 ・文字フォントがユニバーサルデザインである。 ・カラーユニバーサルデザインを踏まえた配色がしてある。 ・話し合い活動を行うための見開きがある。</p> |

| | | | | | |
|--------------------|--|--|--|--|--|
| <p>207 文教社</p> | <p>【学習課題の示し方】 ○項目ごとに質問形式の課題提示</p> <p>【学習の動機づけ】 第3・4学年 「ふり返ってみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」 ○生活をふり返って、書く活動(5)</p> <p>第5・6学年 「ふり返ってみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」 ○生活をふり返って、書く活動(7)</p> <p>【食育・安全・体力向上に関する記述】 第3・4学年(計7) ○食育に関する情報(2) ○安全に関する情報(1) ○体力向上に関する情報(4)</p> <p>第5・6学年(計9) ○食育に関する情報(1) ○安全に関する情報(5) ○体力向上に関する情報(3)</p> <p>【実習に関する記述】 ○不安や悩みへの対処法をイラストと言葉で掲載 ○「体を動かして、やってみよう！気分転換！」でいろいろな運動例をイラストで掲載 ○「もっとくわしく！」で腹式呼吸をイラストと解説で掲載 ○簡単な手当のしかたについてのイラストと解説を掲載 ○「発展」の内容としてAEDについての写真と解説を掲載 ○「発展」の内容としてについて熱中症の予防と手当てについてのイラストと解説を掲載</p> | <p>【導入】 ・単元の見通しを持たせるための記述やイラストを掲載している。 ・学習内容のイメージを膨らませることができるイラストが掲載されている。</p> <p>【振り返り】 第3・4学年(計4) ○自己評価をする活動(2) ○書く活動(2)</p> <p>第5・6学年(計6) ○自己評価をする活動(3) ○書く活動(3)</p> <p>・自己評価をしたり、自分の考えを書いたりする際に、参考となる吹き出し(例文)が掲載されている。</p> <p>【学習の進め方の示し方】 ・巻頭の「わたしたちといっしょに学習していきましょう」でマークを紹介し、示している。</p> <p>【課題解決の過程】 ・「ふりかえってみよう」→「考えてみよう」・「調べてみよう」・「話し合ってみよう」→「新しい自分にレベルアップ」という学習過程で構成されている。 ・それぞれの学習過程には問いかけ形式の見出しがある。</p> | <p>【発展的な学習に関する内容の記述】 第3・4学年(計3) ○体の発育・発達(3)</p> <p>第5・6学年(計14) ○心の健康(1) ○けがの防止(3) ○病気の予防(10)</p> | <p>・イラストに水彩画の筆使いが見られる。 ・単元ごとに児童の感想や気付きを記入するスペースがある。 ・統計資料(13) ・初経、精通を経験した時期の統計資料(グラフ)が平成24年のものを使用している。 ・体の変化を説明するイラストが着衣のものと裸体のものの両方を使用している。 ・薬物乱用に関するページ数(2) ・重要語句やポイントとなる文章は太字になっている。 ・未習漢字にはルビが振っている。</p> | <p>第3・4学年(計13) 「毎日の生活とけんこう」 ○自分の考えを書く活動(7) 「体の発育・発達」 ○自分の考えを書く活動(2) ○話し合う活動(4)</p> <p>第5・6学年(計34) 「心の健康」 ○自分の考えを書く活動(7) ○話し合う活動(3) 「けがの防止」 ○自分の考えを書く活動(3) ○話し合う活動(5) 「病気の予防」 ○自分の考えを書く活動(11) ○話し合う活動(5) ・チェックシートがある。 ・書体や文字の大きさ、色をユニバーサルデザインの観点から配慮している。 ・各時間の終わりに書くスペースがある。</p> |
| <p>208 光文</p> | <p>【学習課題の示し方】 ○項目ごとに「学習課題」として質問形式の課題提示</p> <p>【学習の動機づけ】 第3・4学年 「はじめに」 ○生活をふり返って、書く活動(2)</p> | <p>【導入】 ・単元の見通しを持たせるための記述やイラストを掲載している。 ・イラストが4コマ漫画になっており、各章の学習内容の概要をイメージできるようにしている。</p> | <p>【発展的な学習に関する内容の記述】 第3・4学年(計11) ○健康な生活(2) ○体の発達と健康(9)</p> <p>第5・6学年(計21) ○心の健康(4)</p> | <p>・表紙を含め、イラスト全体にやわらかな筆遣いがみられる。 ・児童の感想や気付きを記入するスペースがある。 ・統計資料(16) ・初経、精通を経験した時期の</p> | <p>第3・4学年(計21) 「けんこう生活」 ○自分の考えを書く活動(7) ○話し合う活動(4) 「体の発育と健康」 ○自分の考えを書く活動(7) ○話し合う活動(3)</p> |

| | | | | | |
|-------------------|--|--|--|--|--|
| | <p>○生活をふり返って、表を作る活動(1) 第5・6学年 「はじめに」 ○生活をふり返って、書く活動(2)</p> <p>【食育・安全・体力向上に関する記述】 第3・4学年(計10) ○食育に関する情報(4) ○安全に関する情報(1) ○体力向上に関する情報(5) 第5・6学年(計7) ○食育に関する情報(1) ○安全に関する情報(3) ○体力向上に関する情報(3)</p> <p>【実習に関する記述】 ○不安や悩みなどへの対処の仕方をイラストと言葉で掲載 ○「やってみよう」において、「深呼吸の仕方」と「呼吸筋のストレッチの仕方」をイラストと解説で掲載 ○「やってみよう」において、手当の仕方を正しい手当の方法についてのイラストと解説で掲載 ○「発展」の内容として、熱中症の予防と手当についてのイラストと解説を掲載 ○「発展」の内容として、「心肺蘇生とAED」について写真やイラストと解説を掲載</p> | <p>【振り返り】 第3・4学年(計4) ○自己評価をする活動(2) ○書く活動(2) 第5・6学年(計6) ○自己評価をする活動(3) ○書く活動(3) ・自己評価をしたり自分の考えを書いたりする際の視点を示してある。</p> <p>【学習の進め方の示し方】 ・巻頭の「学習の進め方を知ろう」で示している。 ・教科書中の登場人物のイラストを交えながら、学習過程やインターネットを使う時の注意点を説明したり、資料ページやまとめのページ、教科書に出てくる主なマークについて説明したりしている。</p> <p>【課題解決の過程】 ・「学習課題をつかむ」→「課題解決に向けて、学習活動をする(調べよう、考えよう、やってみよう、話し合おう)」→「学習をまとめる」という学習過程で構成されている。 ・それぞれの学習過程には問いかけ形式の見出しがある。</p> | <p>○けがの防止(7) ○病気の予防(10)</p> | <p>統計資料(グラフ)が平成25年のものを使用している。 ・体の変化を説明するイラストが着衣のものを使用している。 ・薬物乱用に関するページ数(4) ・重要語句やポイントとなる文章は太字になっている。 ・未習漢字にはルビが振ってある。</p> | <p>第5・6学年(計45) 「心の健康」 ○自分の考えを書く活動(7) ○話し合う活動(2) 「けがの防止」 ○自分の考えを書く活動(10) ○話し合う活動(6) 「病気の予防」 ○自分の考えを書く活動(14) ○話し合う活動(6) ・協働学習・話し合い・記述のスペースがある。 ・配色がカラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> |
| <p>224 学研</p> | <p>【学習課題の示し方】 ○項目ごとに「ここで学ぶこと」として質問形式の課題提示</p> <p>【学習の動機づけ】 第3・4学年 「つかむ」 ○生活をふり返って、書く活動(2) 第5・6学年 「つかむ」 ○生活をふり返って、書く活動(2)</p> <p>【食育・安全・体力向上に関する記述】</p> | <p>【導入】 ・単元の見通しを持たせるための記述や写真を掲載している。 ・児童の課題意識を高めるために、「あなたはどんなことを学習してみたいですか」という記述がある。 ・各章の学習内容の概要が記述されている。</p> <p>【振り返り】 第3・4学年(計6) ○自己評価をする活動(2) ○書く活動(4) 第5・6学年(計9)</p> | <p>【発展的な学習に関する内容の記述】 第3・4学年(計7) ○健康な生活(2) ○心の発達と健康(5) 第5・6学年(計13) ○心の健康(2) ○けがの防止(5) ○病気の予防(6)</p> | <p>・写真とイラストが大きく表示されている。 ・児童の感想や気付きを記入するスペースごとに小見出しがある。 ・統計資料(6) ・初経、精通を経験した時期の統計資料(グラフ)がない。 ・体の変化を説明するイラストが横向きのシルエットのものを使用している。 ・薬物乱用に関するページ数(2)</p> | <p>第3・4学年(計12) 「健康な生活」 ○自分の考えを書く活動(5) ○話し合う活動(3) 「体の発育・発達」 ○自分の考えを書く活動(4)</p> <p>第5・6学年(計27) 「心の健康」 ○自分の考えを書く活動(7) ○話し合う活動(2) 「けがの防止」 ○自分の考えを書く活動(4) ○話し合う活動(2)</p> |

| | | | | | |
|--|---|---|--|---|---|
| | <p>第3・4学年(計10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食育に関する情報(4) ○安全に関する情報(2) ○体力向上に関する情報(4) <p>第5・6学年(計7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食育に関する情報(1) ○安全に関する情報(4) ○体力向上に関する情報(2) <p>【実習に関する記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不安や悩みへの対処法をイラストと言葉で掲載 ○「体がリラックスすると心もリラックスする」において、「教室でもでき体ほぐしの運動」「呼吸法(複式呼吸法)」をイラストと解説で掲載 ○119番への通報の仕方についてのイラストと話を掲載 ○救急救命士による情報として「心肺蘇生とAED」についての写真と解説を掲載 ○簡単なけがの手当てについての、イラストと解説を掲載 ○「発展」の内容として、熱中症の予防と手当について掲載 | <ul style="list-style-type: none"> ○自己評価をする活動(3) ○書く活動(6) <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をしたり、自分の考えを書いたりする際に、参考となる吹き出し(例文)や視点が掲載されている。 <p>【学習の進め方の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「楽しく学ぼう!ほけん(保健)の学習」で示している。 ・教科書中の登場人物のイラストを交えながら、学習過程や保健の見方・考え方、教科書に出てくるマークについて説明している。 <p>【課題解決の過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つかむ(チェックする, 振り返る, 話し合う, 考える, たしかめる, くらべる)」→「考える・調べる(考える, 調べる, 資料を読み取る, 話し合う, くらべる, 振り返る, チェックする)」→「まとめる・深める(学びを活用する, 生活につなげる, 目標を立てる, 実習を振り返る)」という学習過程で構成されている。 ・それぞれの学習過程には問いかけ形式の見出しがある。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・重要語句やポイントとなる文章は太字になっている。 ・未習漢字にはルビが振ってある。 | <p>「病気の予防」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを書く活動(9) ○話し合う活動(3) <ul style="list-style-type: none"> ・文字フォント, カラー, レイアウトが, ユニバーサルデザインに配慮してある。 ・生活につながる記述のスペースがある。 |
|--|---|---|--|---|---|

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

| | | | |
|-----|----|--------------------|------------|
| 校種 | 教科 | 教科用図書目録に搭載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 小学校 | 英語 | 7 | 8 |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 観点 発行者 | 基礎・基本の定着 | 主体的に学習に取り組む工夫 | 内容の構成・配列・分量 | 内容の表現・表記 | 言語活動の充実 |
|-----------|---|--|---|---|--|
| 2 東書 | <ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に Our Goal として、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに、政界の建物や食べ物等の写真やイラストを掲載している。 二次元コードを活用し、世界の有名な建物や食べ物等について聞く・読む・書く活動、歌やチャントを設定している。 | <p>【全体の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間の8単元を3つのテーマに分けて設定する。 単元末に Enjoy Communication（話す活動）、テーマ毎の最後に「Check Your Step's」を設定している。 巻末の絵カード資料等がある。付録として、辞書として活用可能な資料「Picture Dictionary」がある。 <p>【単元の構成・分量例】</p> <p><5年 Unit 1> 8ページ</p> <p>Starting Out 聞く</p> <p>Let's Try 1 話す</p> | <ul style="list-style-type: none"> 1ページ1時間扱いの見開き構成となっている。新ユニバーサルデザイン書体で、4線ノートの幅や線種、基線の色使いが示されている。第2線と基線の間幅が広くしてある。 ユニバーサルデザインの視点から、活動が紙面上の定位置に配置してあることや指示文のアイコンが示されている。 5領域に関連したキャラクターを設定し、紙面に明示している。 巻末資料、付録等として、絵カードやコミュニケー | <ul style="list-style-type: none"> 短く易しい対話から段階的に言語活動へと結びつけられている。また、言語の使用場面や働きを重視し、「Small Talk」、「Sound and Letters」が各単元に設定されている。 英語を使用する日常の場面が設定されている。5年生では日本、6年生では世界を取り上げるように示されている。 |

| | | | | | |
|----------|--|---|---|--|--|
| | | | Let' s Listen 1 聞く Let' s Try 2 話す Let' s Listen 2 聞く Let' s Try 3 話す Enjoy Communication 聞く 話す 読む 書く Over the Horizon 聞く 読む 書く 話す | ションカード等が設定されている。 | |
| 9 開隆堂 | <ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに、世界の建物や動物、食べ物等の写真、国旗と国名を掲載している。 二次元コードを活用し、ツアープランナーの話聞く活動、チャンツ、ゲーム、クイズを設定している。 | <p>【全体の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 9単元のLessonが設けられている。 各単元末のLet' s Tryで話す活動、前・後期末の2回にProject（集会等のスピーチ活動）がある。巻末には、辞書として活用できる資料（アルファベット順）や絵カード等が設けられている。 <p>【単元の構成・分量例】</p> <p><5年Lesson1>6ページ</p> Let' s Listen 聞く Let' s Sing（歌う） Let' s Sing（歌う） Let' s Play 1 書く Let' s Play 2（並べる等） Let' s Play 3 読む | <ul style="list-style-type: none"> 児童の記入欄には罫線を用いている。 4線の幅を4：5：4の間隔で示されている。基線を太い青色で表示している。 英語を書くときのポイントをアドバイスするキャラクター（鉛筆）等を設定している。 巻末資料、付録等として、ふろく1～8（単語リスト、絵カード等）が設定されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 「読み・書き」は教科書後半に独立してまとめられている。 チャンツなどの言語活動を通じて、語彙等の知識を身に付けた後、表現活動で実際のコミュニケーション活動につながる構成になっている。日常生活に関する題材を扱い、ペアやグループ活動が設定されている。 |

| | | | | | |
|----------|--|---|---|--|---|
| | | | <p>Let' s Read and Write 書く</p> <p>Let' s Play 4 聞く</p> <p>Let' s Play 5 聞く</p> <p>Let' s Listen 2 聞く</p> <p>Let' s Try 話す</p> | | |
| 11 学図 | <ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭にレッスンの目標として、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 単元冒頭にはレッスンのとびらとして、単元名、学習のめあてとともに、学習の進め方を掲載している。 学級の児童が行きたい場所について話している内容を聞く活動、歌を設定している。 | <p>【全体の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、Pre-Lesson で中学年の復習を設定している。また、10のLessonが設けられている。 単元末にUse & Check、年間2回のProject Timeでは、学習した内容を活用する設定である。 巻末には、「Word Corner」や各Lessonの「Song for Lesson」や絵カード等の資料がある。 <p>【単元の構成・分量例】</p> <p><5年 Lesson1>12ページ</p> <p>L. 1 A</p> <p>Let' s Listen</p> <p>Let' s Chant</p> <p>聞く 話す 読む 書く</p> <p>L. 1 B</p> | <ul style="list-style-type: none"> 4線の幅が5：6：5の間隔で示されている。ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインを用いている。 巻頭に8人の人物を紹介しており、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。 巻末資料、付録等として、World List やローマ字表が設定されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 文を提示する際、文頭の表現を揃えている。 「自分にあてはまるものだけ」、「その人になりきって」繰り返し話す活動が示されている。 やりとりや発表の活動の目的が示されている。 |

| | | | | | |
|-----------|--|--|---|--|--|
| | | | Let' s Listen Let' s Chant 聞く 話す 読む 書く L. 1 C Let' s Listen Let' s Chant Use&Check 聞く 話す 読む 書く Alphabet Corner 読む | | |
| 15 三省堂 | <ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに世界地図、世界の建物や動物、食べ物等の写真やイラスト、国名を掲載している。 二次元コードを活用し、世界の有名な建物や食べ物等の写真やイラスト見ながら英語を聞く活動を設定している。 | <p>【全体の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、中学年の復習教材を掲載している。 学期毎に「HOP」「STEP」「JUMP」の構成になっている。「JUMP」では、「紹介等の活動」が設定されている。年間3回のPresentationがある。 巻末には、アルファベットカードや辞書として活用できる資料が掲載されている。 <p>【単元の構成・分量例】</p> <p><5年 Lesson 1 >10ページ</p> <p>Listen&Talk 聞く 話す</p> <p>Soud Chant 話す</p> <p>Story 聞く</p> | <ul style="list-style-type: none"> 児童の理解をサポートするキャラクターを設定している。 4技能5領域を表すマークを使用し、分かりやすく。 巻末資料、付録等として、ふろく（CAN-DO リスト、Words & Phrases等）や別紙（アルファベット表、日本語のローマ字表）が設定されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 文及び文構造、語彙は単純なものから複雑なものへ段階的に配置するとともに、大単元の言語活動の目標に合わせて選択・配置をしている。 児童の気付きにつなげるヒントを活動や脚注に入れている。 語彙については、全ての語彙が表現のための語彙として扱われ、大部分はイラストとともに綴りが提示されている。 |

| | | | | | |
|----------|--|--|--|---|---|
| | | | Listen&Talk 聞く 話す Word Chant 話す Alphabet 読む Listen&Talk 聞く 話す Talk to Friends 聞く話す Enjoy Listening 聞く Write & Talk 書く | | |
| 17 教出 | <ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに世界地図、世界の建物や動物、食べ物等の写真やイラスト、国名を掲載している。 登場人物の行きたい旅行先について映像と合わせて聞く活動、チャンツ、外国の人におすすめしたい日本旅行先について考える活動を設定している。 | <p>【全体の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、中学年の復習内容「Start Together」等が丁寧に掲載されている。 各単元「Lesson」はPart 1～5で構成され、Final Activity において活用する活動を設定している。学期毎に国際理解コーナーがある。 巻末には、辞書として活用できる資料や絵カード等が設けられている。 <p>【単元の構成・分量例】</p> <p><5年 Lesson1>10ページ</p> <p>Let's Listen 聞く Let's Listen 聞く Think 聞く Activity 1 話す</p> | <ul style="list-style-type: none"> 配色やレイアウト、表現方法、フォントについて、カラーユニバーサルデザインで示されている。 障がいのある人が描いた作品を教科書に掲載し、さまざまな人々との共生に関する資料が示されている。 第5学年の最初の単元に10人の人物を紹介し、第6学年には新しい担任と転入生が加わり、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。 巻末資料、付録等として、My Word Bankやアルファベット表、絵カード等が設定されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語の語順の違い等の気付きを促す活動が設定されている。 各単元では、目標となる表現活動につなげるために、段階的に活動が設定されている。 各単元末の「Final Activity」では、学んだ内容を活用して、目的を持って取り組むコミュニケーション活動が設定されている。 |

| | | | | | |
|----------|--|---|---|--|---|
| | | | Activity 2 話す Final Activity 話す The Alphabet 読む 書く | | |
| 38 光村 | <ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に、GOALとして、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに世界地図、世界の建物や動物等の写真やイラスト、国旗を掲載している。 映像を見ながら、世界の国々について会話を聞く活動やゲームを設定している。 | <p>【全体の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭にスタート教材「Let's start」が掲載されている。 各単元のUnitは、Hop!⇒Step1・2⇒Jump!の順に構成している。 学期の単元間に国際理解コーナーが設定されている。 単元末には、JumpのCan you do it!における話す活動やFun Timeが設けられている。 巻末には、辞書として活用できる資料や絵カード等が設けられている。 <p>【単元の構成・分量例】</p> <p><5年Unit 1>10ページ</p> <p>Let's watch 聞く 読む Let's Listen 聞く 読む Let's chant 聞く 話す Let's try 聞く 書く</p> | <ul style="list-style-type: none"> 4線の幅とユニバーサルデザインを使用している。 登場人物の性別、人種・身体的特徴に偏りが無いよう示されている。 第5学年の巻頭に「主な登場人物」として、7人の人物と学習を助けるキャラクターを紹介し、第6学年には新たに転入生が加わり、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。 4技能5領域を表すマークを使用している。 巻末資料、付録等として、学びのパスポート、ローマ字の表、絵辞典、絵カード等が設定されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 読むこと・書くことは、聞くこと・話すことに慣れ親しんでから、文字→単語→語句→文と、段階を踏んだ活動が設定されている。 重要な語彙については書く活動も含めて何度も触れられている。 小学校3年生から慣れ親しんだ表現の復習ができる構成になっており、各単元末の「You can do it !!」では、これまで学んだ表現を使ったコミュニケーション活動が設定されている。 |

| | | | | | |
|-----------|--|---|---|--|---|
| | | | Let' s write 書く Let' s watch 聞く Let' s Listen 聞く Let' s chant 聞く 話す Let' s try 聞く 書く Let' s write 書く You can do it 話す Alphabet Time 読む 書く | | |
| 61 啓林館 | <ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に、GOALとして、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに世界地図、世界の建物や動物、食べ物等の写真やイラスト、国旗を掲載している。 夢の海外世界旅行について聞く活動を設定している。 | <p>【全体の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間8単元「Unit」である。 各単元末のActivityにおいて、話す活動、各学期の最後にReviewで、学習したことを活用する活動を設定している。 各Unitは、扉／Part1（導入の学習の動機づけ）、Part2、Part3、振り返り等となっている。 巻末には、辞書として活用できる資料や絵カード等が設けられている。 <p>【単元の構成・分量例】</p> <p><5年Unit 1>10ページ</p> <p>Listen and Guess 聞く Listen and Play 聞く</p> | <ul style="list-style-type: none"> めあての横に児童が達成度を確認できる図が示されている。 文節や意味による改行、ユニバーサルデザイン書体を使用している。 巻頭に「登場人物」として、9人の人物と2羽の鳥を紹介して、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。 4技能5領域をマークで表示している。 巻末資料、付録等として、アルファベット表、絵カード等が設定されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 文字に触れる場面を設定し、段階的に文字を読んだり、書いたりする活動が設定されている。 基本的な語彙は、「Listen and Play」やチャンツなどで示しており、その後の「Listen and Say」や「Listen and Do」で繰り返し活用する場が設定されている。 単元末の「Activity」では、学んだ表現を使ってやりとりや発表をするまとめのコミュニケーション活動を行う構成になっている。 |

| | | | | | |
|--|--|--|---|--|--|
| | | | Chat 話す Listen and Say 聞く 話す Listen and Do 聞く Jingle 聞く 話す Chat 聞く 話す Listen and Do 聞く Activity 話す Listen and Do 聞く Chat 聞く 話す Activity 話す 書く Let' s Read Write 読む 聞く 書く | | |
|--|--|--|---|--|--|

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

| | | | |
|-----|----|--------------------|------------|
| 校種 | 教科 | 教科用図書目録に搭載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 小学校 | 道徳 | 8 | 4 |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 発行者 観点 | 視点 | 2 東書 | 11 学図 | 17 教出 | 38 光村 | 116 日文 | 208 光文 | 224 学研 | 232 廣あかつき |
|---------------|--------------------|--|--|--|---|--|---|--|---|
| 基礎・基本の定着 | ①道徳科の学び方等の示し方 | <ul style="list-style-type: none"> 四つの学習の流れ「きづく」「かんがえる・はなしあう」「ふりかえる・みつめる」「いかす」を示している。 2年生以降は、「聞く」「役割演技」「話し合い」等の六つの学習活動をイラストで紹介している。 巻頭でミニオリエンテーションができるように短い教材が示されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習活動についてイラスト等を使い、考える視点や話し合いの方法を示している。 別冊「まなび」では、教科書とあわせた使い方を示している。 別冊「まなび」の中に、「学びのヒント」として、学習活動（話す、聞く、話し合う、役割演技をする。）についての説明がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 四つの学習の流れ「きづく」「かんがえる」「ふかめる」「つなげる」を示している。 「話し合い」「役割演技」についての説明を示している。 | <ul style="list-style-type: none"> 四つの学習活動をイラストや吹き出しを使い、考える視点や話し合う方法をあわせて具体的に示している。（1年生にはなし） 話し合いの仕方、役割演技の仕方についての説明がそれぞれ1ページずつある。 | <ul style="list-style-type: none"> 三つの学び方「きづく」「かんがえる・ふかめる」「みつめる・いかす」をイラストや写真を使い、示している。 「考える・深める」の場面での学習方法について3枚の写真と言葉で説明している。 | <ul style="list-style-type: none"> 四つの学習の流れ「といをみつける」「かんがえる」「まとめる」をイラストで示している。 学んだことを生活に生かす流れをイラストや吹き出しで示している。 教科書の使い方や道徳ノートの例を示している。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習活動について、「話し合ったり演技したり書いたりして考えるよ。」とまとめて示している。 | <ul style="list-style-type: none"> 六つの学習活動を文章で示している。（1年生はなし） |
| | ②発問の工夫（はしのうえのおおかみ） | <ul style="list-style-type: none"> （1・2年）教科書に発問は掲載されていない。（3年以上）教材文の後に2つ示す。 | <ul style="list-style-type: none"> 別冊「まなび」に主題ごとに見開き1ページで発問を示している。「うさぎを渡らせてあげた時、おおかみはどんなことを思ったでしょう。」 | <ul style="list-style-type: none"> 冒頭に一つ、教材の終わりに具体的な発問を三つ示している。「どうしておおかみは前よりずっといい気持ちになったのでしょうか。」 | <ul style="list-style-type: none"> 冒頭の教材名の下に一つと教材文の終わりに、発問三つを示している。「おおかみは、熊の後姿を見送りながらどんなことを考えていたのでしょうか。」 | <ul style="list-style-type: none"> 冒頭の教材名の前と教材文の後ろに二つ記載している。「おおかみが前よりずっといい気持ちになったのはどうしてかな。」 | <ul style="list-style-type: none"> 冒頭の教材名の横に一つ、教材文の下段に二つと終わりに二つ発問を示している。「熊の後姿を見ながらおおかみはどんなことを考えていたのかな。」 | <ul style="list-style-type: none"> 教材文の終わりに二つ記載している。「おおかみは、なぜ前よりずっといい気持ちになったのかな。」 | <ul style="list-style-type: none"> 教材文の終わりに二つ記載している。「おおかみは、橋の上で熊の後姿を見ながらどんなことを考えていたのでしょうか。」 |
| 主体的に学習に取り組む工夫 | ③問題解決的な学習を取り入れた工夫 | <ul style="list-style-type: none"> 3年生以上は教材に入る前のページの全面を使い、問題意識をもたせる工夫をし、教材の後に問題解決学習の流れを示している。 | <ul style="list-style-type: none"> 別冊「まなび」に主題ごと問題意識をもたせる問いを示している。 | <ul style="list-style-type: none"> 教材名の下に問題意識をもたせる問いを示している。 | <ul style="list-style-type: none"> 教材の冒頭に、問題意識をもたせる問いを示している。 問題解決的な学習ができるように「考えよう」のコーナーを設け、学習のめあてや発問を記載している。 | <ul style="list-style-type: none"> 教材の冒頭に、問題意識をもたせる問いを示している。 問題解決的な学習を取り入れる教材は、目次においてマークで示している。 問題解決的な学習の進め方について、「学習のめあてや発問とともに写真入りで説明している。 | <ul style="list-style-type: none"> 教材の冒頭に、問題意識をもたせる問いを記載している。 | <ul style="list-style-type: none"> 教材の後に「考えよう、深めよう」のコーナーを設け、問題解決的な学習の流れを示しているものがある。 | <ul style="list-style-type: none"> 教材の後の「考えよう、深めよう」のコーナーに、問題解決的な学習に活用できる発問を掲載してあるものがある。 |
| | ④体験的な学習を取り入れた工夫 | <ul style="list-style-type: none"> 「出会う・ふれ合う」のマークを使い、目次及び該当ページに示している。 | <ul style="list-style-type: none"> 別冊「まなび」において、 ①役割演技の方法を具体的に示し、役割演技を促す発問を示している。 ②体験的な活動を促している。 「ありがとう」を伝える。（1年）礼儀 世界のじゃんけんを紹介（1年）国際理解・国際親善 | <ul style="list-style-type: none"> 体験的な学習を取り入れる教材は、目次で「スキル」というマークを示している。 役割演技・体験的な学習の例として、「やってみよう」が10ヶ所掲載されている。 教材「なんていったらよいのかな」（1年：善悪の判断）において、体験的な活動を通して、具体的な言葉について考えさせている | <ul style="list-style-type: none"> 教材文の後に挿絵とともに役割演技を促す発問を記載している。役割演技のやり方について説明している。 | <ul style="list-style-type: none"> 体験的な学習を取り入れる教材は、目次等においてマークで示している。 「学習の手引き」において、写真を使って役割演技の方法を説明し、学習のめあてとともに発問を示している。（例：1ねん「ひつじかいのこども」） | <ul style="list-style-type: none"> 体験的な学習を取り入れる教材は、目次等においてマークで示している。 「学習の手引き」において、写真を使って役割演技の方法を説明し、学習のめあてとともに発問を示している。（例：1ねん「ひつじかいのこども」） | <ul style="list-style-type: none"> 教材絵の後、「あいさつのれんしゅうをしてみよう」という言葉を示し、体験的な活動を促している。（1年「あいさつげんきに」） | <ul style="list-style-type: none"> 教材文の後の「やってみよう」のコーナーで役割演技の方法についての説明が具体的な発問とともに示されている。 友達への声かけを体験することで友情信頼についての考えを深める活動が紹介されている。（2年「竹馬と一輪車」） |

| | | | | | | | | | |
|-------------|---------------------|---|--|--|---|---|---|--|--|
| 内容の構成・配列・分量 | ⑤分量や教材の数 | 判型 ・AB ページ数 ・p128～200 教材数(4つの視点) ・A8～10 B7～9 C9～12 D6～8 | 判型(別冊判) ・AB(AB) ページ数 ・p118～150 (p50～54) 教材数(4つの視点) ・A9～10 B7～8 C10～13 D6 | 判型 ・AB ページ数 ・p134～170 教材数(4つの視点) ・A8～12 B6～9 C10～13 D4～8 | 判型 ・B5変型 ページ数 ・p145～221 教材数(4つの視点) ・A8～10 B8～9 C11～12 D5～7 | 判型(別冊判) ・AB(AB) ページ数 ・p154～190 (p42) 教材数(4つの視点) ・A8～11 B8～10 C12～14 D5～8 | 判型 ・A4変型 ページ数 ・p158～194 教材数(4つの視点) ・A7～12 B8～12 C12～14 D6～9 | 判型 ・A4 ページ数 ・p138～170 教材数(4つの視点) ・A9～12 B8～9 C9～11 D6～8 | 判型(別冊判) ・AB(AB) ページ数 ・p118～170 (p44～56) 教材数(4つの視点) ・A10～11 B8～9 C10～11 D5～6 |
| | ⑥現代的な課題等を踏まえた内容の示し方 | ・いじめ問題を題材として直接的に扱う教材と、間接的に扱う教材の二つを、一つのユニットとして組み合わせた「いじめのない世界へ」を設けている。 【例(第5学年)】 「いじめのない世界へやなせたかさんの言葉」 「転校生がやってきた」 「ノンステップバスのできごと」 | ・いじめの問題について、日常生活で起こりうる問題から考えられる教材を選定している。 ・「公正、公平、社会正義」の内容項目をいじめの問題に向き合う教材の中心として、複数選定している。 【例(第5学年)】 「言葉のおくりもの」 「しらんぷり」 「たったひとつのたからもの」 | ・いじめ問題を扱う教材には、重点的に扱うマークを使用。 ・いじめ問題を題材として直接的に扱う教材と間接的に扱う教材を選定している。 【例(第5学年)】 「知らない間のできごと」 「差別のない社会へ」 「だれかをきずつける機械ではない」 | ・いじめ問題を扱う教材には、「いじめを許さない心」マークを使用。 ・様々な内容項目からいじめ問題に結びつく教材を、よびかけとコラムとともに一つのユニットとして設けている。 【例(第5学年)】 「すれちがい」 「どうすればいいのだろう」 コラム「おたがいを大切にしよう」 | ・「人との関わり」をテーマに複数の教材や関連するコラムを一つの「いじめ防止」のユニットとして、いじめを直接的に扱う教材と間接的に扱う教材に、コラム「心のベンチ」を組み合わせて、学期に1回ずつ設けている。 【例(第5学年)】 「真由、班長になる」 「名前のない手紙」 心のベンチ「『いじめ』の傍観者」 | ・いじめ問題を扱う教材には、「いじめを生まない心」マークを使用。 ・いじめの防止について、いじめを直接的に扱う教材と間接的に扱う教材を選定している。 ・コラム「みんな仲よし楽しい学校」を設けている。 【例(第5学年)】 「広い心で、おたがいをみとめ合おう」 「まかせてみようよ」 「みんなの劇」 | ・いじめ防止をテーマとして直接的に扱う教材と、間接的に扱う教材を選定している。 ・「公正、公平、社会正義」の内容項目を中心として、発達段階に応じて「友情、信頼」、「親切、思いやり」等の内容項目においても教材を選定している。 【例(第5学年)】 「いじめをなくすために」 「言葉のおくりもの」 「日本の『まんがの神様』」 | ・低・中学年では「仲間はずれ」「友達どうしのトラブル」等、いじめを間接的に扱った教材を選定し、高学年では、いじめを直接的に扱った教材も合わせて選定している。 ・「善悪の判断、自律、自由と責任」の内容項目を中心として、発達段階に応じて「友情・信頼」、「公正・公平、社会主義」等の内容項目においても教材を選定している。 【例(第5学年)】 「金曜日の班活動」 「魚の世界」 「ぼくの名前よんで」 |
| 内容の表現・表記 | ⑦巻頭・巻末等の取扱いの工夫 | 巻頭 ・「これから一年間で学ぶこと」として、四つの視点ごとに教材名を示している。 ・「道徳の学習をすすめるために」を示している。 ・第2学年以上は、「道徳の時間が始まるよ!」を折り込みページで示している。 巻末 ・「学習の記録」「学習のふり返し」「これからはかがやく自分に!」を設けている。 ・各教科等における道徳 | 巻頭 ・「道徳の学習を始めよう」「学級づくり」を示している。 ・別冊「まなび」の目次には、四つの視点で色分けしたマークとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ・別冊「まなび」には、「まなびの道しるべ」「教科書『まなび』の使い方」を示している。 巻末 ・「ふるさとコラム」を示している。 ・内容項目別教材一覧を四つの視点別、関連する現代的な課題等を | 巻頭 ・各学年、「道徳の学習が始まるよ」「道徳ではこんな学習をするよ」を示している。 巻末 ・「学びの記録」「1年間の道徳の学習を振り返ろう」のページを設けている。 ・第1・2学年には、「みにつけよう れい | 巻頭 ・目次の前には、命をテーマにした詩を掲載している。 ・第2学年以上は、「道徳の時間」「この本で学ぶみなさんへ」を示している。 巻末 ・第5・6学年には、「あなたへのメッセージ」を示している。 ・人とよりよい関係を築くための付録を示している。 | 巻頭 ・「道徳のとびら」「道徳の学び方」を示している。 ・別冊「道徳ノート」の目次には、四つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材について、第1学年は、かるた風のイラストを、第2学年以上は教材名を示している。 ・別冊「道徳ノート」には、道徳ノートの使い方を示している。 巻末 ・「あすをみつめて」を示している。 ・内容別教材一覧表を4つの視点別で示し、他教科との関連をマークとともに記載して | 巻頭 ・「さあ、道徳の学習が始まります」「道徳の時間は、こんな時間で・・・」「この本の使い方」を示している。 巻末 ・内容項目別教材一覧を四つの視点別で示し、現代的課題との関連性のある内容項目等を記載している。 ・折り込みで、「学びの | 巻頭 ・目次の前には、詩を掲載している。 ・「道徳の学習が始まるよ」を示している。 ・「自分のことを書いてみよう」を設けている。 巻末 ・内容項目別教材一覧を四つの視点別で示している。 ・「心の宝物」を設けている。 巻末 ・第3学年以上には、教材と関連して学びを深める特集のページを示している。 ・別冊「道徳ノート」には、折り込みで、「心のしおり」を設けてい | |

| | | | | | | | | | |
|----------------|-----------------------|---|--|---|--|---|---|--|--|
| | | <p>教育と関連する付録を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学習のまとめ」のページを、学期ごとに色分けをし、設けている。 | <p>記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 別冊「まなび」には、「まなびのヒント」として、話合いの仕方等を示している。 各学年の別冊「まなび」には、保護者向けに四つの視点の内容とともに、めざすこと、教材を示している。 | <p>ぎ・マナー」を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年、内容項目別教材一覧を四つの視点別で示し、現代的な課題との関係、他教科・領域との関係、第3学年以上には、「まなびリンク」のマーク等を記載している。 | <ul style="list-style-type: none"> 第3学年以上には、日本の伝統文化について示している。 各学年、内容項目別教材一覧を四つの視点別で示し、現代的な課題等との関わり、他教科・領域との関わりを記載している。 | <ul style="list-style-type: none"> 別冊「道徳ノート」には、「道徳の学習で学んだことを書きましよう。」のページを設けている。 第1学年の別冊「道徳ノート」の目次には、四つの視点で色分けし、全ての教材名を示している。 | <p>足あと」を設けている。</p> | | <p>る。</p> |
| | <p>⑧教材の内容を理解させる工夫</p> | <p>マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 「出会う・ふれ合う」コミュニケーション活動による相互理解を深める学習 「つながる・広がる」各教科等と関連づけた学習 「問題を見つけて考える」問題解決的な学習 「いじめのない世界へ」いじめをしない、許さず育てることのできる学習 「情報モラル」情報モラルを扱った教材 「Dマーク」QRコード内容に関連した動画にリンク <p>キャラクター</p> <p>「こころん」 発問を示す。</p> | <p>マーク</p> <p>〈本冊「きづき」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ともにいきる」いじめに関わる教材 「情報モラル」情報モラルを扱った教材 「コラム」関連する補助資料としての読み物コラム <p>〈別冊「まなび」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「こころのパレット」主に、授業の導入等で活用する教材 「かんがえよう」は中心発問、「みつめよう」は後段での発問、「やってみよう」は体験的な学習活動 「つなげていこう」授業を振り返っての自己評価 「鉛筆マーク」自分や友達の考えを書く欄 補助資料にリンクするQRコード | <p>マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いじめをなくす」黄色「情報モラル」青色「生命尊重」赤色 中心的な発問をマークで示している。 「スキル」体験的な学習ができる 「考えよう」「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」問題解決的な学習ができる・体験的な学習ができる 「まなびリンク」QRコードが補助資料にリンク <p>キャラクター</p> <p>「とりどり先生」 主題へ誘う発問</p> | <p>マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学習のまとめ」1年間を三つのまとめりに分けた 中心的な発問をマークで示している。 「コラム」現代的な課題について考えることができる内容 「考えよう・話し合おう」学びのめあて 「つなげよう」他教科等との関連や日常生活、次の道徳の授業へとつなげる。 QRコードがデジタルコンテンツにリンク <p>キャラクター</p> <p>「こころん」 児童と教材を結びつける問い 「きらりん」 めあてに沿った発問</p> | <p>マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学び方マーク」体験的な学習、問題解決的な学習を散り入れた指導例と、多様な実践活動を生かす学習に対応した指導例 「考えてみよう」「見つめよう生かそう」ねらいに迫る発問等 「ふろく」補助教材 「心のベンチ」道徳的価値について考えを広げ深めるためのコラム 「教科書デジタルコンテンツ」関連する動画や画像等の資料にリンク <p>キャラクター</p> <p>「ココロウ」 教材に入り込むきっかけとなる発問 「はるひと」「あかね」「なおや」「りさ」 学習をガイド</p> | <p>マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 「命をかがやかせる」「いじめを生まない心」「情報社会を生きる」「まとめる」「ひろげる」学習をふり返り、授業後につなげる発問 「みんなでやってみよう！」よりよい人間関係の構築に向けたコラム 「情報モラル」情報モラルを扱った教材 「コラム」関連する教材 「みんなが仲良し楽しい学校」児童自らがいじめの防止等に主体的にかかわる態度を育むためのコラム 「ことばのたからもの」語彙の獲得にもつなげるための名言や格言 「オリンピック・パラリンピック」オリンピック・パラリンピックを題材とした教材 「学びの足あと」授業の記録を書く <p>キャラクター</p> <p>「明日香」「未来」 表紙とともに、各学年の一つの教材の登場人物として示す。</p> | <p>マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いのち」「いのちの教育」を扱ったユニット教材 「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」学習を広げ、深める 「考えよう」発問を示す。 「鉛筆のマーク」自分の思いや考えを書きこむ 「家のマーク」家庭や地域社会と連携する学習活動 「情報モラルのマーク」情報モラルを暑かった教材 QRコード インターネットで写真を見たり音声を聞いたりできる教材 <p>キャラクター</p> <p>「わんだ先生」 考えるためのポイントや考えを広げるための見方等を示す。</p> | <p>マーク</p> <p>〈本冊〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学習の道すじ」「学習を広げる」学習内容を広げたり深めたりできるように示す 「インターネット」インターネットを使用して、関わりのある情報にリンクできる <p>〈別冊「道徳ノート」〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「鉛筆マーク」教材を通して感じたことや考えたことをまとめるための書き込み欄 |
| <p>言語活動の充実</p> | <p>⑨考えを伝え合う活動の工夫</p> | <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「道徳の学習を進めるために」の中に、「考える 話し合う」活動を示し、「話し合いの約束」として、話し合いの留意点を示している。 巻頭の「ちょっとみんなで話し合ってみよう」の中にショートストーリー | <ul style="list-style-type: none"> 巻頭「道徳の学習を始めよう」の中に話合いの状況を示している。 別冊「まなび」の巻末に「まなびのヒント」のページを設け、上手な話し方・聞き方、上手な話し合いのポイントを示している。 | <ul style="list-style-type: none"> 巻頭「〇年生の道徳の学習が始まるよ」の中に話合いの意義や活動について示している。 巻頭の「道徳ではこんな学習をするよ」の「考える」の中に「話し合ってみよう」として話し合いのポイントを示している。 | <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「道徳の時間は」の中に、「考えよう」というキーワードを用いた学習活動の一環として話し合いの具体的な状況を示している。 巻末に、「おたがいがこちよくなる話し方を身につけよう！」のページを設け、人と話 | <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「道徳の学び方」の「考える・深める」の中に、話し合いの具体的な状況を示している。 「学習の手引き」や「心のベンチ」の中に話し合いの流れを示している。 | <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「道徳の時間は、こんな時間です」の中の、学習の手順に、話し合う活動を提示し、話し合いのポイントを示している。 | <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「道徳の学習が始まるよ」の中の、学習の手順「考える」の中に、話し合う活動を提示し、話し合いのポイントを示している。 教材の終わりの「学び方のページ」の中に、「活動」の欄を設け、話し合いのポイントを示 | <ul style="list-style-type: none"> 巻頭「道徳の時間はこんな時間」の中に、学習全体でねらいとする活動や内容を紹介し、話し合いの意義やポイントを示している。 |

| | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|--|---|--|--|--|---|---|--|---|--|---|
| | | <p>一を例とし、自分の考えをもつ活動を設定して話合いの状況を示している。</p> <p>話し合う学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の終わりに議論させることを促し多様な考えを引き出す活動を示している。 例：6年一白旗の少女、手品師、夜空、あなたはどうか考える？ | | | <p>す時の三つの大切なポイントと三つの言い方の型を具体的に示している。(5・6年)</p> <p>例：攻撃型・非主張型・相手を思いやる自己主張型</p> <p>話し合う学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の終わりの「学びの手引き—『考えよう』」の中に、教材における話し合い活動を促す発問を示している。 | | | | <p>している。</p> <p>話し合う学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の終わりに教材における話し合う活動を示している。 | | <p>話し合う学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の終わりの「考え方—『話し合おう』」の中に、教材における話し合う活動を促している。 |
| ⑩考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫 | | <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に、1時間の授業ごとに色を一コマ塗ったり、学習を振り返って自己評価をマークで描いたりするページを設けている。また1年間を振り返ったり、心に残った教材を振り返ってまとめたりするページを設けている。 ・「学習の記録」【35時間分】 ・「学習のふり返り」【授業43時間分】 ・「これからもかがやく自分に！」【記入欄2か所】 ・「学習のまとめ」【学期ごとに記入欄3か所、長期休業前3回分】 | <ul style="list-style-type: none"> ・別冊「まなび」に、学習を振り返って自己評価をマークで描いたり、「まなびの道しるべ」に心に残った話等を書いたりする欄を設けている。 ・「つなげいこう」【35時間分】 ・巻頭の「まなびの道しるべ」【2回分】 | <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に学習した日付や教材で心に残ったこと等を記入したり、一年間の道徳の学習を振り返ったことを記入したページを設けている。 ・「学びの記録」【41時間分】 ・【記入欄3か所】 ・振り返り【記入欄3箇所】 | <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめ」ごとに、区切りのページを設け、「学びの記録」とともに、自分の学びの変化や学んだことが生かされたことを記入する、「まとめ」の欄を設けている。 ・「学びの記録」【35時間分】 ・「まとめ」【【記入欄3箇所】】 | <ul style="list-style-type: none"> ・別冊「道徳ノート」に、学習を振り返って自己評価をマークで描く欄を設けている。 ・別冊「道徳ノート」の巻末に道徳の学習で学んだことを書く振り返りのページを設けている。 ・別冊「道徳ノート」の毎時間のワークシート1ページに、自分の考え、友達の考え、学びのまとめを書く欄を設けている。 ・自己評価欄【38時間分】 ・学んだことの振り返りのページ【4回分】 | <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に、学習した日付、教材番号、授業後の心の動きや学びを記録する、振り返りの欄を設けている。また、学期末や年度末に、道徳で学んだことを振り返って記入する、「まとめ」の欄を設けている。 ・「学びの足あと」【36時間分】 ・「まとめ」【3回分】 | <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に、道徳の学習を通して、心に残った言葉や話等を記入し、1年間の学びを振り返るページを設けている。 ・「心の宝物」【記入欄5箇所】 | <ul style="list-style-type: none"> ・別冊「道徳ノート」に、考えたり振り返ったりしたことを書く欄や、巻末に、心に残っている授業などについて記録するページを設けている。 ・「学習の記録」【36時間分】 ・「話し合い活動の記録」【2回分】 ・「体験活動の記録」【2回分】 ・「心に残っている授業の記録」【4回分】 ・「心のしおり」【35時間分】 | | |